Kansai University Alumni Association News

關大

第555号
平成22年（2010年）1月1日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06（6368）1121（代） FAX06（6380）8476
URL http://www.kandai-koyukai.com/
Eメール koyukai@jm.kansai-u.ac.jp

年頭のご挨拶
寺内会長、上原理事長、楠見学長

新春特集1 関大の新ブランド――“ミューズキャンパス”

新春特集2 年男年女学生時代を語る

アメリカンフットボール部62年ぶりの学生日本一
甲子園ボウルで法政大学下し、初のライスボウルへ

織田信成、冬季五輪の代表内定
高橋は全日本選手権に意欲

2010スプリングフェスティバル 4月4日（日）に開催

新年特別号



大応援団の前ではつらつとプレーする関大カイザース

THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

関大　555号　目次

4　新春特集1　関大の新ブランド ― “ミューズキャンパス”

20　新春特集2　年男年女学生時代を語る

本部活動

12　2010 スプリングフェスティバル 4月4日（日）に千里山キャンパスで開催

13　第36回見学会に校友・家族70人が参加 和歌山城とマリーナシティで秋の1日を満喫

大学・学生関係

14　ドイツ文学科創立60周年記念式典　93人が集い交歓

15　織田信成、冬季五輪の代表内定、高橋大輔は全日本選手権に意欲

アメリカンフットボール部62季ぶりの学生日本一 甲子園ボウルで法政大下し、初のライスボウルへ

16　弓道部女子が初の全日本王座

17　千里山法律学会が全日本学生法律討論会で1位に

18　関大北陽高が全国駅伝大会出場

関大一高が全国高校サッカー選手権大会出場

10　きらっ人校友録 ㉒　NPO理事長　河口　紅さん

19　オース！ごきげんさん。<30>　矢原　繁長（上）

28　北から南から<各地支部だより>

39　校友短信　校友トピックス　新刊紹介　訃報

本号を住所判明の全校友に送付

「強い関西大学」「元気な校友会」をご覧ください

昭和35年5月の創刊以来、母校と校友、校友相互を結ぶ絆として大きな役割を果たしている『関大』は、平成16年度より時代のニーズに対応して、それまでの新聞形式からA4判オールカラーの冊子形式に衣替えし、年6回、校友会費納入者にお送りしています。

本号は特に「広く校友に大学・校友会の現況を知らせ、母校への関心が高まるようつとめていく」との事業計画に基づき、住所判明の全校友の皆さんにお届けしました。

「強い関西大学」「元気な校友会」の現況をご覧いただくとともに、各組織の活動等にも是非ご参加下さい。

■校友会費（基本会費・更新会費）の払い込みを　―未納の方には振込用紙を同封

また、校友会では、学生に対する学術振興及びスポーツ・文化振興を支援する事業を追加するなど、21世紀に新たな視点で活動を展開するため、平成12年に会則・会費制度を改正しました。

現在の会費制度は、最初に納入いただく基本会費（3万円、期限15年）と基本会費の期限経過後に納入いただく更新会費（1万円、期限10年毎）になっています。校友会費未納の方には、それぞれの振込用紙を同封しております。この機会に納入下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、納入された会費の一割は、組織活動活性化のため、地元の地域支部に「支部運営助成費」として還元しています。

また、本号が届かない校友の方は、校友会では「連絡不能」となっている可能性があります。ご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡をお願いします。



▲甲南大戦に勝利し、リーグ戦全勝優勝飾る

草の雫

千年の時空を超えて広がる王朝絵巻の華やかな世界。紫式部が書いた源氏物語五十四帖の中で、最後の十帖の舞台となった宇治。当時から貴族の別業の地として愛されてきたこの地にある「宇治市源氏物語ミュージアム」で、源氏物語の華やかな世界に触れてきた▼そこでは明治の学者が鑑定してから100年、『校異源氏物語』の編者池田亀鑑による調査が未了になってから80年、研究者の間で「幻」とされてきた写本、大澤本源氏物語が初公開されていた▼源氏物語には紫式部による自筆本は現存せず、筆写が繰り返されるうちに、表現が異なる様々な写本が生まれた。鎌倉時代に藤原定家らがそれらの写本を集めて五十四帖に整理、その系統が標準本として最も知られている。そこに含まれなかった未整理の写本もあり、奈良の旧家に伝来した大澤本もそのひとつである▼墨跡も鮮やかな大澤本を「桐壺」「夕顔」……「夢浮橋」と追っていくにつれ、このような歴史ある日本に生まれて良かったと思う▼なぜ、源氏物語は千年も読み続けてこられたのだろう。男女の愛、親子の愛はいつの世も変わらないからだろうか。新聞の投稿欄で、50歳代の男性が通勤電車の中で源氏物語を読み思わず涙した、とあった。生きているうちに一度は読むべきであると言われている源氏物語、私も源氏で涙してみよう。



謹賀新年　年頭のご挨拶

母校愛を結集して具体的に考動を始めよう

校友会長　寺内　俊太郎



校友の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかな新しい年をお迎えになったことと存じます。

ことしの干支は、「庚寅」であります。「寅」は十二支の3番目にあたり、「動く」という意味があり、春がきて草木が発生することを表すといわれています。

まさしく、これは関西大学のスローガンである「考動」することにもつながるのではないでしょうか。「社会を見つめ、変化に挑む。『考動する』関大人が世界を拓く」、充実した一年になる予感がいたします。

校友会でも、母校愛あふれる校友に対しまして「総力結集」「創意工夫」「熟慮実行」を掲げて、校友会活動をすすめてまいりました。これもまた、具体的に行動に移していかなければなりません。十分に熟慮したうえで積極的に「動く」ことが求められているのです。

「元気な校友会」が母校発展のために何をなすべきか、どう動くべきかを校友の皆さまと手を携えて実践してまいりたいと考えています。

昨年来、世情は経済不況の真っ只中にあり、学生の就職率の低下を招き、企業経営も未曾有の危機的状況に陥りました。また、新型インフルエンザの流行、毎日のニュースにも人命にかかわる暗い話題が数多くあったように思います。そのようななかで、母校・関西大学は、教育研究、課外活動ともにつねに歩みをとめることなく前進をつづけてきました。

とりわけ、体育会ではアメリカンフットボール部が関西学生リーグで61年ぶりの優勝を全勝でかざり、甲子園ボウルでも62季ぶり2回目の優勝という快挙を成しとげました。また、拳法部、射撃部、馬術部等、多くの部が大学日本一に輝き、学園が大いに盛り上がりました。さらに、バンクーバー五輪の男子フィギュアスケートでは、高橋大輔、織田信成両君への期待が高まっています。校友の方がたの熱いご声援をお願いいたします。

4月には、JR高槻駅前にミューズキャンパスがオープンし、初等部、中等部、高等部、社会安全学部、大学院社会安全研究科の一貫教育システムが完成します。私は、母校が日々発展する姿は校友にとりまして勇気を与えると確信しております。

一方、校友の皆さまが、国内の各界各層はもとより、広く世界でご活躍される姿は、母校躍進の推進力となり、関西大学の好感度を高めることにもつながります。

すべての校友の皆さんの燃えるような母校愛を結集していただき、物心ともに力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、本年の皆様方のご多幸とご健勝を心からご祈念いたし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

関西大学校友会

会長	寺内俊太郎
副会長	古川好男
副会長	大谷啓二
副会長	小寺一矢
副会長	田中義昭
副会長	石井國男
総務部長	北嶋弘一
事業部長	伊藤晃充
広報部長	三木允子
組織部長	渡邊泰之
財務部長	植田芳光
監事	朝倉満
監事	片山久江
代議員会議長	日根直人
代議員会副議長	山田拓幸



謹賀新年　年頭のご挨拶

総合学園として、より大きな飛躍を

理事長　上原　洋允



新年あけましておめでとうございます。全国各地でご活躍の校友の皆様には、お元気で良き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

高等教育を取り巻く環境は、依然、厳しい状況が続いておりますが、中央教育審議会が平成20年12月24日に発表した「学士課程教育の構築に向けて」では、学士課程教育の構築が、我が国の将来にとって喫緊の課題であるという認識に立っております。

その理由としては、①グローバルな知識基盤社会、学習社会において、我が国の学士課程教育は、未来の社会を支える人材を育成する公共的な使命を果たし、社会からの信頼に応えていく必要があり、②高等教育のグローバル化が進む中、我が国の学士の水準の維持・向上のため、教育の中身の充実を図っていく必要があること、③学士課程の入口では、いわゆる大学全入時代を迎え、教育の質を保証するシステムの再構築が迫られる一方、出口では、経済社会から、職業人としての基礎能力の育成、さらには創造的な人材の育成が強く要請されているからです。

本学では、これらの問題意識を充分認識し、一層、教育・研究、社会連携、国際化等の充実、発展を図っていく必要があります。

本年は、平成19年度から教職員が一体となって懸命に取り組んでまいりました「２０１０プロジェクト」が結実し、本格的にスタートする重要な年となりました。

4月には、高槻ミューズキャンパスにおいて、初等部、中等部、高等部、社会安全学部、及び大学院社会安全研究科を、堺キャンパスにおいて人間健康学部を、北陽キャンパスにおいて北陽中学校を、それぞれ開設いたします。

本法人初の設置となる小学校を含めた小中高一貫教育では、「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」を、発達段階に応じてバランス良く高め、倫理観と品格を養い「高い人間力」を持つ人材を育成します。

各設置学校、学部、研究科が、特色ある教育を通じて、互いに切磋琢磨しながら質の向上を図り、総合学園として、より大きく飛躍しなければなりません。

さて、本年の干支であります「寅（とら）」は、決断力と才知を象徴する動物であり、意思が強く実行力を発揮して、何事も最後までやり抜くとの含意があるといわれております。本学においても、短期、中期、長期の目標を、強い意志と不断の努力で達成する必要があります。

今後とも、法人教学が一体となり、たゆまぬ改革を通じて、「社会に役立つ人材」「国際舞台で活躍できる人材」を陸続と輩出する所存であります。

校友の皆様にとって、本年も良い年でありますようお祈りいたしますとともに、母校への一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

学校法人　関西大学

理事長　上原　洋允
学長・理事　楠見　晴重
専務理事　池内　啓三
常務理事　小西　靖洋
常務理事　増地　英一
常任理事　市原　靖久
常任理事　大嶌　征次
常任理事　黒田　勇
理事・相談役　森本　靖一郎

理事　荒木　孝治　田村　裕
石川　昌司　寺内　俊太郎
一軸　浩幸　東郷　洋
今西　康人　豊島　光男
片山　久江　南部　靖之
河田　悌一　西岡　雅史
河田　恵昭　野村　明雄
北田　伸治　萩尾　千里
木谷　晋市　前田　裕
五藤　勝三　道前　博
柴　健次　山縣　平蔵
角　和夫　山本　幾生
髙瀬　武典　吉田　栄司
竹下　公視

監事　石井　國男　小寺　一矢
小坂　裕次郎　竹内　正明

評議員会議長　児玉　憲夫
同　副議長　紀和　隆



謹賀新年　年頭のご挨拶

世界とつながる「ハブ大学」に

学長　楠見　晴重



新年あけましておめでとうございます。

日本各地で、そして世界でご活躍されている校友の皆さまにおかれましては、よき新年をお迎えになられたこと、心からお慶び申し上げます。

一昨年、世界は100年に一度といわれる国際金融危機に直面し、日本はその余波を受け、政治的にも経済的にも変化の多い時代を迎えています。昨年9月の閣議決定により設置された「行政刷新会議」で行われた事業仕分けでは、教育・科学技術予算の大幅縮減など厳しい査定が数多くなされました。政府において高等教育への財政支出がどのように推移するか、重大な関心を持っております。このような不透明な時代において、高等教育を取り巻く環境も大変厳しさを増しています。

本学では現状に甘んずることなく、本学が有する教育力・研究力を最大限に発揮し、諸改革を行って参りました。その証査として、昨年は教育分野では「大学教育改革支援プログラム」に3件、また、研究分野では「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に2件採択されました。

18歳人口が減少し、各大学がそれぞれ厳しい競争下におかれる中、今後も社会から求められる大学であり続けるために、本学を「教育」「研究」「社会貢献」において日本にとどまらずアジア・太平洋地域をはじめとした世界と交流する発信拠点「ハブ大学」として機能させ「国際化」を図っていきたいと考えています。

本学はすでに、教育研究分野では文部科学省「グローバルCOEプログラム」に採択された「東アジア文化交渉学」の学問領域において、韓国、中国を中心に教育研究交流を活発に行っています。また、学術分野では、本学大学院生が電気系学会で世界最大、最高権威である「IEEE」において、誉れ高い賞を受賞する等、各分野で活躍しています。学生の課外活動では、世界を舞台に活躍するフィギュアスケートの高橋大輔君、織田信成君が象徴的ですが、アメリカンフットボール部が62季ぶりに甲子園ボウルを制し、初のライスボウル出場を果たすなど、目覚ましい躍進を遂げております。さらに、社会貢献活動においても映像祭「地方の時代」の運営など、地域活性を図る多様な取組みを実施し、本学から文化や情報を世界に、また各地域に向けて発信しています。

このように、日本のみならず世界とつながる「ハブ大学」を目指すことで、「考動―自らの頭で自主的に考え、自律的かつ積極的に行動する―」する関大人、そして変革の時代にも十分に対応でき、あらゆる分野で世界のために貢献できる知的リーダーの育成に尽力して参ります。

本年4月には、本学は一挙に13学部、12研究科、3つの高等学校・中学校、1つの小学校を有する総合学園として、より一層ダイナミックな飛躍をとげることとなります。

新年にあたり、母校関西大学への力強いご支援をお願いするとともに、校友の皆さま方の益々のご発展、ご健祥を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

関　西　大　学

学長	楠見　晴重
副学長	黒田　勇
副学長	市原　靖久
副学長	上島　紳一
副学長	廣瀬　幹好
法学部長	吉田　栄司
文学部長	山本　幾生
経済学部長	竹下　公視
商学部長	荒木　孝治
社会学部長	高瀬　武典
政策創造学部長	奥　和義
外国語学部長	宇佐見太市
総合情報学部長	木谷　晋
システム理工学部長	前田　裕市
環境都市工学部長	小田　廣和
化学生命工学部長	田村　裕
心理学研究科長	田中　俊也
法務研究科長	今西　康人
会計研究科長	柴　健次
入試センター所長	山本　秀樹
学生センター所長	笹倉　淳史
キャリアセンター所長	亀田　健二
図書館長	北川　勝彦
博物館長	高橋　隆博
インフォメーションテクノロジーセンター所長	柴田　一
経済・政治研究所長	水野　章郎
東西学術研究所長	松浦　正司
先端科学技術推進機構長	石川　やよひ
法学研究所長	佐藤　東洋士
ソシオネットワーク戦略研究機構長	鵜飼　康男
第二高等学校長	豊島　光
第一中学校長	鈴木　清
北陽高等学校長	石倉　千世
幼稚園長	

関西大学「高槻ミューズキャンパス」誕生までのカウントダウン

総合企画室次長兼高槻新キャンパス設置準備事務長　加藤　勝

はじめに

関西大学では、２０１０年（平成22年）４月を目前に控え、３つのキャンパスに、２つの学部、１つの研究科、４つの併設校が同時に開校という「２０１０プロジェクト」がいよいよ開花しようとしています。その「２０１０プロジェクト」の中心的な存在が「高槻新キャンパス構想」です。

「高槻新キャンパス構想」は本学１２３年の歴史の中で、初めて「小学校（初等部）」を創設し、さらに「中学校（中等部）、高等学校（高等部）、大学（社会安全学部）、大学院（社会安全研究科）」、そして「生涯学習センター」をも併設するといった画期的な事業であります。

平成17年２月７日の記者発表以降、役員の方をはじめ関係教職員が一丸となって「構想」を実現可能な「計画」にまで推し進めてきた集大成が、今まさに現実のものとして誕生しようとしているのです。

そして、この高槻新キャンパスの誕生は、関西大学の新しい歴史の１ページを飾るに相応しい出来事であり、今後、我が国の新たな「知の拠点」として、多くの方に語り継がれていくであろうと確信しています。



基本構想から実現できる計画づくりへ

「高槻新キャンパス構想」は、当初、どのような学校をつくり、どのような教育を行うかを中心に検討され、まとめられた「基本構想」がまず策定されました。この中には、新キャンパスに開設する予定の学校の種類・名称（仮称）・入学定員・基本理念・教育目標・教育内容・卒業後の進路・施設の規模や概要・収支シミュレーション・地域連携や地域貢献などが具体的に盛り込まれています。

この「基本構想」を基に、関係の専門部会や委員会等でさらに内容が練られていきました。ただ、こういった「基本構想」はあくまでも紙上の計画に過ぎませんので、これを具体的に実現可能な計画にしていくという作業は、そう簡単なものではありません。小学校・中学校・高等学校は大阪府、大学・大学院なら文部科学省といった設置の許認可を得るために、それぞれ関係官庁に事前相談し、必要な認可申請書を指定された期限までに提出しなければならないからです。

認可申請書は、大きく分けて「設置認可」と「寄附行為変更」という２種類の申請書が必要です。前者は、教育関係、つまりなぜ設置するのかを記載した趣意書やカリキュラム、教員人事などが書かれているもので、後者は、学校法人の経営管理が適切に行われているか、あるいは学校を設置するだけの財政力があるかどうかを調べるための書類がメインになっています。学校を開校するためには、この２種類の認可申請書が同時に、２つとも認可されて、はじめて開校できる条件が整うのです。

21年12月５日現在、高槻新キャンパスに開校されるすべての学校は既に認可の承認を受けています。あとは、22年４月の開校に間に合わせるために、それぞれの教職員関係者が昼夜を問わず開設準備を続けているところです。ＪＲ高槻駅の北東エリアに位置する校舎棟の建築工事も順調に進んでおり、外構工事が始まろうとしています。



高槻新キャンパスの名称

構想段階では、高槻新キャンパスと言っていましたが、平成21年の秋



新年特集1　関大の新ブランド―“ミューズキャンパス”

に正式な名称が決まりました。新キャンパスの名称は、「高槻ミューズキャンパス」と言います。「ミューズ」とは、学術や文芸などを司るギリシャ神話の女神、ムーサの英語名であります。この名称は、新キャンパスが開設されるJR高槻駅北東地区のタウンネーミングである「MUSE（ミューズ）たかつき」にも合致しており、もちろん、総合情報学部がある現有の高槻キャンパスと区分するために「ミューズ」という名称が用いられました。

また、この「ミューズキャンパス」という名称は、文字商標登録も行っており、他大学が安易に使用できないことになっています。関西大学の独自ブランドとして、これからずっと育てていきたいと思います。

高槻ミューズキャンパスの周辺

本キャンパスは、平成17年2月7日に構想の記者発表を行ってから、前述のとおり、学内で関係委員会や専門部会を発足させ、鋭意、構想の内容について検討を重ねてきました。その後、平成20年2月29日に大阪府高槻市との基本合意書が締結され、同年3月には理事会及び評議員会で「高槻新キャンパスの開設」について承認されました。また、同年8月29日には「高槻新キャンパス建築工事地鎮祭」が挙行され、同年11月12日には校舎棟の建築工事が着工されました。竣工は22年2月24日の予定です。

高槻ミューズキャンパスができるこの場所は、大阪と京都の中間にあるJR高槻駅前の北東地区開発事業計画地内にあります。JR高槻駅前の北東地区開発事業の中は、ABCの3つのエリアに分かれており、本キャンパスは一番東側のCエリアに位置します。西側には住居用マンション、リハビリテーション病院、物販・飲食施設や百貨店、駐車場棟が隣接します。22年4月の開校時は、まだ西側エリアが工事中ですので、JR高槻駅から徒歩10分ぐらいかかりますが、北東地区開発事業計画全体が完成予定の平成24年度には、JR高槻駅北改札口からデッキを通って徒歩約5分でほとんど雨に濡れずに通学することができます。平成24年度以降のJR高槻駅前は近未来都市のように目覚しく発展した姿を現すことになるでしょう。

設置学校の入学定員

さて、「高槻ミューズキャンパス」には、前述しましたとおり、2010年（平成22年）4月に、小学校（初等部）、中学校（中等部）、高等学校（高等部〈安全科学科〉）、社会安全学部安全マネジメント学科、大学院社会安全研究科〈防災・減災専攻〉が開校され、同時に市民の方にも開放する生涯学習センターも併設されることになっています。

新設される学校の入学定員やクラス数等については、小学校（初等部）は30人×2クラス、中学校（中等部）は36人×3クラス、高等学校（高等部）も36人×3クラスであります。他校と比べ、少数精鋭的な人数ではありますが、よりきめの細かい教育ができるものと期待しています。全国でも初となる「安全」を教育・研究する社会安全学部の入学定員は250人で、大学院社会安全研究科は15人であります。大学院については、半数は社会人の入学を考えています。

キャンパスの施設設備

高槻ミューズキャンパスの敷地面積は1万7454㎡（5289坪）で、甲子園球場の半分よりもやや小さめぐらいの規模です。建物は鉄骨造及び鉄筋コンクリート造で校舎棟は制震、体育・厚生棟は耐震構造です。校舎棟は地上13階建てで、小学校・中学校・高等学校で1棟、学部・研究科で1棟の2棟方式となっております。小中高棟には、各教室のほか、英語教室、マルチメディアAV教室、小学校と中学・高等学校の各専用図書館及び和室などがあります。この建物の屋上には小学校の児童や生徒が先生と歓談できる芝生の庭園があります。

小中高棟と学部・研究科棟は、渡り廊下で結ぶことになりますが、大学生が小中高の建物へ行くことはできず、セキュリティで不審者の侵入を管理することになります。その他、主に小学生の登下校管理システム、廊下には監視カメラ、教室には非接触ICカードによる入室管理システム、機械警備システム、緊急通報システム、緊急地震情報受信システム、プール用水飲用化システムなどの設備がこの建物には配備されています。

学部・研究科棟には、大・中・小の各教室、研究室、市民向けの児童図書館と市民へも開放する大学図書館、500人収容のコンベンションホール及び生涯学習施設等が入ります。隣接する体育・厚生棟は、地上4階建てで、バスケットコート2面の体育館（講堂）、最大収容700席のレストラン、25mの温水プール等が入り、その他の施設として、グラウンド（人工芝200mトラック）、駐車場、駐輪場、約340㎡もの災害用備蓄倉庫等があります。

建物は、それぞれ方角を示す名称がついており、小中高の校舎棟は「東館」、学部・研究科の学舎棟は「西館」、体育・厚生棟は「北館」といいます。

関大初の12年一貫教育―初等・中等・高等部「社会安全」―日本では稀有の学部・大学院

初等部・中等部・高等部の教育コンセプト

さて、次に初等部・中等部・高等部の教育コンセプトについてお話いた

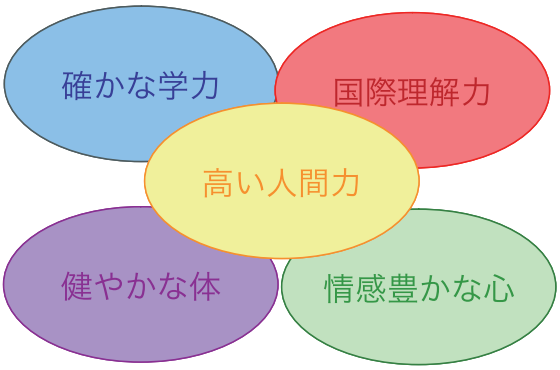
します。

「高槻ミューズキャンパス」が目指す小中高一貫教育の教育理念は、基本的には関西大学の学是（教育理念）である「学の実化」がベースになっています。この「学の実化（じつげ）」に基づき、学理と実際との調和を基本とする独自の教育を展開し、一貫教育を通じて、『5つの力』を身につけます。すなわち、「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」を発達段階に応じてバランス良く高めることにより、人間力の基礎となる部分を養い、高い倫理観と品格を有した、「高い人間力」を持つ人材を育成します。

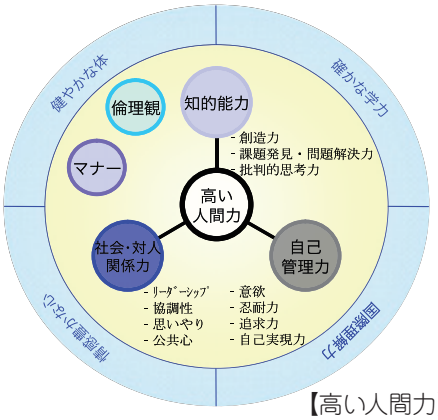
また、課題発見・問題解決を促す体験型の授業により、自ら考え、自ら行動しながら、学んだ知識を実際に応用することで知恵へと昇華することができる能力を養成し、それにより、多様な価値観を尊重しながら、共生の道を模索することができる、ユニバーサル（全世界的、万人に通じる、普遍的）な視野を持つ「たくましく」「しなやかな」人材を育成していきます。

関西大学の長期ビジョン（将来像）の中で、めざすべき方向性として、「社会を見つめ、変化に挑む。『考動』する関大人が世界を拓く。」という表記があります。つまり、「自らの頭で自主的によく考え、自律的かつ積極的に行動する」＝『考動』という表現で示しています。初等部・中等部・高等部のコンセプトもこの考え方が基盤となっています。

その他、小中高の「12年一貫教育」を発達段階に応じ、3年スパンで区切った教育展開の実施、同一キャンパス内に設置される利点を最大限活用したカリキュラム開発、新しい学びのかたち（スパイラルアップ型カリキュラム、高次思考能力の養成、ハイブリッド型授業の導入）、学校間交流の促進、大学リソースを活用したメニュー開発、あるいは、児童・生徒の学習歴、成績・評価、活動歴、作品などをデジタル化したe-ポートフォリオによる生涯サポートなど特徴的な関大独自の教育を実践するなど、最先端の初等中等教育の実現に向けて計画を推進しているところです。



【5つの力】



【高い人間力】

なお、初等部・中等部に関しては、栄養バランスがとれた安全・安心な食材の給食を提供することになっています。給食を通じて、食育や正しい生活習慣を重視していきます。また、このキャンパス全体のコンセプトでもある「安全・防犯・防災」に関する学習も初等部段階から勉強していくことになります。

高等部については、「安全科学科」という名称の全国でも例を見ない進学型の文理融合専門学科を開校いたします。「安全科学科」では、普通科高校ではできない、領域を超えた独自の専門科目と大学での専門研究につながる基礎学力をしっかりと学ぶことになります。特に、専門科目では、「安全」を社会科学的な視点と自然科学的な視点から見る力を養い、探究型プロジェクト学習を取り組むことによって、授業や行事の企画運営に自ら積極的に参画し、主体的な「探究する力」を育てていきます。

初等部・中等部・高等部では、四季を通じての各種セミナーや英語合宿などのオリジナル行事を用意しています。

社会安全学部と大学院社会安全研究科

次に、「社会安全学部」についてのご紹介です。

「社会安全学部」の設置理念・目的は、「事故・安全防止、防災・減災、危機管理」に関する様々な分野について、「自然科学」「人文・社会科学」の両面から複数領域の知見・技術を学びつつ、それらを融合・発展させることにより、安全に関する新たな社会システムを構築する能力を備えた人材を育成することを目的としています。言い換えれば、安全・安心な社会の創造に寄与するための学びを通じて、防災・減災対策や事故防止、危機管理のための政策立案とその実践ができ、知識基盤社会を支える高い情報処理能力を有した社会貢献型人材の育成であります。

また、現代社会における「安全を脅かす様々な今日的課題」に対応し、問題を解決できる人材を育成することにより、「安心・安全で質の高い生活のできる国」の実現に貢献することを目指していきます。我が国では、こういった名称の学部は、奇異に感じられるかもわかりませんが、欧米などの先進諸国では、安全・安心問題を教育研究の中心に置いた学部や大学院は数多く既に設置されています。

この学部は、「安全マネジメント学科」の1学科2コース制で、「社会災害マネジメントコース」（一般企業へ



関大の新ブランド―“ミューズキャンパス”

の就職を前提としたコースで、主に事故防止、労働安全やヒューマンエラー、リスク管理、危機管理等を取り扱う）と「自然災害マネジメントコース」（自治体等の公務員への就職を前提としたコースで、地域での防災対策の計画立案を行うことができる能力を養成）があります。

教育課程の編成として、「基礎科目群」、「専門科目群」、「統合科目群」「自由科目群」の4つの大きな科目群を段階的に学ぶことになります。

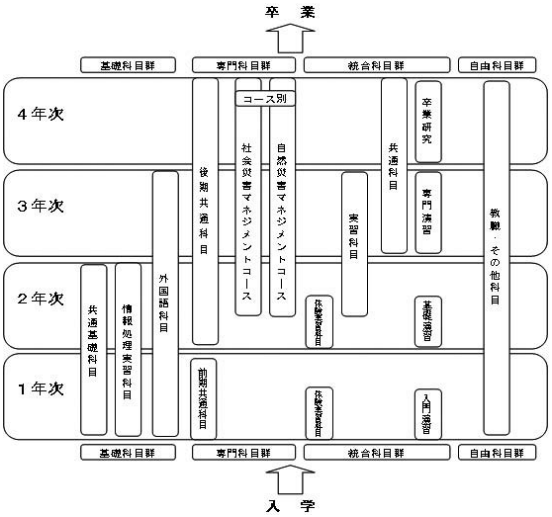
実習科目については、「ソフト面」を重視し、①防災管理等のシミュレーション能力の養成、②社会調査能力の養成、③破壊実験などの体験学習・実習の実施、④ディベート、プレゼンテーション能力の養成、⑤英語能力の重視（ESP：職業別英語教育の導入）、⑥情報処理能力の養成、⑦国、地方自治体や他大学、民間研究所・施設等との各種連携事業（インターンシップや体験実習など）が主な特色として挙げられます。

本学部では、対象とする教育研究の主たる問題領域を、一定の学問的体系が成立している自然災害分野と社会災害のうち多くの犠牲者を生み出す事故問題の二つに置いています。そして、これらを二本柱としつつ、併せて国民の関心も高い、食の安全や健康リスク、環境リスクなどの諸問題も取り扱います。

大学院については、社会安全研究科（防災・減災専攻）で、防災・減災や事故防止などに資する融合研究を「安全の知」の集積・体系化に取り組むことで推進し、それを担う人材（研究者）や社会の第一線で実務として安全・安心な社会の創造に寄与する人材を本研究科では養成します。情報学・工学・法学・経済学・心理学などを融合した領域において、社会安全系の高度専門職業人の養成を主たる目的とした新しいタイプの研究科の設置を考えています。

大学院社会安全研究科を同時開設することによって、教員と院生・学部生の3者による新しいタイプの研究教育ユニットも可能であり、教育研究面でも大きなプラスの効果を生むと考えられます。

「社会安全学部」の入学から卒業までのプロセス



「社会安全学部」に係る研究分野と研究体制



高槻市の「まちづくり」にも貢献
施設に防災機能備え、災害時に開放

社会貢献型都市キャンパス

最後に、地域貢献に関する取り組みについてですが、新キャンパスが所在する高槻市が提唱する「安全・安心のまちづくり」に貢献するため、建築予定の施設に防災機能を備え、災害時の緊急避難場所として、その役割を果たすとともに、大学から市民への知の還元として、生涯学習の拠点となるよう学舎内に前述した生涯学習センターを併設し、各種のプログラムを提供する「社会貢献型都市キャンパス」を目指します。なお、地域貢献に関する具体的な取り組みについては、現在、高槻市との地域連携推進会議を定期的に開催し、鋭意、協議を進めているところであります。

構想段階の一例として、体育館・アリーナを被災者の緊急避難所として活用、被災者にシャワー室を開放、災害時にプールの水を再利用するシステムの導入、被災時に緊急避難場所としてグラウンドの開放、地域の災害情報拠点となる危機管理センター、非常用食糧・毛布などを備蓄する災害用備蓄倉庫を設置、防災体験・消火訓練、救命体験、安全・いのちの学習など市民参加型啓発行事の実施、生涯学習センターや大学図書館・児童図書館などの教育施設の開放及び高槻市との交流事業の推進等が挙げられます。

終わりに

関西大学が21世紀のはじめに、まったく新しい教育コンセプトで「高槻ミューズキャンパス」を誕生させることは、本学の新たな歴史の始まりであり、挑戦でもあります。現代の競争的環境のなかで、本学が勝ち残っていくためには、「教育・研究・社会貢献」といった大学の使命をベースに、他の大学とは違う＋α的なものが何かなければなりません。それを探し続けるためには、学校法人の財政基盤や全国の校友の方々の絶え間ない支援が必要となってきます。

我々が関西大学に入学してきた頃と比べ、現在の教育環境は大きく変わってきました。おそらく今後もさらに予想できないくらいの変化を遂げて

いくであろうと思います。関西大学の強みは、社会環境がいかに変化しようとも適応できる力を有しているところにあると考えています。このため、関西大学はこれからも常に前進しつづけていくでしょう。

是非、校友の皆様にも、4月以降、高槻ミューズキャンパスを訪ねていただき、そのすばらしさを多くの方々にお伝えいただくと同時に、関大人のひとりとして誇りに思っていただければ幸いです。

安全・安心情報を世界と21世紀に発信できる拠点になるよう育てたい

社会安全学部長・社会安全研究科長予定者　河田　惠昭



関西大学のミッションは、「学の実化（じつげ）」である。具体的には、世界最高レベルの研究成果を挙げ、かつこれを社会に貢献できるような実践的知識に改め、それを用いることができる人材を輩出することである。つまり、関係者が学術的知見を容易に社会で活用できるように努力するとともに、これを大学・大学院教育に反映して有為な人材を育成することである。そこで、私は、京都大学に在職中の平成17年4月より、関西大学経営審議会委員を経て平成20年10月から理事に就任し、かつ、平成21年4月から社会安全学部・大学院社会安全研究科の教育・研究推進責任者の任にあるものとして、今後10年間を経て達成する研究目標を設定した。それは、この学部、研究科において文系と理系にまたがる学際融合型の研究を推進し、世界の大学の中で最高峰に位置するアメリカ合衆国・ハーバード大学に伍する、世界トップの研究教育拠点になり、社会安全学という学問分野を創設して、安全・安心情報を世界と21世紀に向けて発信し、かつ人材を育成しようというものである。

そのためにはしっかりした研究経営・戦略を作らなければならない。従来のように、個人研究だけやっていたのでは、決して学際融合はできない。そこでは必然的に複数教員による共同研究が求められる。このような複数の専門分野を融合するという目的をもって、本格的な共同研究を推進する体制は、関西大学だけでなく、わが国のいずれの大学でも不十分である。東京大学や京都大学でできなかったことを関西大学でやろうというわけである。そこには種々の生みの苦しみが存在していよう。しかし、将来に世界トップになるという“夢”や“希望”があればこの苦労を乗り越えられるはずである。

世界へ飛翔！夢と希望を育み、高い人間力を育てる

中等部・高等部校長予定者　米津　俊司



関西大学にはすでに11学部が存在している。そこに属する優秀な教員の参加を得て共同研究を、まず推進することが大切である。それを核にして、トッププランナーとしてのプライドをもって全国と世界のトップクラスの研究者に共同研究を呼び掛け、推進するのである。将来は高槻ミューズキャンパスが安全・安心情報を世界と21世紀に発信できる拠点になるように育てたい。併設の初等部、中等部、高等部での教育とも連携しながら、優秀な生徒の才能をさらに大学で花咲かせることができる学部・大学院として、専門家の養成はもとより、社会の様々な分野に優秀な人材を輩出したいと願っている。本年4月に発足する新しい組織の立ち上げを成功させることが、私たちの“夢”を実現するための王道につながる第一歩であると信じている。

2010年4月、関西大学の新しい歴史が始まります。

初等部の開設により名実ともに総合学園「関西大学」が誕生することになりますが、関西大学初・中・高等部の開校は、同一キャンパス内で12年一貫教育を実施する、わが国で最も注目される学校として今春スタートします。

大学関係者はもとより、校友の皆さまの夢と期待を担って出発する関西大学初・中・高等部では、次のような教育を行いたいと考えています。

大学の教育理念である「学の実化」を踏まえ、同一キャンパス内で実践することのメリットを最大限に活用し、「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」をバランス良く高めることにより、高い倫理観と品格を有した「高い人間力」をもつ人材を育てることを教育目標にかかげました。

21世紀は、「知識基盤社会」の時代であるといわれますが、同時に、高度情報化、国際化、価値観の多様化が一層進む不透明な時代でもあります。

このような社会のなかで、21世紀の世界を切り拓く人間として必要な力は、世界の情報を正確に把握し、その情報を正しく分析し、主体的に考え、考えたことを表現し、自律的に行動するための総合的な力であります。

このような力をつけるため、初・中・高等部では高い学力と豊かな心を育てるとともに、12年間を貫く特色ある教育プログラムを編成し、高次思考能力



「期待から確かな信頼へ」

初等部校長予定者　田中　明文



を育てる教育、「考動力」を育む英語教育、「発想・思考・表現」力を高めるICT教育を実施することが大きな特色です。これらは、わが国でも最も先進的な教育であり、その成果を全国に発信してまいります。

もとより、中等部では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視し、思考力・判断力等をはぐくみ、情感豊かな心を育てる教育を行い、高等部では「希望する進路を切りひらく高い学力」と「大学で学ぶ基礎となる探究能力」を育てる教育を行うことが基本となります。

公立高校授業料の無償化、経済不況の進行、公立高校の学級増など私立学校を取り巻く状況が例年になく厳しい環境の中での開校でありますが、教職員一同は、これらの困難を克服し、素晴らしい学校を創るため全力を注ぐ決意であります。校友の皆様のあたたかいご支援・ご協力を心からお願い申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。

いよいよ念願の初等部が開設されます。123年の歴史を持つ我が国有数の教育機関である関西大学に新たな歴史が刻まれます。

設置認可の影響で募集告知が遅れ、また、昨年からの景気後退が災いし受験生の反応には心配しましたが、新1年生の入学希望には近畿一円だけでなく、名古屋、東京、そして遠く米国在住の方からの申し込みもあり、その反響の大きさに驚くと同時に、担当者としてあらためて身の引き締まる思いが致します。

初等部は、中等・高等部と続く12年間一貫教育の礎として、また、世界を拓く関西大学人の揺籃としての役目を果たすため、校訓として「考動…学びを深め、志高く…」を掲げました。

これからの世界は、かつてないほど変化の激しい時代を迎えるといわれています。しかし、どのような時代においても人間は全力を尽くして自らの道を切り拓き、世界に生きる一人として社会に貢献する志を持たなければなりません。初等部では、一人ひとりの児童がかけがえの無い存在として大事にされ、個々の持つ能力を最大限に伸長する教育が行われます。情感豊かな人間性やたくましい体をバランスよく育成することは勿論のこと、世界で縦横に活躍するための資質である英語力や思考力の基礎を養います。そして、これらの力が統合され、倫理観や品性を備えたより高い人間力を持った児童の育成を目指します。

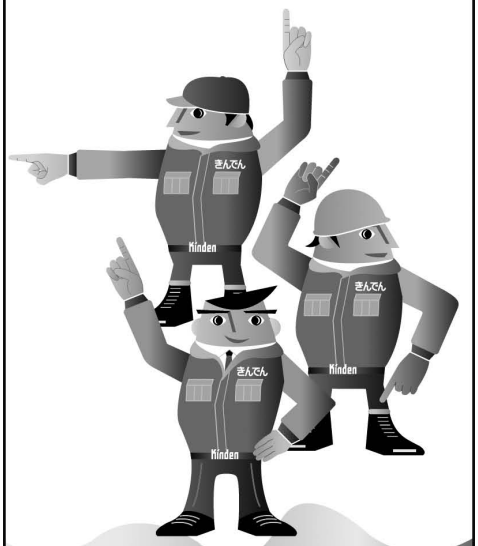
初等部への期待は、児童や保護者、大学関係者だけではありません。関西大学という名を持つ教育機関の一端として、社会の寄せるその大きさは他に比するものではないと考えています。そういう意味で、初年度の今年は一刻も早く、多方面からの期待を確かな信頼へと昇華させることこそが我々の果たすべき最大の責務と考えています。校友の皆様方のご厚情とご支援を宜しくお願い致します。

Kinden

チーム、きんでん。

（施工力＋技術力＋現場力）×情熱

“お客さま満足”という目標に向かって、
さまざまなスタッフが力を結集。
人間力を基盤とした
総合エンジニアリング力で、
あらゆるソリューションにお応えします。



エネルギー＋環境＋情報

きんでん
本　店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号
東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272
http://www.kinden.co.jp/

きらっと 校友録

Kandai Kiratto

Part 22



▲関大卒業アルバム（左上2番目が河口さん）

さまざまな新聞で活動内容を紹介された特定非営利活動法人さんぴぃす（以下さんぴぃす）。パーソン（人）、パッション（情熱）、プレゼント（贈り物）の三つのPとシンプル、スマイル、ステーションという三つのSのキーワードから3×P×Sで『さんぴぃす』の名前が生まれました。『学びの原点は遊び！』を合言葉に子育て支援、母親のリ・チャレンジ支援、新たな学びづくりや情報機器推進事業を中心に活動を展開しています。今回は理事長を務める河口さんにさんぴぃすが目指す新しい教育について語っていただきました。

教員ではない立場だったからこそ問題視した学校教育のあり方

芦屋市を中心に兵庫県内で広く活動するさんぴぃす。「私たちは学校教育を変えていくこと、自分達の考えるコミュニティ・スクールを作るという目的のために設立しました」と理事長の河口さんは言います。関大では社会学科でマスコミを専攻し、卒業後はリクルートで営業職に携わっていた河口さん。一体何がきっかけで教育に関心を持ち、NPOの設立にまで至ったのでしょうか。

リクルートでは営業職でしたが、早い時期からリーダーとして社内での人材育成を任されました。退社後は家業の呉服屋を手伝いながら情報機器に着目。パソコンスクールに通い、指導のための国家資格を取得します。それがきっかけで今度は自宅でパソコンスクールを開くことに。時期的にちょうどウィンドウズ95の発売直後で需要もあり、生徒もかなり集まりました。

そんな時、兵庫県の教育委員会が教員向けのパソコン指導者を募集しているのを知り、応募し合格。兵庫県内の高校を皮切りに、日本全国で学校の教員向けにIT及びICTの指導をしました。ICTのCはコミュニケーションの頭文字。IT技術をいかにコミュニケーションに活用できるかということだそうです。



▲EGの説明をする河口さん

それまでは一切足を踏み入れたことのなかった教育現場。指導員として、数々の学校を訪れるうちに河口さんは問題意識を持つようになります。それは社会では日覚しく情報化がなされているのに学校教育は自分が高校生だった頃と進歩がないということでした。「例えば、求められたのはエクセルで表計算しましょうといったような指導でした。一方的な知識の伝達や暗記では、子どもたちの学びの意欲としてどうなんだろう、もしかするとパソコン指導以前の問題ではないだろうかと。それまで教育に携わったことがなかったから目についたと思うんですけど、それを先生方にどう伝えたらいいのか分かりませんでした」。

そんな矢先、教育改革として教員の資質向上を目指す外資系企業による社会貢献プロジェクトがスタート。河口さんは第一期の受講者として受講のチャンスを得ました。

壁にぶつかり、出たアイデア『子育て支援』から広がった活動

新しいプロジェクトのカリキュラムに触れた時、河口さんは強く共感しました。というのは、河口さんがまさに求めていたこと、学力向上のためにいかに情報機器を使うかという本質が詰まっていたのです。つまり、パソコンを通じた世界の広げ方や深め方のヒントがたくさんありました。

その後、河口さんは外資系企業の情報教育トレーナーに認定され、日本全国の学校を飛び回るように。このカリキュラムに自らのノウハウが加われば、教育のあり方を変えられるのではないかと感じるようになりました。「現在の教育体制や教員を否定するのではありません。教員は教員の専門性があります。私たちのような

素人ならではの大胆な発想で
教育改革を目指すNPO理事長

河口　紅さん

社会資源が加わることで新しい教育体制が生まれるのではないかということです。学校に任せっきりにするのではなく、地域の力こそが欠かせないと考えるようになったんです。そういう思いで、一緒に活動をしていたトレーナーや教員達とさんぴぃすを立ち上げました」。

意欲満々でスタートを切った河口さんですが、予想していなかった壁にぶつかります。「私自身ずっと仕事で外に出ていたため、いざ地域に戻ってみるとどこにも居場所がなかったんです。ですからNPOを設立しても地域との接点がなく空回りばかり。ノウハウがあっても受け入れられる素地がないという失敗を経験しました」と語ります。

そこで、地域密着型の活動をするために考えたキーワードが『子育て支援』でした。「それなら子どものいない人や、子育てが終わった方にもできますし、お母さん達を応援することも大切です。ですから『子育て支援』は人が集まりやすく、人と人、人と地域をつなぐ接着剤になると思いました」。さんぴぃすの主な活動の一つ『芦屋川探検隊』はまさに、地域と人、子どもとシニアをつなぐ体験型環境学習として表彰状を受けるなど実績を認められています。



▲小学生～シニアが参加『芦屋川探検隊』



アメリカで開発されたEGも指導者の認定受け、いち早く導入

二〇一一年前には行政とNPO協働の場として子育て支援会議を発足。今まではNPOが細々と行ってきた子育てに関する草の根活動を、行政と共有化しながら進められるという新たな領域として期待が寄せられています。また、兵庫県チャレンジ助成事業に選ばれた『ペルル』は、母親の出産・子育てのための在宅期間を活用し、社会とのつながりやキャリアアップを支援。それまでの経験や技術をいかした社会貢献の場を作り出しています。

河口さんが今後の柱にしたいという新しい事業『エマジェネティックス（以下EG）』について伺いました。EGは脳科学に基づき人の思考特性と行動特性を知り、コミュニケーション能力を向上させる新しいカリキュラム。日本には二年ほど前に導入されたばかり。河口さんはこのEGのトレーナーとしても日本で第一期に認定を受けました。

「EGはシンプルで分かり易いことがメリットです。私はこれを生徒たちに用いて自分の特性や傾向を知ることで自己肯定感が高まると考えていますし、個性を科学的に知ることで、お互いを尊重し合えるツールになると思っています」と今後の導入について意欲的に話してくれました。

さて、プライベートでは最近落語にはまっているとか。もと呉服屋さんらしく、寄席にはいつも着物で行くそうです。また、今一番の関心は関大のアメフト。「この号が出る頃には結果が出てるんでしょうけど、応援には駆けつけたいですね」と大いに期待を寄せていました。



▲ご贔屓の桂歌之助さんと

プロフィール

河口　紅（かわぐち　くれない）さん

一九八六年　関西大学　社会学部社会学科卒業。特定非営利活動法人さんぴぃす理事長。

新卒で（株）リクルートに入社、就職情報誌事業部に配属。一九九二年に退職後、家業を手伝いながらパソコンスクールに通い、パソコン指導の国家資格を取得。二〇〇〇年以降、教育現場において情報教育指導技術員としてIT指導に携わる。二〇〇三年に特定非営利活動法人さんぴぃすを設立。現在は兵庫県男女共同参画推進員、NPOと行政の子育て支援会議幹事、芦屋市男女共同参画推進協議会代表幹事などを務める。

2010スプリングフェスティバル 4月4日（日）千里山キャンパスで開催

校友と家族、教職員とOBに現役学生も含めたオール関大人の春のイベントとして定着した『スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～』は、今年も大学の全面的な協力を得て、4月4日の日曜日、千里山キャンパスで開催する。

校友会が、100周年記念行事として毎年4月の第1日曜日を校友の日と定め、回を重ねてきたこの催しも、今年は第25回を迎える。所管の総務部では、支部物産展や団体の催しブースとして、年々賑やかになる総合図書館前のテントブースを中心に楽しいイベントもいろいろと企画中。

4月4日は、桜の母校で「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」

（なお、学内事情により催し内容、会場等が若干変更になる場合があります。詳細は3月号に掲載します）

開催日時　平成22年4月4日（日）午前10時～午後3時

（時間内にご自由に来学下さい）

開催場所　関西大学千里山キャンパス

（阪急千里線「関大前」駅下車）

（駐車場はありませんので、電車をご利用下さい）

行事

＊千里山中央グラウンド……午後1時からセレモニーが行われる。校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶に続いて、応援団による演舞・演奏などが華やかに繰り広げられる。

＊悠久の庭……野点会場（無料）を設営し、茶道部現役学生がお点前で参加者を歓迎。また、短冊なども準備しており、桜を賞でながら句作もできる。作品はその場で掲示。

＊新関西大学会館北棟・1階ロビー……『進学相談コーナー』を設営し、教員及び専門の職員が大学をはじめ第一中学校・第一高等学校、北陽中学校・北陽高等学校および高槻キャンパスの初等部・中等部・高等部への進学を希望する校友親子の相談に応じる。

見学施設

＊総合図書館……展示室では、春季特別展『資料に描かれた象―渡来象を中心に―』を開催する。

将軍徳川吉宗の時代に渡来し、長崎から江戸まで連れて行かれて、当時大きな話題となった象について描かれた絵巻物、かわら版、摺物、冊子などを中心に、館所蔵資料約30点を出品して、想像上のものも含め、主として江戸時代に描かれた象を展示する予定。

＊博物館……春季企画展は、「館蔵品展～海外資料のなかから～（仮題）」を開催する。

前身の考古学等資料室から数えて約50年の歴史をもつ博物館には、後世のために、という高い志をもって託された海外資料が少なからず収蔵されている。本山コレクションの一部である南洋民族資料や古代ローマの装飾品、エジプトのスカラベ、ペルーの土器群、篤志家から寄贈を受けたパプアニューギニアの面、トルコの青銅刀など、蒐集された意図も経緯も様々である。

めまぐるしく推移する歴史の流れのなかで、関西大学に辿り着いた世界各地の資料を展示し、一般公開する予定。

＊年史資料展示室……22年度企画展「『関大ルネッサンス』岩崎卯一歿後50年記念展」を開催する。

本学初の海外派遣留学生、本学第1号の専任教授、初代図書館長、法文学部長、初代図書館長、そして本学出身者として初の学長と、関西大学史上、すべての点において第1号の記録を残す岩崎卯一教授が、昭和35年（1960）6月8日に亡くなって、平成22年（2010）はちょうど50年を数える。戦争で荒廃した本学の復興にあたり「関大ルネッサンス」のスローガンを掲げて陣頭指揮をとった岩崎卯一教授の事跡と人間像を思い出の品々と写真で描く予定。

なお、簡文館横の高松塚壁画古墳展示室も自由に見学することができる。

食事・弁当・飲物・オリジナルグッズ

＊生協本部食堂……和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめ子供向けメニューも用意している。また、教室等で総会・懇親会を開催の場合は、弁当（お茶付・1000円）やパーティ用特別料理・飲物の予約もできる。関大生協飲食事業部（電話06―6368―7531）まで直接申し込みを。

＊レストラン紫紺……100

関西大学生協グループ

あけまして　おめでとうございます

皆様にとって真にすばらしい年になることをお祈り申し上げます。

総合保険代理店
Risk Consultant & Financial Planner
株式会社ユニオンサービス
info@union-sv.com　http://www.union-sv.com

本社　豊中市新千里北町2-20-8　関西大学支店　吹田市千里山東3-10-1関西大学生協本部内　TEL0120-505-421

周年記念会館のレストラン紫紺では、喫茶・軽食の営業、記念会館見学のあと、ゆっくり寛げる。

＊レストラン・チルコロ……新関西大学会館南棟では、当日4階のチルコロが営業。喫茶から本格的な食事まで楽しめる洒落たレストランで、バンケットルームも備えている。

＊生協テント……総合図書館前の生協テントでは、弁当・缶ビール・缶ジュースのほか、関大関係書籍や記念品にもなる「関大の歌」CD、「学歌誕生秘話」ビデオ、校章入り瓦せんべい・Tシャツなど関大オリジナルグッズを販売している。

問い合わせ・申し込み

2010スプリングフェスティバルに関する問い合わせ・参加申し込みは、関西大学校友会事務局まで。（電話06―6368―0041～46、FAX06―6380―8476）

教室で総会・懇談会・OB会等の開催を！

桜の下でバザーや発表・展示会・物産展など開催しませんか！

支部をはじめ各組織の総会や懇談会、ゼミのOB会、クラブの現役とOBの交歓会等を開催の場合は、大学の配慮により教室等を会場としてご利用になれます。この機会に是非ご計画ください。

スプリングフェスティバルでは、図書館前から経商学舎付近までテントを設営し、各組織の皆様によるイベントを開催する場所として提供いたします。バザーや発表などの企画がございましたら、ぜひ校友会事務局までご提案、ご相談ください。

※申込方法……3月10日までに団体名、代表者名、連絡先、電話番号、予定参加人数、集合時間等を、校友会事務局までお知らせください。なお、2月末日までにお申し込みの団体につきましては、本紙3月号（3月15日付発行）に「総会等開催団体一覧」として、団体名、集合時間・会場、連絡先指名を掲載し、参加を呼びかけの一助とします。お早めにお申し込みください。また校友会ホームページにも掲載します。

第36回見学会に校友・家族70人が参加
和歌山城とマリーナシティで秋の一日満喫

第36回見学会「和歌山城とマリーナシティを訪ねて」は、11月21日の土曜日に行われ、70人の校友と家族が参加、秋の一日を過ごした。

当日は、晴天に恵まれ、温かい日差しにも照らされながら、参加者は10時に和歌山市民会館前に集合。用意されたバスに分乗して、尾張、水戸と並ぶ徳川御三家のひとつ、紀州55万5千石の居城・和歌山城へ向かった。和歌山城では、3班に分かれ、現地語り部さんによる詳しい説明を聞きながら、西の丸庭園、天守閣、御橋廊下など「日本名城100選」のひとつに挙げられる和歌山城をゆっくりと見て廻った。

見学終了後、再びバスで次の見学地・和歌山マリーナシティへ。マリーナシティ内のレストランでは、まず昼食交歓会を開催。伊藤晃充事業部長、大谷啓二担当副会長が、主催者を代表して参加者にお礼の挨拶。当見学会にご協力いただいた地元和歌山支部、近隣の橋本支部の参加者紹介のあと、代表して田中昭彦・和歌山支部長より歓迎の挨拶が行われた。日根直人代議員会議長の発声で乾杯。マリーナシティ支配人でもある西村昭宏校友のご配慮により、参加者は和歌山の新鮮な料理を堪能した。

昼食後は、広大なマリーナシティ内を自由見学。黒潮市場、黒潮温泉、ポルトヨーロッパなど、参加者はそれぞれ思い思いに買い物やアミューズメント施設で楽しみ、午後4時、バスで和歌山市駅に向かい、現地解散した。



快適で安全な空間創りをサポートする会社です。

SHIROGUCHI

給排水設備 ＋ 空調設備 ＋ 消火設備 ＋ 設計・施工 ＋ アフターフォロー ＝

株式会社 大阪城口研究所

本　社　〒530-0017　大阪市北区角田町2-15
TEL（06）6372-7151

京都支店　神戸支店

ドイツ文学科創立60周年記念式典
2期から現役まで93人が集い交歓

11月28日、文学部ドイツ文学科（現在のドイツ語ドイツ文学専修）創立60周年記念式典が、新しい校友・父母会館で開催された。93人の旧独文科卒業生たちが各地から母校を訪れ、旧ドイツ文学科の創立60周年を祝った。

八亀徳也教授の開会の挨拶によって始まった記念式典は、物故者への黙祷、学歌斉唱へと続き、田中義昭校友会副会長の祝辞の後、植松健郎名誉教授や卒業生代表の西村寿美子氏（2期）が、草創期の知られざる秘話、上道直夫教授や小川悟教授の懐かしい想い出などを語った。参加した校友は、卒業年度も世代もさまざまであるが、それぞれが自分の持っている想い出を辿り、60年前の独文学科の若々しい息吹に触れることができた。

また、記念講演では宇佐美幸彦教授が『ベルリンのレストラン・カフェあれこれ－文化人達の通った店』と題して、裁判官兼売れっ子作家であったホフマンが夜な夜な通った居酒屋やハイネの作品に出てくる老舗の菓子店などの今昔を紹介した。

式典の終わりには、在校生によるドイツの歌のコーラスが披露され、若い学生達の歌う「野ばら」や「もみの木」などのハーモニーが流れた。「もみの木」は歌詞カードが配られ、学生達のコーラスの後、参加者全員で合唱したが、あまたの卒業生の数十年ぶりのドイツ語がO Tannenbaumのメロディにのって会場に響いた。

記念式典は武市修教授の閉会の辞で閉じられたが、レストラン紫紺での懇親会では、参加者たちの熱い交流と笑顔は終わることなく続いた。

（文学部教授　佐藤裕子）



5班に分かれ博物館実習展示までの課程の重要さ実感

毎年、博物館や美術館で働く学芸員を目指す学生たちが、博物館学課程を履修する中で修得してきたことの集大成として、関西大学博物館第2展示室で実習展を開催しています。今年は、11月16日から20日まで「千里丘陵の須恵器」「丹後ちりめんのあゆみ」「ふろしき　境界となる一枚の布」「すごろく展―絵双六にみる大阪近代史―」「知られざる大阪の伝統工芸　張り子」の5班に分かれて展示公開しました。

（博物館事務室）

「丹後ちりめん」は、京都府丹後地方の伝統産業で、特有のさざなみのような美しい「シボ」を持つ絹織物です。展示の企画から借用した資料の返却まで、実習生自身で行うという実習展の課題にはじめは戸惑うことも多く、丹後地方のちりめん製造工程や風土等を知るために何度も現地へ見学に行きました。

快く協力くださった現地の方たちから多くのことを教わりながら、ちりめんの工程における生地の手触りの変化や、1反の布に必要な蚕の繭の量の多さに驚いたことなど、自らが感動した実体験を展示に組み込むことを重視して、少しずつ前進することが出来たのではないかと思います。



後継者不足や養蚕農家の減少など、丹後ちりめんを取り巻く現状は厳しいといわれていますが、この展示を通して、「丹後ちりめん」の魅力を少しでも多くの人に伝えることができればと思いました。博物館実習展では展示を成功させること以上に、それも含めた全ての過程が重要であり、個々が成長した良い機会となりました。

（関西大学博物館実習展
丹後ちりめん班一同）

伏見酒造組合と連携協力協定締結
地下水や酒蔵のある特色のある街づくりなど

地域との共生をめざす関西大学と、酒造りが持続的に可能な地下水環境とその伝統・文化を守り育てることをめざす伏見酒造組合が、連携協力に関する協定を結んだ。

調印式は、12月2日に伏見酒造組合で行われ、関係者出席のもと、同組合の山本源兵衛理事長と楠見晴重学長が協定書に署名した。

両者は今後、地下水の適正管理に関係した学術研究や酒蔵のある特色ある街づくり、教育・文化の振興などの事業について連携協力を進める。



473柱の芳名録を埋納
11月12日に法人慰霊祭

学校法人関西大学の慰霊祭が11月12日、関西大学会館北側の慰霊碑前で、この1年間に亡くなられた校友や教職員、学生などの遺族をはじめ大学関係者ら130余人が参列して厳粛に執り行われた。

黙祷のあと、上原洋允理事

長がこれまでの1万2397柱に加え、新たに473柱の芳名録を埋納。「平成22年4月、3つのキャンパスに学部・大学院、小・中・高等学校を同時開設する2010プロジェクトをはじめ、関西大学は全構成員の総力を結集し、さらなる発展と魅力ある学園づくりに懸命の努力を重ねております。願わくばご遺族のご幸福と本学の発展のためご加護を賜りますとともに、御霊の永遠に安らかならんことをお祈りいたします」と追悼の言葉を述べた。

参列者全員が献花し、楠見晴重学長が挨拶して閉会。その後、遺族らはそれぞれの思い出を胸に、職員の案内でキャンパス内を散策し故人を偲んだ。



体育会覇業披露式ひらく 国内外で活躍の選手ら表彰

11月18日、千里山キャンパス、悠久の庭において体育会覇業披露式が行われた。会場には、今年、国内外の大会で優秀な成績を収めた体育会の精鋭たちが顔を揃えた。楠見学長、上原理事長から、大学のフロントランナーとして大いに健闘してくれた、と感謝と労いの言葉があった。国際大会の部ではアイススケート部の町田樹（文2）、国内大会（全日本）の部では空手道部の梶川凛美（文2）が、それぞれ代表して表彰状と記念品を受けた。



織田、冬季五輪の代表内定 高橋は全日本選手権に意欲

フィギュアスケート・グランプリ（GP）シリーズのファイナル最終日が、12月5日に東京・国立代々木競技場で開催され、男子ではアイススケート部の織田信成（文4）が総合243・36点をあげ、第2位に入り、22年2月にバンクーバーで開かれる冬季五輪の代表に内定した。この大会で「3位以内に入った日本の最上位選手」という内定基準をみたしたもの。

今季GP2連勝と波に乗る織田は、「この大会で決めたい」と演技に臨み、前日のショートプログラム（SP）は87・65点で3位、フリーも155・71点で3位ながら合計で一つ順位をあげ、悲願の切符を手にした。織田は五輪初出場となる。

一方、11月上旬のNHK杯で4位、下旬のスケートカナダで2位と調子を上げてきた高橋大輔（文学研究科M2）は、この大会がけがから復帰の第4戦目。SPで89・95点と世界歴代2位の高得点をマークしたが、フリーでは攻める姿勢で挑んだ冒頭の4回転ジャンプで転倒。その後も立ち直すことができず、134・65点の5位、合計でも5位に沈んだ。高橋は、12月25日から大阪・なみはやドームで開催される全日本選手権で「きっちりと決めたい」と次戦に意欲をみせていた。

アメリカンフットボール部62季ぶりの優勝 甲子園ボウルで法政大下し、ライスボウルへ

アメリカンフットボールの学生日本一を決めるパナソニック電工杯第64回毎日甲子園ボウル、関西大学―法政大学戦が、12月13日に阪神甲子園球場で行われ、関大が50―38で法政大を下し、62季ぶり2度目の優勝を飾った。関大は1月3日午後2時から東京ドームで行われるライスボウルで、社会人の優勝チームと日本一の座をかけて対戦する。

第1Qを7―3とリードした関大は、第2Qで法政大の猛攻に2TDを奪われて一度逆転されたが、前半終了間際、エースRB藤森裕人（環境都市3）が78ヤードのキックオフリターン、QB原口大知（文4）からTE青木塁斗（文3）へのTDパスで最逆転し、前半を1点リードで終了した。

後半、3点差まで迫られた第3Q終盤には、再び藤森が84ヤードのキックオフリターンTDを決め、最後まで主導権を握ったまま、第4Qには17点の大量得点をあげ、大差をつけて快勝した。

制御盤配電盤製作・計装、電気工事
ISO 9001:2000 本社のみ取得 cert No;ci/1275
共栄電器工業株式会社
代表取締役 柳楽信義
本社 〒660−0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所及工場 〒177−0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ http://www.kyouei-d.co.jp

KIWA Japan CNC Machining Center
代表取締役会長 紀和 隆
http://www.kiwa-mc.co.jp
株式会社 紀和マシナリー
〒518-0752 三重県名張市蔵持町原出522-51
TEL 0595(64)4758(代) FAX0595(64)7529
北関東 TEL048(589)1112：大阪 TEL06(6744)0321

全勝で61年ぶりの優勝飾る

アメリカンフットボール部が、11月21日、神戸市の王子スタジアムで行われた関西学生リーグ戦で甲南大を44対7で降し、61年ぶりの優勝を全勝で飾った。

また、29日には同スタジアムで、西日本代表校決定戦が名城大（東海代表）との間で行われ、関大カイザースがRB藤森裕人の95ヤード独走TDなどで得点を挙げ、42対6で快勝し、61季ぶり3度目の甲子園ボウル出場を決めた。

なお、関西運動記者クラブのアメリカンフットボール分科会が選ぶ関西学生リーグの最優秀選手（松葉杯）に、リーグ1位の12TDを挙げ関大を61季ぶりの優勝に導いたRB藤森裕人が選ばれた。また、優秀守備にはLB大舘賢二郎（工4）が、優秀スペシャルチームキッカーに小原啓（工4）が選ばれた。



弓道部女子が初の全日本王座

11月23日に伊勢神宮弓道場で行われた第33回全日本学生弓道女子王座決定戦において、弓道部女子が初優勝を成し遂げ、女王の座についた。

拳法部が男女ともに全日3連覇

11月29日に大阪府立体育会館で行われた第54回全日本学生拳法選手権大会で、拳法部が団体優勝を果たした。同時に行われた第4回全日本女子拳法選手権大会でも優勝し、アベックでの3連覇を達成した。



自動車部が全日総合杯優勝

平成21年度全日本学生運転競技大会が、11月29日に近鉄自動車学校で行われ、自動車部が男子団体優勝を果たした。男子小型乗用の部Aで鎌野勇人（工4）が3位、同じくBで平井亨（法2）が4位。男子小型貨物の部Aで三田智之（工4）、同Bで重田翔平（工3）がそれぞれ優勝し、4人が上位に入り、団体優勝に輝いた。

この結果により、ジムカーナ（ノーマルコースでタイムを競う）、ダートトライアル（悪路でタイムを競う）、フィギュア（運転技術競技＝免許試験コースに各種障害物を置き、タイム・技術を競う）の3種目の全日本大会の戦績ポイントの総合計で競う全日本総合杯でも、早大、慶大等を逆転し、男子団体では2度目の優勝を果たした。

（自動車部OB会　小笹正嗣）

武市、白草が全日対抗重量挙げで優勝

10月30日から11月1日にかけて大阪府羽曳野コロセアムで開催された第55回全日本大学対抗選手権大会（2部）において、男子69kg級で重量挙部の武市樹（商4）、同77kg級で白草竜太（文2）が優勝を飾った。同部は団体で2位となり、来年度から全日本大学対抗1部への昇格が決まった。

THINK×ACT KANSAI UNIVERSITY

12/28（月）から出願受付 一般入試 センター利用入試 スタート！

2010年度 一般入試

日程	試験日	学部	試験地
学部個別日程	2/1（月）	文・システム理工・環境都市工・化学生命工	①②
	2/2（火）	法・文・経済・人間健康・総合情報	
	2/3（水）	経済・社会・政策創造・外国語・人間健康	
	2/4（木）	法・商・外国語・総合情報・社会安全	
	2/5（金）	システム理工・環境都市工・化学生命工	
	2/6（土）	文・商・社会・政策創造・社会安全	

日程	試験日	学部	試験地
全学部日程	2/7（日）	全学部	①②③
	2/8（月）	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全	
後期日程	3/3（水）	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全	①
	3/4（木）	総合情報・システム理工・環境都市工・化学生命工	

出願期間
●学部個別日程 郵送 2009年12/28（月）～2010年1/15（金）
●全学部日程 郵送 2009年12/28（月）～2010年1/25（月）
●後期日程 郵送・インターネット 2010年2/1（月）～2/19（金） 持参 2/20（土）・21（日）
※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

2010年度 センター利用入試

種別	試験日	個別学力検査	学部	試験地
センター前期	大学入試センター試験 1/16（土）・17（日）	課しません	全学部（人間健康・社会安全学部を除く）	—
センター中期		2/7（日）	法・文・経済・社会・政策創造・外国語・総合情報・システム理工・環境都市工・化学生命工	①②③
		2/8（月）	全学部（人間健康・社会安全学部を除く）	
センター後期		課しません	法・文・経済・社会・政策創造・外国語・総合情報・システム理工・環境都市工・化学生命工	—

出願期間
●センター前期 郵送 2009年12/28（月）～2010年1/15（金）
●センター中期 郵送 2009年12/28（月）～2010年1/25（月）
●センター後期 郵送・インターネット 2010年2/1（月）～2/26（金）
※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

全国28の都市に試験地を設置 ①大阪・東京・金沢・名古屋・和歌山・姫路・岡山・広島・高松・福岡 ②浜松・京都・神戸・松山 ③札幌・仙台・新潟・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・NEW高知・小倉・熊本・鹿児島・NEW沖縄

TOPICS

2010年4月、新しい2つの学部が誕生！
●人間健康学部（2010年4月開設・設置認可申請中）堺キャンパス（2010年4月開設予定）
こころ・からだ・くらしを総合的にとらえる「生き方」としての人間の健康という視点を軸に、学際的見地から「健康」に関する諸問題に迫ります。
●社会安全学部（2010年4月開設）高槻ミューズキャンパス（2010年4月開設）
安全・安心、防災・減災、事故防止、危機管理などの今日的問題に、自然科学と人文・社会科学の両面からアプローチし、「安全な社会」「安心な暮らし」を実現できる人材を育てます。

全国28都市で受験できる！
新たに「高知」「沖縄」の2つの試験地を設置。北海道から沖縄まで、全国28都市で受験でき、さらに地元で関西大学にチャレンジしやすくなります。

センター利用入試を拡充！
2010年度入試から、下記の学部でセンター利用入試を拡充します。
商学部・政策創造学部……センター中期（2月8日）を新たに実施！
外国語学部……センター前期・センター中期・センター後期を新たに実施！
総合情報学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部……センター後期を新たに実施！

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項（願書）」をお届けいたします。
ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお知らせください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めにお願いいたします。また、本学へお越しいただいた方にも無料でお渡ししています。
はがき 〒600-8835 京都市下京区観喜寺町13 日本通運（株）京都支店 梅小路倉庫課 関大願書請求「校友」係
FAX 075-371-7833

入学試験に関するお問い合わせ
関西大学 入試センター 入試広報グループ
☎06-6368-1121（大代表）
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/

関西大学

アイスホッケー部が関西連覇

9月19日から11月29日にかけて高槻キャンパスアリーナで行われた第56回関西学生リーグ戦で、連覇を達成した。



なぎなた部の太田が西日本選手権連覇

11月15日に兵庫県立総合体育館で行われた第34回西日本学生なぎなた選手権大会男子個人競技の部で、なぎなた部の太田圭亮（文2）が優勝し、連覇を達成した。



児玉がJリーグ・京都サンガ入団

サッカー部GKとして関大のゴールを守ってきた守護神・児玉剛（商4）のJ1京都サンガFCへの入団が決まった。幼稚園の頃から抱いてきた「Jリーガーになりたい」という夢の扉が開いたのである。大学では仲間とともに日本一をめざして技量を磨く傍ら、地域の子どもたちとサッカースクールで触れあう活動などが「人間的に大きく成長させてくれた」と感謝を忘れない。

なお、サッカー部は11月29日、長居第二陸上競技場で行われた関西学生サッカー後期リーグ最終節において、阪南大と1対1で引き分けリーグ2位となり、全日本大学サッカー選手権大会への出場を決めた。1回戦は12月19日、西が丘サッカー場で高知大と対戦。



テニス部が1部昇格と優勝者の祝勝会開く

11月29日、吹田のメイシアターでテニス部が、男子1部昇格祝勝会ならびに関西学生テニス選手権における男子シングルス優勝の福田、女子ダブルス優勝の辰野・内仲組の祝勝会を行った。

お忙しい中、たくさんのOBの方にご出席していただきました。私たちテニス部がこのような実績を残すことが出来たのもOBの皆さんのご支援のお陰だと思っています。

来年、男子は1部リーグで戦うわけですが、やはり様々な面で見て大きくレベルアップする必要があると感じています。これまで以上の努力をして、王座を目指して頑張っていく決意です。また、女子は今年果たせなかった1部昇格を目指して日々の練習に励みたいと思います。

2月からは学生の個人戦も始まります。大きな励みになりますので、お時間があれば是非会場の方まで足を運んでください。これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願いします。

（体育会テニス部主将　玉木裕平）



O-net
楽天
関西大学校友会の皆様へ
信頼の結婚情報サービスはオーネットです。
オーネット法人特別プラン
入会時お支払い金額
入会金＋活動初期費用
99,800円
通常入会より1万円お得！
＋
活動費月額
あんしんの定額制
13,650円
基本サービス
◆ パートナー候補を定期的にご紹介
◆ 月刊会員誌に自己紹介を掲載
◆ 担当アドバイザーがバックアップ
さらに 人気オプションを追加！
● プロカメラマンが写真撮影
● 写真検索システム登録と利用
● 写真検索システムのご利用
お問い合わせ・資料請求
フリーコール
0120-512-556
メール join@onet.co.jp
ホームページ https://biz.onet.co.jp
株式会社オーネット
あなたの個人情報を厳守します。
結婚相手紹介サービス協会会員
Marriage partner Introduction Service Association

千里山法律学会が1位に 全日本学生法律討論会で

12月5日に16大学から約250人が参加して関西学院大学で開催された第59回全日本学生法律討論会で、千里山法律学会が立論の部で団体1位（立論者・高木佐容子＝法3）に、質問の部で平原直哉（法3）が個人1位になった。



北岡貴文さんが The Award of Best Presenterを受賞

9月7～8日にタイ、バンコクで開催された「EIT-JSCE Joint International Symposium on Geotechnical Infrastructure Asset Management 2009」のStudent & Young Engineer Sectionにおいて北岡貴文さん（工学研究科M2）がThe Award of Best Presenterを受賞した。

発表した論文タイトルは、「Takafumi Kitaoka D and Harushige Kusumi : Establishing the 3D Model of the Underground Water Management System at Southern Kyoto-city.」で、内容は地下に下水道施設が敷設された時、地下水の流れがどのように変化するのかを数値シミュレーションを行ったもの。これによって地下水流動挙動や地下水汚染などの問題に対処できることから、地下水環境の保全に寄与できる。

一高野球部の西田が 楽天にドラフト2位指名

10月29日に行われたプロ野球ドラフト会議で、関大一高硬式野球部の西田哲朗（3年）が東北楽天ゴールデンイーグルスから2巡目指名を受けた。西田は高校通算本塁打37本、盗塁数100を超える走攻守三拍子揃った右投げ右打ちの内野手。まだ荒削りながら、将来は生え抜きの主力選手に育ってほしいという期待を込めて指名された。

なお、西田は11月30日、楽天と入団の仮契約を結んだ。



関大北陽高が 全国高校駅伝大会出場

全国高校駅伝の予選会を兼ねた男子第60回・女子第25回全国高校駅伝大阪府大会が、11月8日、淀川右岸河川敷コースで行われ、関大北陽高校陸上部（男子）が2時間11分27秒のタイムで、31年連続優勝の清風高校を11秒差で振り切り、初優勝を成し遂げた。

全国高校駅伝は12月20日、12時30分に京都府西京極陸上競技場をスタートして健脚を競う。師走の都大路を走る関大北陽が「魂」の籠もった襷をつなぐ。



関大一高が全国高校サッカー選手権大会出場

第88回全国高校サッカー選手権大会大阪府予選決勝が、11月14日に大阪市長居第2陸上競技場で行われ、関大一高が延長戦の末、3―2で金光大阪を降し、10年ぶり3度目の優勝を果たした。

関大一高は前半14分、MFの梅鉢貴秀（2年）のミドルシュートで先制し、1点を追加してリードするも後半に同点とされる。延長後半、DF横川玄（3年）がVゴールを決めた。

一高イレブンは憧れの国立競技場に向けて、12月30日から開催される全国大会に出場し、1月2日、緒戦は鹿島高校（茨城）と対戦する。



映画情報モバイルサイト
シネマNAVI
「上映時間は?」「いつ公開なの?」「どんなストーリー?」
そんな時は携帯からスグに情報をGET。
毎日更新だから情報は新鮮、正確。
ここから簡単アクセス！3キャリア対応
「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。QRコードを読み込むにはコード認識機能搭載の携帯電話が必要です。「シネマNAVI」は株式会社新通の登録商標です。通信料は別途かかります。
■サイト運営：株式会社 新　通シネマコンテンツグループ
広告の《新通》は、
さらに新しいフィールドを目指します。
自然・人・住まいの共生を提案する
「環境創造型住宅展示場」
KTV 住宅展示場
京都五条住宅展示場 TEL.075－314－7587
守山住宅展示場 TEL.077－582－6561
近江八幡住宅展示場 TEL.0748－33－3660
ひこね住宅庭園 TEL.0749－22－9600
わかやま岩出住宅展示場 TEL.0736－69－5167
KTVハウジングホームページ http://www.ktv-housing.com
■主催：関西テレビ放送株式会社　■企画・運営：株式会社 新　通
総合広告代理店 株式会社 新　通 ●本社／大阪市西区西本町1-5-8　TEL06(6532)1682(大代表)●東京支社 ●名古屋支社 ●京都支社 ●神戸支社 ●札幌支社 ●広島営業所 http://www.shintsu.co.jp

オース！ごきげんさん。 連載30



現代美術の表現者として

〈上〉　矢原　繁長

～美術と大阪～

1979年3月、ぼくは高校卒業と同時に愛媛の田舎から大阪にやってきた。目的は美術学校に通うためだった。小学生の頃から絵画は習っていたが、田舎には美術大学受験用のデッサンをまともに教えられる教師はいなかった。美術学校への入学手続きまでには1月ほどの期間があった。そのために大阪の活気に気押されながらも、毎日、美術館やギャラリーを回っていた。

その日々は驚きの連続であった。美術館で観る作品は全く不可解なものばかり。自然石や鉄塊を並べた作品、足で描いた絵画、体当たりで破られたハトロン紙。そんなものが芸術作品として扱われていた。「これが美術なのか?」当時のぼくが知っていた画家はゴッホやモネといった印象派の画家が中心であり、ピカソに至っては難解な前衛であった。だが、目の前の作品はピカソの難解さをはるかに超える前衛であった。今思えば、70年代～80年代の美術はコンセプチュアルアートやミニマルアートが一応の成果を残し、日本が世界に誇る「グタイ」の作家が関西を席巻していたのである。



▲平面作品「詩的物体」

ぼくは、10日間ほどの間に「時代のメインストリーム」ともいうべき芸術がどういうものかを目の当たりにしていたのである。その作品を理解することはできなかったが、とにかく「現代美術はカッコイイ」という感覚だけが残った。はじめて、ビートルズの音楽を聴いた時と同じ感覚だった。とにかく「美術とは反体制的なロック」と同じフィールドにあることだけは明らかだった。デッサンと現代美術に関連性がないことも分かった。結局、ぼくは親からもらった美術学校の授業料を使い込み、天満の魚市場や製菓工場でバイトをしながら、ふらふらと大阪の街に同化していった。

～関西大学法学部の学生に～

「時代を突き破るような作品を作りたい」と強くは思うもののどうしていいのか見当が付かなかったが、時間の経過とともに作品を作れない理由が分かってきた。それは反体制的な表現をする前提としての体制側の社会システムを全く知らないのだから、それに抗うこともできないという事実であった。社会のシステムを学ぶためにどうすればよいのか。社会は法律により規定されている。とすれば、とりあえず、それを学ぶ必要がある。この雑多だが創造性に溢れた大阪で法律を学ぶためには……関西大学法学部を受験しようと決めた。そして、ぼくは2年遅れで関大の学生になった。



▲立体作品「幾何学的精神」

大学には様々な人間がいて興味深かった。ひたすら勉強をする者、ひたすらコンパをする者、ひたすら運動をする者。一方、学問としての法学の勉強、これほど苦痛なものはなかった。ただ、社会は調和を保つために中庸を旨とする価値観と誰もが納得する理論を求めているということだけは充分理解できた。その価値観と理論を修得した者が法曹になるということも分かった。



▲立体作品「白の幾何学」

矢原　繁長（やはら・しげなが）

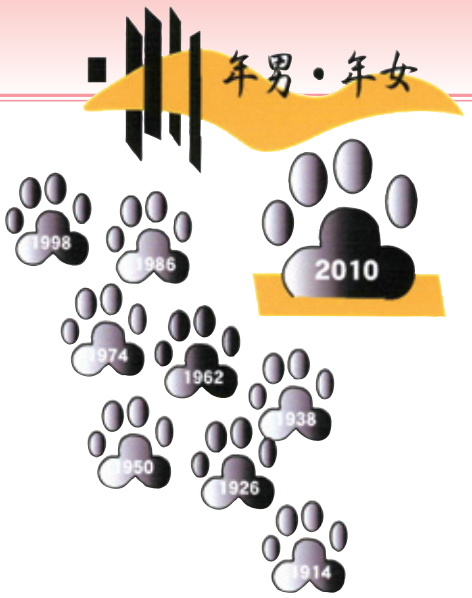
1960年愛媛県生まれ。85年法学部卒業。吉原治良賞展、青木繁記念大賞展、池田満寿夫記念芸術賞など入選・入賞多数。1990年代よりドイツ・オランダ・フランス・スペインなどで作品発表。2001年の同時多発テロ以降、世界100人の芸術家の1人に推薦され、「ピースアートポスター展」（ＮＹ）に出品。近年は「平和絵画展」（広島市現代美術館）や「詩と彫刻のコラボレーション」（兵庫県立美術館・神戸新聞）などメッセージ性の強い作品を発表している。

告知

「明日をになう西宮の作家展」
（主催：西宮市・西宮市文化振興財団）

彫刻部門
出品作「詩的物体～15年～」

会期：2月9日～21日
会場：西宮市立市民ギャラリー
（兵庫県西宮市川添町15―26）



1889年（明治22年）9月に第1回卒業証書授与式が挙行され、初めての卒業生が母校を巣立った。その数17人、いかに卒業が厳しかったかを物語る。それから120年を経て校友は39万人を数える。教育研究の充実を図り、有数の総合大学へと発展してきた大学の歴史には、そのときどきの学生たちの青春の思い出が刻まれている。

関西大学に関わる「寅年」の主なできごとをみると、1914年（大正3年）福島学舎に図書館が竣工、1926年（大正15年・昭和元年）千里山大運動場が竣工、1950年（昭和25年）新制大学院、短期大学を設置、1974年（昭和49年）岩崎記念館が竣工、1986年（昭和61年）創立100周年記念式典を挙行、1998年（平成10年）高槻キャンパスにD棟／大学院棟竣工などがある。

ことしも新春特集として、年男・年女の校友18人に学生時代の熱き想い、エピソードなどを中心に執筆いただいた。

〔上記および「年頭所感」使用カットは西村公郎氏（昭31学二経）の作品です〕

1926年（昭和元年）生まれ
胸躍る青春は母校とともに

井阪　喜子（昭24大法）



アメリカンフットボール部のリーグ優勝！まことにおめでとうございます。

グラウンドを走り回っておられた羽間平安さんの勇姿が、昨日のことのように思い浮かんでまいります。

ちょうどその頃、私は桜咲く千里の山にはじめてまいりました。胸はずませて男女共学の最高学府に入学したのに、なんと女子学生は私たった一人。教務課（学生課）の女性職員の横にベッタリで休憩時間を過ごしたものです。

翌年、女子秀麗会を一緒に立ち上げました今は亡き佐合倭文子さんが入学されたときは、天にも昇る心地がしたものです。翌、昭和23年、大学予科に13人の女子学生が大挙して入学し、大喜びいたしました。それからは年毎に女子の入学者が増えていきました。

私が入学した頃は、豊津で電車を降り、梅林の横道を歩いて大学の前の道に出て、今の正門横の坂道を登って学舎に行きました。豊津の上の山は当時、千里山遊園地でした。疎開児童のお世話を一緒にしていた先生が、子どもたちを遠足で千里山遊園地へ引率して来ておられる姿もときどき拝見し、とても懐かしく思いました。

男子学生は制服制帽でしたが、女子の制服はありませんでしたので、普段着で通学していました。着物を着て袴をはいて行ったこともありました。大学では応援団の方がたの元気のよい応援ぶりを見てたいへんびっくりしました。応援団の演舞を見ようと、団員の後について西宮球場などへ野球の応援に行ったことを思い出します。

また、趣味の会として音楽部に入れていただきました。マンドリンクラブを熱心にお世話してくださったのは、山口県から来られた方でした。部員は20人余りで、ときどき演奏会を開きました。歌を唄ったり、合唱したり、賑やかな会でした。お知り合いの歌の上手な方、お好きな方にも出ていただいて一緒に唄っていました。予科のピアノが置いてある講堂で練習しましたが、ときには料理屋をされている部員の所で演奏会をし、後で楽しい食事会をしました。重いアコーディオンを肩からかけ、木琴や笛を持っていって、小学唱歌や皆さんがよく知っている歌を、会があるたびに練習しておりました。独唱あり、合唱ありと、途切れることなく皆さん、大きな声で楽しんで唄っていました。

思い出は尽きることなく、「共学草創の頃」と題して、弁論部の寺西武氏に熱弁をふるっていただいたときのことをも、ついこの間のように思い出します。

私たちが「地獄坂」と称して息を切らせた法文学舎への道も、現在では見違えるように整備され、立派な正門を見上げて今昔の感あらたです。学術に、スポーツに目覚しい躍進を続ける母校の情報を見聞するたびに、我がことのように胸躍る昨今であります。

（女子秀麗会初代会長）

生涯続く親友との厚い信頼と深い友情

谷村　一男（昭27学二経）



早や八十路を越えた老耄「庚寅の年男」として投稿の機会をいただき、恐縮しております。

十二支では3番目の寅、動物の虎はアジア特産の猛獣です。幼き頃は「張子の虎」として嬉々として遊び、中学時代には勉強に「虎の巻」を愛用、長じては虎に纏わるいろいろな詩句「不入虎穴不得虎子、画虎類狗、虎視眈眈」等々に親しんだものです。最近、中国で「車禍猛於虎（交通事故は虎よりも恐ろしい）」という標識があるそうですが、良きにつけ悪しきにつけ虎の威光は今も昔も変わらぬようです。

戦争末期、敗色が強くなったときに中学卒業、陸軍通信学校に入隊。昭和20年終戦で復員、22年に歴史と伝統ある関大の旧



年男・年女 学生時代を語る

制専門部の経済科に入学、翌年学制改革により新制大学となった経済学部に入学しました。

明治19年関西法律学校として創立以来、120周年記念行事を無事終えた母校に、青春の一時期を著名多彩な教授陣による講義やゼミを熱心に受けたお陰をもって、已に厳しく自己研鑽に努めました。そして今日ある幸せをありがたく噛み締め、感謝の日々を過ごしております。

同窓には敬愛する畏友・畑下辰典氏（元校友会長など要職を歴任）がいます。近来、多くの先輩、友人が泉下の人となり実に寂しいですが、「死生有命」の言葉どおり自然の摂理には従わざるを得ません。それにつけ思い出しますのは、母校で学び、遊んで喜び悲しみを共にしたかけがえのない多くの良き親友を持った幸せを、これもただ市道の交わりでなく管鮑貧時の交わりのごとく、深い信頼と厚い友情は生涯忘れられません。

また、昭和23年には、書籍『河上肇―21世紀に生きる思想』に接しました。その第3部に「河上肇を語る」一海知義・杉原四郎両先生の対談記事があり、「京都大学から関西大学へ」という項で、杉原先生が「1948年に関大が新制大学として発足する際、呼ばれました。声をかけてくださったのは高木秀玄さんという統計学の先生で、関大に拾われて本当に良かった。関大は京大経済学部と関係が深く、河上さんも夜間部で講師をしていた。それは、より自由な立場で勉強したいというお気持ちからだ」と述べておられます。

偉大なる我が母校、自治自由の関大、校友会の代議員の一人として校友会行事でキャンパスを訪れるたびに、目を見張る充実発展ぶりには驚嘆するばかりです。これからも輝かしい伝統を背負い、清き誇りをもって世界に冠たる学究の府として、ますます伸張し発展されることを祈念申し上げます。併せて、昨今の激動する社会において各界の指導者として活躍されている校友各位に、更なるご発展とご健勝を切にお祈りいたします。

（元樟葉パブリックゴルフ場 常務取締役支配人）

素晴らしい教授と学友の学者たち

山田 榮一（昭25大経）

太平洋戦争の激化にともない、旧制天王寺商業を繰り上げ卒業し、直ちに昭和19年1月に軍需会社日本窒素に入社した。私は尼崎工場に配属され、汗と油にまみれて生産増強に励んでいたが、学問への情熱絶ちがたくギリギリ間に合って二部商学科を受験した。天王寺商業で同期だった大西昭男元学長（のち理事長）も同じように日本窒素に入り、朝鮮の興南工場に配属されたが、敢然として日本に戻り、（私と）同様の思いで二部国文科へ入学したのである。

やがて召集されて兵役につき、終戦を迎えて復員後、昭和20年9月に復学し、22年4月、経済学部に進学した。私はアルバイトの会計事務所勤務が忙しくてクラブには入っていなかったが、当時はホッケー部が全国優勝したり、アメリカンフットボール部が甲子園ボウルを制覇したりして関大スポーツ黄金期であった。甲子園ボウルでは、羽間平安元理事長がクォーターバックとして大活躍された。

次いで、講義の思い出を簡単に記載させていただく。岩崎卯一学長が「関大ルネッサンス」を提唱して大学の質的向上を呼びかけられ、先生の講義はいつも満員。ノートをとるのに懸命となる。一言一句の解釈は理路整然として奥深い。「ゲマインシャフト、ゲゼルシャフト」の言語は、関大生の誰もが忘れられない教養である。独特のお声で蘊蓄を傾けられた植野郁太教授。「植野会計学」ともいうべき講義であった。先生は関大会計学のリーダー的存在で、数多くの弟子を育てられた。森川太郎教授のアダム・スミス『国富論』の原書講読、矢口孝次郎教授の経済史、三谷友吉教授のリカードの価値論英書講読、藤谷謙三教授の財政学は、京大教授らしい風格で私のゼミの先生でもあった。高木秀玄教授の統計学で学んだ平均値と中位数の違い、丹波康太郎先生の経済変動論。その他、諸先生の講義は残念ながら紙面の都合で割愛せざるを得ない。

私は経済学部の学生だったが、法学部の講義もよく受講した。中谷敬壽教授の新憲法は憲法一家の面目躍如であった。植田重正教授の刑法、大森忠夫教授の商法総則、物権法、福島教授の債権法、その他、中教授、山木戸教授等々、錚々たる先生方が揃っていた。

話はかわるが、私は長い間、学校法人関西大学の監事を務めさせていただき、評議員会議長を最後に役職から退いた。幸いなことに、天商同期の大西元理事長、先輩には廣瀬捨三元学長、新聞学科の中井駿二教授、また、関大同期には上田昭三、来住哲二、高堂俊彌、新制一期（卒業は同じ）であった末政芳信教授と学者ぞろいで、これは私の自慢の種であり、また心強くもあった。これら素晴らしい教授は、同期を除いて今は鬼籍に入られた。「年々歳々花相似たり、年々歳々人同じからず」の思いが強い。生き残りの私たちは、お互い丙寅の年男として佳き年であるように頑張りましょう。

（公認会計士・税理士）



（右から二人目が筆者）

1938年（昭和13年）生まれ

我が人生の原点はホッケーにあり

浅井 徹（昭36学商）



昭和32年、商学部入学と同時に体育会ホッケー部に入部。当時の体育会はKaisers関大としてその名を轟かせていた。我がホッケー部も全国制覇を成し遂げ、関西には敵無しの黄金

時代であった。幸い高校時代の経験もあり、1年次生で公式試合に出場できた。当時監督であった天野正先輩（元毎日放送専務、現ホッケー部OB会名誉顧問）の薫陶を受けて、今日、心身ともに健全で地域社会に貢献できている。これもひとえに天野先輩のお陰と感謝する次第です。

4年次生のときホッケー部の主将を務め、ローマオリンピックの候補選手にも選ばれたが、後輩の佐土市良君が出場した。ゼミナールは就職活動にも欠かせないということで、廣田司朗先生の金融財政論を学んだが、全日本の合宿や遠征で出席日数が不足し、先生のお荷物になっていた。それでもスポーツで鍛えた精神力がものをいったのか、クラスの第一号で内定を決めた。時あたかもコンパの日であった。廣田先生から「君のことが一番心配だったが、本当によかった」といわれ、自らの一気飲みでお祝いを受けたことは生涯忘れない。

昭和36年、一部上場企業の機械器具製造業会社に入社。総務、人事、労政、開発、営業部門を歴任し、取締役で退任したが、ホッケーを通じて培った体力と精神力で「何くその精神」「人より一歩先に行く」「仕事に追い越し禁止なし」の意志を貫くことができたと思っている。



昭和33年夏季合宿（後列左から4人目が筆者）

卒業後もホッケー部OB会に在籍し、平成18年、体育OB会創設50周年記念式典で特別表彰を受賞。また、校友会組織拡充で橋本支部設立時の支部長に就任し、校友会代議員の仲間入りをさせていただいて母校・関西大学の発展にいくばくか貢献できることは光栄である。

現在も生涯スポーツとして、60歳以上で構成する日本グランドマスターズのメンバーでホッケーを楽しんでいる。

（元富士車輌取締役、現NPO法人紀見サポートクラブ理事長）

岸監督の言葉が人生の心の支えに

清原　博（昭36学商）

九州の地から夜行列車で上阪し、関西大学商学部に入学したのが昭和32年の春でした。両親には、公認会計士をめざして勉学に励むと誓っていました。



しかし、入学して間もなく体育会陸上競技部に入部しました。そこで恩師の岸源左衛門監督に出会ったことが、その後の母校・関大陸上競技部と切ってもきれない縁のはじまりでした。岸監督の「君こそが部員のなかで関大スピリットを一番もっている男だ」というお褒めの言葉が、今日の私の人生の心の支えになっています。関大陸上競技部を誰よりも愛してやまない、男の誕生の原点です。

時の陸上部は、戦後の黄金期（関西学生10連覇）真っ只中で、昭和39年の東京オリンピック開催に向けて、練習に試合に相当力が入っていました。2年次の夏場を過ぎ、監督の命によりマネジャーに転向。部員の統率と先輩OBとの連携により、伝統ある競技部を盛り上げることに必死でした。在学4年間はクラブ活動漬けでした。

元来、中距離専門の私でしたが、高校時代から駅伝に出場。関大長距離陣も、当時は関西最強を誇り、2年次からはじまった琵琶湖一周駅伝では3連覇を達成しました。近年は京都産業大、立命館大の後塵を拝しているのが、たまらなく淋しく悔しく思っています。一年でも早く、私の学生時代の栄光と「関西の雄」の姿を取り戻してほしいと願う次第です。

校友会活動では、長年に亘り代議員を務め、支部活動では、明石関大クラブで幹事長、現在は副会長を務めています。また、陸上競技部OB会の「陸友会」では参事を拝命しています。母校創立90周年、100周年、120周年と節目の式典に参加できたのも、よき思い出となりました。

（損保代理店経営）

「第1号」として関西大学は私の誇り

藤原　清（昭40学二文）



創立以来123年を数え、人間で言えば還暦を2回経験し、39万人を超える校友を擁する母校・関西大学には様ざまな方が

KANSAI KUグッズ UNIVERSITY
For Memory&Campus Life
記念品やお土産に是非ご利用下さい
●詳しいお問い合わせは
関西大学生活協同組合　TEL：06-6368-7536　E-mail：ku-shop@kandai.ne.jp
インターネットからお申込みいただけます ⇒ http://www.kandai.ne.jp/





年男・年女 学生時代を語る

おられ、その中には、たとえば初の女子入学生とされる故北村兼子大先輩（大正14年。もちろんお会いしたことはないが）など、いろいろな「第1号」があると思う。

ちょっぴり手前味噌ではあるが、私もその「第1号」の一人だと言われたのを、今もはっきりと覚えている。「耳が全く聴こえない入学生」―これが私に与えられた「第1号」である。

昭和36年、国文学科の門を叩き、入学は許されたものの、母校のほうでもどう教えたらよいのか判らなかったらしい。特別に面接をということで、学部長の見次教授（ドイツ語）ほか数人の先生方とお会いした。結局、特別扱いはできないが…という条件付で入学を許された。今のように手話通訳とか要約筆記を配してもらうことなどまだ無理な時代だった。当時、京大（ここを卒業したM君は耳の聴こえない弁護士第1号である）をはじめ、関学や同志社など関西の各大学にも同じ耳が聴こえない者が在学していて会をつくり、月1回集まって情報交換みたいなことをしていたが、いずこも私と同じ状況だった。

私の母校での生活は、まず友人づくりと担当の先生方への挨拶からはじまった。講義の中身は殆ど掴めなかったから、友人のノートを写させてもらったり、先生に私の耳のことを承知してもらうことが必要だったが、何よりも私自身の向学心が大切だった。「必ず4年間で卒業を」と心に決め、そのためにテープレコーダーの持ち込みを許してもらって、先生方への質問状作戦を考えた。

こうして、卒論でも「優」をいただいて予定どおり卒業できたが、国文学の谷沢先生をはじめ、吉永先生、横田先生、考古学の末永先生、法学の澤田先生、こわもて顔の丸山先生などのお顔は忘れられない。そして、私以降、同じ耳が聴こえない後輩たちが入学、卒業し、その数は10人を超えると聞いている。学内には、今、現役生たちの手話サークルがあり、そのアドバイスを請われることもある。

卒業後は、同じ耳の聴こえない子どもたちが通う「聴覚支援学校」（旧ろう学校）で定年まで言語教育に関わってきた。

私が今あるのは、やはり一つには、母校・関西大学で学び得たことが大きかったと思い、「自然の秀麗　人の親和」と学歌を口ずさむと若き日へのノスタルジアを感じ、そして関西大学が自分の母校であることに誇りを感じている。

（元府立聾学校教諭、
現定時制高校非常勤講師）

関大での研究が仕事と人生決める



室　義一郎（昭37学工）

私は、昭和33年4月に関大工学部ができた時に1期生として機械工学科に入学、その時は千里山でなく、天六学舎であった。3年次の専門課程から千里山へ移った。天六の時代は学校の周りにパチンコ屋、マージャン屋、ロマンス喫茶と称するお色気喫茶、露天の鮨屋等多くあり、時間潰しにはこと欠かなかった。

休講となれば、直ぐに駆けつける場所が多く、その意味ではよく遊んだ！　当時、父と長兄が営んでいる工場の製品の納入に、大阪近郊の企業へピックアップトラックを運転し、通学途中に営業を手伝うこともしばしばあった。都度アルバイト代を貰っていたので、若い一般のサラリーマンよりも金廻りが良く、卒業後の生活よりも極楽と言える関大時代であった。

父の会社で苦労していたある生産のプロセスの考案を、暇をみては考え、簡単なスケッチの図面を書き、化学的な反応実験など自分なりに行って、卒業時にはある程度の構想と確信を持った。3年次に下間頼一助教授の設計研究室に入れていただいた。しかし、私は工作機械に非常に興味と親近感を持っていたので、暇を見つけては工作研究室に入り浸りの状態で、確か当初機械科は5研究室で学生は総勢55人位、研究室間の交流と称して、研究室対抗野球試合を仕掛け、よく野球をして遊んだ。ある先生からは「室は勉強の邪魔をしとる」と目を付けられたこともあった。

また、卒業研究は、下間教授の専門が繊維機械であったため、研究室に浮遊リング式のドイツ製の小型精紡機があり、リングの挙動の実験と解析をテーマとしていた。その機械の駆動はシャフトドライブ方式で、シャフトドライブの良さを認識し、卒業と同時に次兄の会社に強引に引っ張られて入ったが、東京への憧れが強く、僅か23人の蒲田の街工場に入社した。会社には当時の技術系専門学校出身の人が2～3人居たが、理屈だけで実行が伴わない現場のお粗末さに落胆すると共に、ここは一旗揚げるチャンスと思い、学生時代に温めていた構想を具体化し、自分でシャフトドライブの機械装置を設計から工作・組み立て・試運転等2年余りで完成させ、製法特許を取得して、当時未だモータリゼーション途上のカーメーカーに売り込んだら、各社採用してくれて、直ぐに200人位の会社へと飛躍できた。

その間、下間先生に頼み込んで、学生を送り込んで貰い、私の同期で教授になったが無念にも早く鬼籍に入られた藤井拓蔵君、工作機械研究室の田中行雄先生の3人の先生には、小企業にもかかわらず私を信じて優秀な学生を何人も紹介していただいたお陰で、現在の会社と自分があると考えている。

平成8年にジャスダックに上場、連結子会社が海外3社、国内2社で総勢700人余の企業となり現在に至っている。関大卒の社員は私を入れて10人、うち役員は5人とかなり年配になってきたが、最近は遠方で有名企業でもない当社には、ほとんど母校からの入社は無い！　私が関大に入っていなかったら、会社の存在も、自分の人生もかなり違ったものとなっていたと考えている。関大の先生方に感謝、同期の仲間に感謝、私の人生は関大抜きには考えられない幸せな人生である！　向後関大の益々の隆昌発展を祈念しております。

（ムロコーポレーション
代表取締役社長）

1950年（昭和25年）生まれ

廣岡教授のSSD哲学 その後の人生の矜持に

岡野　満（昭50学文）



阪急梅田駅で先輩から「特急も急行も金は一緒じゃ、アホ」と言われたのが、私の関大生活のはじまりだった。そんな田舎の放置自転車のような私を歓迎してくれる人たちがいた。それが関西大学文化会文芸部の方がただった。

文芸部では、年一回機関誌『千里山文学』を発行していた。3年次のとき、部の主将を務め、部員の原稿を携えて先輩と通称『おかけい』へ向かった。予算の少ない我が文芸部では、交通費を払ってもまだ安いこの岡山刑務所の活版印刷に拘っていた。そうして出来上がった『千里山文学』は血こそ流さなかったが、私個人にとっては貧困と自己陶酔のまさに結晶であった。

当時、学園は70年安保闘争の後、学費値上げ、成田、狭山裁判で騒然としていた時期でもあった。そんな中でも英文科学生として忘れられないのが、廣岡教授がしてくださったshake-speareの講義だった。教授の発する軽妙な大阪弁の授業は殊に耳新しくなじんだが、その授業中に言われた〈SSD哲学〉（そやさかいどうや）は、教授の言わんとする言葉の意味を曲解し、反主流、反権力を標榜せんとする「青き田舎者」の私にとっては、その後の人生の矜持ともなった。

田舎にもどって30数年が過ぎた今、関大生であった事実と校友会で諸先輩に出会い、助けていただき、培ってきた絆は尽きることはない。

関大で巡りあった友人、関大という言葉で想起するすべての感情は、千里山の坂道を駆け上がる青春の群像として私の心に深く残るであろう。（元会社員）

関大卒で良かった！

濱脇　哲夫（昭48学商）



昭和44年4月、朝靄煙る新大阪駅に今は廃止となった寝台特急「あかつき」で、夢と希望そして一抹の不安を持って到着、かくして私の大学生活は始まりました。入試が地方試験であったため、初めてみる関大はとてつもなく大きく壮観な光景であったことを想い出します。

入学して早々、全国的な学園紛争は関大も例外ではなく、紛争は卒業まで続き、レポート提出による試験でかろうじて卒業。振り返れば、これまでの人生で最も楽しき良き青春時代でした。ノンポリな私は、市役所の面接試験で学生運動について聞かれ、返答に窮したことを覚えています。仕事の関係で先進都市の調査照会をする際、関西圏の役所に行く時は校友会のお世話により、校友関係者のご紹介をお願いし、関大の校友と言うことで大変良くしていただき、関大人脈の大きさとパワーを強く感じました。

私が、8年ぐらい前に物産振興課長として、千里中央駅で長崎市の物産展を開催いたしました際は、関大応援団の吹奏楽部の長崎メロディーの演奏やチアリーダーの友情出演をお願いし、花を添えていただきました。

翌日、朝日新聞大阪版に「長崎の関大校友との縁で関大が市の物産展に協力」という大きな記事が掲載され、改めて「関大卒で良かった」という思いを強くいたしました。

大阪は第二の故郷、懐かしくもあり、青春の思い出の出の地でもあります。

現在、校友会代議員、長崎支部の幹事長を仰せつかっておりますが、関大にはこれまでお世話になるばかりで、恩返しが出来ておりません。今後は多少なりとも恩返しをしたいと思います。最後になりましたが、関西大学の今後ますますのご発展をお祈りいたします。

（長崎市役所理財部次長）

感謝還暦わが青春

馬渕　純一（昭48学二法）



（後列右から2人目が筆者）

天六学舎の門をくぐったのは今から約40年前。ダブダブの学生服を着た先輩に誘われ喫茶店に。言葉巧みに勧誘され、気がつけば二部応援団に入っていた。ところが、日が経つにつれ「何と理不尽なクラブであるか」と何度思ったことか。新入生が団室に来なくなったのも全員の責任とばかり、上級生から口頭ではなく、カラダでご指導を受けることもしばしば。不思議だが、それでもやめようと思ったことは一度もなかった。

一番思い出深いのは夏の合宿だろう。早朝よりたたき起こされ、団旗担いで走らされ、一日中体力強化の基礎練習ばかり。「残り腕立てあと10回」の幹部の声にほっとしたが、こんな時に限ってへばる奴が必ずいる。そうすると「あと20回」の声。増えてるやないか。これも連帯責任らしい。自分はまだまだ平気であったが、上級生にはもう駄目だと言わんばかりの表情を作ったけれど、結局30分ずっと腕立て伏せばかり。さすがに参った。

勤務の事情もあって、卒業して15年くらいたってからOB会や校友会の行事に参加するようになった。ある時の校友総会で、建築家の安藤忠雄氏の講演を聞く機会があった。その時、氏は「青春とは、夢を持ち続けることである」と熱く語られたのが記憶にある。当時、「自分の夢とは」と自問してみたが見つからない。一昨年会社を辞め、多くのOBの方々のアドバイス、ご協力を得て、最近小さな会社を立ち上げることができた。ひょっ



年男・年女 学生時代を語る

としてこれが自分の夢だったのかも。多くの方に感謝するとともに、関大に入ってよかった、応援団を卒業してよかったという思いを、母校に少しでも何らかの形で恩返しができればと思う今日この頃である。

（平成ビジネス代表取締役）

特別講堂裏の青春



道前　博（昭49学文）

和算では「三分の二」を太半と表すそうですが、私は幸せにも母校・関西大学と人生の太半を共に過ごすことができました。

現在は、入学試験を担当する部局で働かせていただいております。その関係から、紙面をお借りして校友の皆さまに一言お礼を申し上げたいことがあります。

志願者数の多さは、大学の人気のバロメーターと言われていますが、本学は全国に765校ある大学の中で第3位から第5位を維持しています。卒業生の皆様方の社会でのご活躍が本学への好感度となり、この結果をもたらしているものです。深く感謝申し上げます。

さて、今回、校友会事務局の慫慂により、はるか40年昔の学生時代を振り返り、拙文を書かせていただくことになりましたが、「限りなく遠くも来にけるかな」の思いが胸を満たします。

私は、70年安保の年に入学しましたので、69年の東大安田講堂の攻防に象徴される学園紛争の盛期を学生として過ごしたことになります。71年には、過激派同士の内ゲバで尊い命が第1学舎の前庭で失われました。授業は休講が多く、ロックアウトで構内に入れないこともありました。

そんな情勢の中、私は美術部に籍を置き、特別講堂の裏で展覧会へ出展する絵を描く毎日が続きました。「青春の夏は金色に輝く帆を揚げてやってくる」と言いますが、バーント・アンバーやウルトラマリン・ディープといった暗色の油絵具を使った陰鬱な抽象画ばかりでした。それでも今、学生時代を振り返る時、必ず思い浮かぶイメージは、正門の銀杏並木の坂道を上がりきった辺り、夏の日盛りの陽を浴びて銀色に輝くアスファルトの道を誠之館へ向かって歩く、青春真っ只中の自分の姿です。

（関西大学入試事務局長）

1962年（昭和37年）生まれ
小さく芽生えた関大がいま大きく育って…



石田　信也（昭60学工）

建築に携わり、ほぼ30年の時間が経とうとしています。思えば、入学当時の私は、まさか「この道30年」を想像はできませんでした。強い意志があって、建築学科を志したわけでは、無かったからです。なんとなく、関大、建築。自分の中での、イメージが良かっただけなのです。往復4時間余りの通学は、たいへんでしたが、それも、慣れ。4年間、たぶん、一生で一番の自由時間を過ごしたように思います。

ただ、大学で出会った建築は、学べば学ぶほどに、興味と奥深さを感じました。とにかく、建築は芸術的であり、工学的であり、文学的である。特に、私は建築史に興味を持ち、寺社仏閣、歴史的な建物をよく見て回りました。奈良の明日香近郊で生まれ育ったので、有名なお寺や遺跡が身近にたくさんありました。卒業後も、時間をみつけては出かけております。国内だけでなく、国外も。就職後に数カ月間休職し、建物を見るためにヨーロッパを旅したこともありました。

今は、設計事務所を自営しておりますが、関大との出会いが、大部分の今をつくっているといえます。学生時代の友人と今も友好を暖め、仕事においても協力し合い、大学で学んだ事を職業としております。また、最近は、関大卒の人との出会いも多く、TVで関西大学の名前を聞くことも増えているような気がします。

いま、この機に振り返ってみれば、自分の中で小さく芽生えた関大が、いつの間にか大きく育っていることを感じずにはおれません。関大の魂は百まで、といった感じでしょうか。建築設計業界は、今、厳冬ですが、近年の関大生の活躍をみて、さらなる自身の励みとしたいと思います。

（一級建築士事務所ADE代表）

「人の親和」は、いや堅し

石田　成年（昭61学文）

昭和53年の春、一高への入学が関大とのご縁の始まりです。一高ではワンダーフォーゲル部に所属し、近郊の手頃な山へのハイキング、長距離歩行、オリエンテーリング大会出場等、クラブ活動に明け暮れた3年間でした。そのため3年の後半になっても大学で何を学ぶかイメージできずにいたのですが「これからの日本の考古学をリードするのは関大ですよ」との社会科教諭の一言で私の道は決まりました。私が育った大阪府柏原市は埋蔵文化財の宝庫です。小学生の頃から大和川の河川敷で土器を拾うなどしており、考古学という学問の存在は知るところで、少なからず興味も持っていました。

昭和56年の入学後すぐに所属した考古学研究室では多くの調査で鍛えていただきました。明日香村での調査となると、植田記念館で院生から学部生まで寝食を共にしての合宿です。日中の現場作業のみならず、宿舎に戻ってからはミーティングや図面の整理等々の作業があり、時



（左端が筆者）

にそれが深夜未明まで及ぶことも珍しくありません。しかし、作業の合間に網干善教先生や先輩方が学問の本質や、それに対する心構えを説いて下さる時間は非常に貴重なものでした。そのような深い愛情を注がれたにも関わらず何ら学績を上げていない私ですが、その時々、何を研究の対象としているのか網干先生は気にかけてくださっていたと伝聞し、師とは有り難いものとただ感謝するのみです。

昨年5月までの8年間、柏原支部の事務局を仰せつかり、現在は平成20年4月に結成した河内若手会の事務局を担当しています。「ご苦労なこと」と労いの言葉をよくかけていただきますが、これは関大という大きな傘に守られ、また育てられたことに対するご恩返しの気持ちによるものです。学歌の一節にある「人の親和」を体現できる機会に、今なお恵まれていることを日々慶んでいます。

（文化財技師・学芸員）

臨床心理学の礎を学んだ関大

小海　宏之（平19M社）

私は、昭和57年に社会学部に入学しました。学生時代は、京の風情会でのサークル活動とアルバイトに明け暮れし、学生時代に購入したバイオレットが、趣味である車の1台目でした。当時は、この車でスキーに行ったり、ドライブに行ったりが楽しみで、いい思い出となっています。



また、高橋雅春先生（現名誉教授）のゼミを昭和61年に卒業後は、大阪の藍野病院で臨床心理士として臨床業務および臨床研究を積み重ねてきました。その後、平成17年に大学院に社会人入学し、寺嶋繁典先生（現臨床心理専門職大学院教授）のゼミを平成19年に修了しました。そして、平成21年3月に23年間勤めた病院を退職し、4月から現職に着任したばかりです。

決して優秀ではなかったこんな私の、礎を培っていただいたのは、まさに関西大学・大学院で諸先生方から賜った教育のおかげと心から感謝しております。今後は臨床心理専門職を志す後進の教育に専念していく所存ですので、今後とも諸先輩方からご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

さらに、校友会組織として「関西大学臨床心理士会」が平成19年に発足し、21年4月現在156人の会員がおり、各界において活躍されております。臨床心理専門職としてご活躍の卒業生で、未入会の方がおられましたら、是非、これを機会にご入会いただければ幸いです。なお、校友会ホームページの下部に本会のホームページがございますので、入会案内や会則などは、そちらをご参照ください。

http://www2.kandai-koyukai.com/al/kucp/

（花園大学准教授）

ヨット部、そして関西大学に感謝

田中　満（昭60学文）



今でも「不思議だ」と思うことがあります。「何故、卒業できたのか?」。一高で冒険家の堀江謙一先輩に憧れ、ヨット部に入部。昭和57年に入学し、ヨット部活動に終始した学生生活。年間200日以上の練習、その内合宿は150日。5時30分に起き、消灯10時の合宿生活を。一日の海上練習は約8時間。家族と過ごした時間よりも、千里山キャンパスに通った時間よりも、海でヨット部の仲間と過ごした時間の方が遥かに長かった。

雪が降る中でも海の上にいました。手の甲がひび割れし、「お兄ちゃん苦労してるんや」と、見知らぬ方に言われたことも。季節を問わず色黒のため「どこの国の方ですか?」と本気で尋ねられたこともしばしば。こんな学生生活を過ごしたのに、全く不思議であります。

風よりも速く帆走するヨットに魅せられ、自然の偉大さに感動し、良き仲間に出会い、仲間と共に勝利を喜び、厳しい合宿生活をしたことは、その後の人生の歩みに自信を持つ貴重な経験となりました。今、改めて関大ヨット部の一員であったことを誇りに思い、貴重な経験を与えてくださった「関西大学」に感謝しております。

近年の「強い関大」、「関西大学から世界へ」の方針のもと、体育会各部の活躍を大いに喜んでおります。特に関大アメフト「カイザース」の躍進は見事であり、応援スタンドで校友の方々と共に学歌を高らかに歌い、勝利を共に喜ぶことができることに、関西大学校友として大きな幸せを感じております。「カイザース」の皆様に、我々に「勇気と感動」をありがとうと言いたい。

現在は、75年の歴史あるヨット部の監督を拝命する立場にあります。母校の発展のための一枝として、大樹の成長に少しでも役立てばと思い、後輩達を指導する日々です。

（会社取締役）

全ては関大で!

前川　清成（昭60学法）



1981年に、関大一高から法学部へ進学しました。司法試験の合格率が2パーセントで、平均合格年齢が28歳と知って、「僕には無理かな。勉強しても無駄かな」と躊躇しました。

ところが、2年生の時、大好きだった母がガンで亡くなりました。母が42歳、私が19歳の時でした。私は「若くして亡くなった母の分までがんばろう」と決心し、司法試験に挑戦することにしました。その後5年間、毎日、最低でも10時間は机に向かい続けました。幸い2回目の



年男・年女 学生時代を語る

「年男」の年に合格することができました。

2年間の司法修習を経て、弁護士となり、その翌年、関大で知り合った妻と結婚しました。今では長女が高2、長男は中2です。

2003年の暮、千里山法律学会の後輩である吉川政重・奈良県会議員（現衆議院議員）から「来年夏の参議院選挙に出てみないか」と誘ってもらいました。私は、それまでの弁護士としての15年間、特に消費者事件に取り組んできました。その経験を通じて、サラ金に高金利を認めていた、当時の出資法という法律は間違っていると思っていました。ですから、私は「普通に暮らしている人たちを守るための法律をつくりたい」と、参議院選挙に立候補する決心をしました。

6年前の選挙は、現職自民党候補との事実上の一騎打ちでした。自民党候補は東大卒の弁護士でした。彼は選挙公報に太いゴシック文字で「東大卒・弁護士」と書きました。結果は、関大卒・弁護士の私が7万票差の大差で勝ちました。

私は弁護士の仕事も、妻も、選挙の勝利も、全て関大から与えられました。

来春、長女は大学入試です。長女も関大へ進学して欲しいと願っています。

（参議院議員＝奈良県選挙区）

1974年（昭和49年）生まれ

部活一筋だった高校大学7年間

森田　弘之（平9学社会）



（右から3人目が筆者）

関大一高に入学した私は、当然のように硬式野球部に入部しました。中学時代は万年補欠の私が、前年夏の大阪府予選でベスト8の一高野球部に入るのは無謀でしたが、「甲子園」を目標に諦めずに続けてみようと思っての決断でした。幸いにもレギュラーとして試合に出させていただく事ができましたが、尾崎光宏監督からは「お前らは史上最低のチームだ！」と言われる始末。実際、その名に恥じぬ（？）戦績を残していました。チームは弱かったですが、練習はキツかった…。

そんな厳しい練習を共に最後まで耐え抜いた同期が9人いました。喜怒哀楽、全てを分かち合った仲間です。彼らとは今も定期的に集まる関係です。仕事や家族、メタボと話題はすっかりオヤジになってしまいましたが…。この同期との絆は大切にしていきたいです。

大学でも体育会野球部に入部。3年次にはベンチ外からですがリーグ優勝、全国大会を経験させていただき、また、関西学生野球連盟では学生委員長としてリーグ運営に携わる等、貴重な大学生活を送ることができました。

しかし、大学球界をリードしてきた我が野球部もあの時を最後に優勝から遠ざかり、昨秋はリーグ戦出場辞退と言う厳しい状況に…。来シーズン、野球部は新体制で生まれ変わります。一OBとして、野球部の未来を信じ、今まで以上に応援をしていかなければなりません。校友の皆様も、新生関大野球部へのご声援をどうかよろしくお願いします。

野球センスは全くないにもかかわらず、野球漬けだったこの7年間。『関大一』、『KWANSAI』と『関西大学』の看板を背負っていただけに、母校に対する愛着は人一倍強いつもりです。今後は自らの礎を築いてくれた関大へ恩返しをしながら、母校の更なる飛躍を祈って参ります。

（会社員）

周り道をして見える景色、着く場所も

吉田　憲生（平9学二法）



卒業してすでに10年以上が過ぎたようです。法学部に入学し、漠然と将来は法律を生業にと考えていた私は、クラブ活動も自然と「法律研究部」に入部していました。堅苦しいイメージで勉強漬けになるかと思いきや、そのような気配すら感じず良くしていただける先輩方のお陰で、自由な時間を謳歌いたしました。

3年次には部長を務めさせていただきましたが、自由を謳歌しすぎた反省に様ざまな企画をしました。裁判の傍聴、刑務所の見学、宅建主任者資格講座、討論会、学園祭の焼きそばから焼き鳥への変更等々、そうしている内に学生生活はすぐに終わってしまいました。

資格試験をめざしていた私は、就職活動もまともにしていなかったため、結局、何者にもなれませんでした。卒業して間もなく、たまたま受けた行政書士試験に合格し、開業してみたものの収入はごく僅か。学生時代にしていた学校夜間警備のアルバイトをそのまま続けて、何とか収入を得ていました。

しかし、その学校の先生にご贔屓にしていただき、教室相談員（スクール・カウンセラーの前身）や学童保育指導員などへの道が開けました。ここで様ざまな人たちと接し、多様な話に対応する術が身についたように思います。その後は行政書士の仕事も軌道に乗り、現在に至っております。

近年、就職難の時期になっているようですが、何も焦る必要はないと思います。それより、学生時代は大いに遊び、それなりに学んでいただきたい。私は卒業後、ずいぶん周り道をしましたが、周り道をしなければ見えない景色もありますし、辿り着かない場所もあると思います。関大生の皆さんには、学生生活で、ぜひこのような景色を楽しめるような豊かな人間性を養っていただきたいと願っています。

（行政書士）

北から南から〈各地支部だより〉

新会長に藤井宏紀氏選出 再生25周年記念総会開く



21年度の**山口千里会**（小野善正会長）総会は、8月29日JR新山口駅前の山口グランドホテルに、増地英一常務理事、寺内俊太郎校友会長、近隣支部代表らを迎え、650余人が出席して開催された。

今回は、再生25周年記念「感謝の夕べ」と題して、フリーアナウンサーの周南支部北川加寿美校友（平2文）の司会のもとに、山口県光市出身の歌手・あさみちゆきさんをお招きして和やかに懇親会を開催した。

総会は、藤井宏紀副会長の開会の辞、元応援団長の岩国支部松本直樹校友のもとでの学歌斉唱、物故者への黙祷の後、小野会長から支部再生から25年目を迎えることが出来たことへの感謝の気持ちが述べられた。

寺内校友会長の挨拶に続いて議事に入り、事業報告、会計報告が満場一致で承認された。また本年度は役員の改選期にあたり、新会長は藤井宏紀氏とするなど執行部案が全員異議なく承認された。最後に北乗副会長の閉会の辞をもって総会はすべて終了した。

場所を移して懇親会に入り、新役員を代表して藤井会長の就任挨拶、白木成光福岡千里会会長の発声で乾杯の後、会食へと移り、遅れて到着された増地常務理事のご挨拶、近隣支部代表からお祝いの言葉をいただいた。

食事も一段落のあと、メインイベントである「あさみちゆき」のライブショーに入り、8年間にわたり吉祥寺のストリートライブで鍛えた喉を披露していただいた。

終了後、近隣支部から持参していただいたお土産をくじびきで配り、最後に東郷洋校友会事務局長による万歳三唱で懇親会を締めくくった。

（会長　藤井宏紀）
（北乗吉道＝08396—86—2626）

30周年記念総会に絶大な協力を 杉岡支部長が総会で要請

11月8日、**生駒支部**（杉岡昌彦支部長）では21年度総会を、地元のメルヘンで開催した。

寺内校友会長、狭間香代子教授らを来賓として迎え、近隣7支部から友情参加があり、心温まる祝辞をいただいた。

今回は、若い女性会員と男性会員3人の初参加があり、総勢30人の参加を得たことにより例年より数段フレッシュな雰囲気を得ることができた。

1部の総会では、事業報告と決算報告があり、生駒支部は、22年11月が設立30周年に当たることから、杉岡支部長から「新規会員の増強を図り盛大に記念総会を開催し、成功させたいので会員の最大限の協力を得たい」と熱っぽい協力要請があった。



2部の懇親会では、有村京子市議会義員から「生駒市政の動向」と題して講演があり、後半では福引抽選会が行われ、約3時間に及んだ支部総会は、逍遙歌の合唱で終わりを告げ、来年の30周年の記念総会を成功させようという、熱い思いを込めて終了した。

（西野四郎）
（杉岡昌彦＝07433—78—0030）

淡路島津名港で 秋季釣り大会

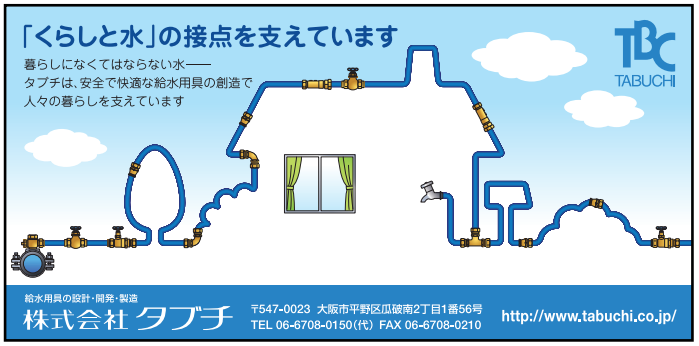
川西支部の釣り同好会（滝岡俊一会長）では、第14回秋季釣り大会を、淡路島津名港において参加者11人で開催した。

6時半競技を開始。餌喰いが悪くアタリのない時間が流れ、午後2時競技終了納竿。

釣果を持ち寄り較べたところ、



YKK AP株式会社　事業本部　関西ビル建材統括支店　大阪第一支店
〒540-8534　大阪市中央区谷町4-8-7
TEL：06-6947-4141　http://www.ykkap.co.jp/
YKK ap



給水用具の設計・開発・製造
株式会社タブチ　〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210　http://www.tabuchi.co.jp/



荒木さんのグレ、岸本さんの小鯛、森藤さんのサンバソウ、滝岡さんのサンバソウが拮抗するも、僅差で滝岡さんが「長寸大」となり優勝。3度目の優勝となった。

今大会優勝者滝岡俊一さんへの支部長杯授与式と次回大会のミーティングを、11月5日に川西能勢口の「すし半さと」で12人が出席して開催され、浅野新支部長寄贈の支部長杯が支部長から滝岡さんへ渡された。

（釣り同好会副会長　山内眞一郎）
（あさの文具＝072―759―3785）

紅葉の北野線界隈を歩く
北野天満宮から広隆寺まで

川西支部歩こう会（湯川捷彦会長・会員66人）の第8回秋の大会が11月14日、紅葉の映える京都嵐電北野線界隈の北野天満宮から平野神社・世界遺産の金閣寺・龍安寺・仁和寺と妙心寺



そして広隆寺まで約8キロのコースを歩いて回った。奥様同伴の会員もいて25人が集まった。

学問の神様の北野天満宮と平野神社を歩く。当日は七五三の日と重なりきれいに着飾った親子が目立った。予約していたファミレスで少し早い昼食を食べ、気の早い会員はビールで勢いを付けて世界遺産の金閣寺に向かった。その後、龍安寺から仁和寺、妙心寺をまわり、最後に聖徳太子を祀っている広隆寺で弥勒菩薩を見る前に会長から、無事に全員が完歩出来た事のお礼があり、次回の再会を期待して各自家路に着いた。

（副支部長　岸本文彦）

全役員の留任を決定
恒例の応援団出演も

11月7日、**箕面支部**（高田明支部長）総会が、箕面観光ホテル



で開催された。同ホテルは社長が校友（石川順一氏＝昭53学社）であることから格別の厚遇を受け、毎年支部総会の定会場となっている。

第1部総会は、応援団の指揮とブラスバンドの演奏で学歌斉唱から始まった。3年に一度の役員改選では、全役員の留任が了承された他、全議案が即決了承された。

第2部懇親会は、隣の宴会場に移動して行われたが、恒例の大福引き大会に100人の参加者も大いに盛り上がった。

また、箕面支部総会のもう一つの特徴は、毎年現役応援団の出演があるということ。会場に響き渡る太鼓やブラスバンドにあわせた演舞に感動し、最後は全員肩を組んでの逍遙歌で、暫し青春時代を回顧して総会を終えた。今次総会は、インフルエンザのために学外活動が禁止され、直前まで応援団の出演が危ぶまれたが、何とか実現できたことは大変喜ばしく思っている。

（広報部長　太田克己）
（日産チェリー箕面販売気付＝072―722―5581）

校友の副議長が市議会報告
ギター演奏や福引を楽しむ

10月25日、21年度**枚方支部**（阿部進支部長）の定時総会が、ひらかた仙亭に本部から寺内会長はじめ近隣支部役員、祢宜枚方市役所秀麗会長、濱口関学同窓会枚方支部長らに出席いただき、50人の参加者を得て開催された。

1部総会では、阿部支部長・寺内校友会長の挨拶に続いて、会務報告・会計報告・監査報告を行い、議事を終了した。

記念写真撮影を行い、2部の懇親会に。西田枚方市議会副議長（昭63M工）の議会報告に続





き、上野収氏（昭54法）他3人によるクラシックギターの二重奏や三重奏を聞かせていただき、朝倉顧問（校友会監事・法人評議員）による乾杯の発声により食事に入った。

赤井副幹事長のマジックを観た後、恒例の空くじなしの福引大抽選会が行われた。

今回は、当支部に多くおられる若手や女性校友が、少しでも参加しやすいように願って日曜日のお昼に開催したが、結果は今ひとつであった。（阿部　進）（阿部進＝072―805―0005）

落語の二升五合春夏冬亭 2月21日（日）に開催



豊能支部（石山博康支部長）が、まちに貢献できる企画として取り組んでいる落語の「二升五合春夏冬亭（ますますはんじょうあきないてい）」の第4回公演が、2月21日（日）の正午から「かめたに本店」で開催される。

この会は、地元に笑いを届けたいと、豊能支部会員の落語大学OB・夢つぼみが企画、関大亭笑鬼と千里家やん愚を演者に開催しているもので、「落語で笑って、美味しいお弁当食べて、体も心も健康に！」と、近隣からも多くの参加をと呼びかけている。参加は予約制で弁当代1000円が必要。

詳細は、担当・堀登志子（電話090―4307―2567）まで。

恒例のみかん狩り開催 和気藹々と親交深める



11月15日、**河内長野支部**（上奥雅勇支部長）主催で、恒例のみかん狩りを開催した。八尾支部と東大阪支部からの参加を含め、校友とその家族33人が参加した。

上奥みかん園で晴天の下、スタートは少し寒さが感じられたが、すき鍋を囲み酒を酌み交し、和気あいあいと親交を深め、最後に参加者全員で肩を組み逍遙歌を歌いお開きとなった。（榎本正人）（上奥雅勇＝0721―63―3457）

「新型インフルの対処法」聞く 平野区長は防犯モデル区を説明

11月14日、**平野支部**（田中義信支部長）総会が、寺田町フェイセスゲストハウスで開催された。来賓の応援団OB長柄会・馬渕純一幹事長指揮による学歌斉唱後の総会は、役員改選がないため事業・会計報告中心に議事が進行した。

第2部は、箔本起也事業部長による講演会で、テーマは「新型インフルエンザの対処法」。タイムリーで誰一人無関係でいられないテーマであり、聴衆の表情は真剣そのもの。第3部では、寺内校友会長から学の実化をテーマにした祝辞を、小坂道一体育OB会長よりスポーツ推薦復活後の大躍進に関するお話を、また、雪本修平野区長から平野区の防犯モデル区に関する挨拶をいただいた。

辻佐一郎大阪市内支部連合会長の発声で歓談タイムがスタート。今年も現役のチアリーダー・CLAIRSの皆さんには若さ弾ける素敵な演舞を披露いただき、オークションの手伝いもいただいた。また、今年は羽藤みどり幹事に加え、初参加の西上亞子校友にも協力いただいた。



大阪市の一つの区に過ぎない当支部のために、36人もの来賓の方々が積極的に参加いただき、同時に多くの会員たちが協力して総会を執り行うことができたことを、ちょっぴり誇らしく思うのだった。（長野隆哉）（田中義信法律事務所気付＝06―6316―0348）

平成卒の2人が新鮮な風 役員の一部変更を承認

生野支部（山本景造支部長）21年度総会を、11月6日にフェイセス・ゲストハウスで開催した。

学歌斉唱で始まった総会は、山本支部長挨拶のあと議事に入

良縁お世話致します
婚活（結婚活動）は、早ければ早いほど有利です！
関大生割引あり　一度お電話ください。
ブライダル ナカノ
TEL 06-6702-8624
携帯 090-5049-6064
●関西大学卒業生（商87）中野友美子
MCSA 経済産業大臣認定個人情報保護団体 結婚相談業サポート協会会員
Bridal NAKANO

真空熱処理 イオン窒化処理 およびワイヤー放電加工
JSA QMS.EMS ISO 9001:2000 ISO 14001:2004 JSAQ1927,JSAE1400
JAB QMS.EMS Accreditations R001,RE005
HATTA KOGYO
堺技衆 認証No.0071
八田工業株式会社
取締役社長　隅谷　哲三　（昭39学工金卒）
本社　〒599-8265 堺市中区八田西町2丁18番40号
TEL(072)277-7227　FAX(072)277-8960

り、全議案が承認された。支部長に一任されていた役員に一部変更があり、支部長代行兼会計に西田嘉男君（前幹事長）、幹事長に藤澤繁凱君（前副幹事長）が就任した旨報告された。寺内俊太郎校友会長、辻佐一郎大阪市内支部連合会長の祝辞があり、1部総会を終了した。

会場を移しての懇親会は近隣の支部長多数の出席を得て終始和やかに進められた。

参加者の高齢化が進むなか、今年は平成6年卒業の千葉泰行君と西田啓夫君が新鮮な風を吹き込んでくれた。

（幹事長　藤澤繁凱・41年卒）

（山本景造＝06―6751―6456）

立命大・神戸大の社労士会から来賓 80余人参加し10周年記念総会開催

10月21日、ラマダホテルで**社会保険労務士関大会**（大門博会長）の10周年記念総会が開催された。

社労士関大会は、平成11年春に関大OBの社労士30有余の有志が結集して職域会として校友会に登録され、藤井昭三会員を初代会長として、研修会、親睦旅行、忘年会等多彩な行事を開催してきた。会員も毎年確実に増加し、東京から中国・九州地区まで現在150人を超える大世帯へと発展してきた。

今回、創立10周年事業として会員と来賓合わせて80有余人の出席のもとに、記念総会が盛大に開催された。総会は、第1部として大門会長の挨拶の後、河田悌一前学長による記念講演を拝聴した。第2部の記念式典には、上原洋允理事長はじめ大阪府社労士会会長大西健造先生、校友会古川好男副会長の祝辞を頂戴した。その他、関大法曹会はじめ各士業の代表、大阪社労士立命会、凌霜社労士会（神戸大学）の代表者など多数の来賓をお迎えした。



第2部の祝賀懇親会は、大阪社労士立命会仲宗根信成会長の発声による乾杯で和やかにスタートし、途中応援団とチアガールが駆けつけてくれ、壇上での演舞で一気に最高潮を迎えた。

（広報委員長　牧江重徳）

（永盛労務事務所＝06―6761―4864）

源泉所得税をめぐり研修 懇親会には上原理事長も

11月16日に**会計人会**（宮崎一也会長）は、多数の来賓と会員を迎えて、研修会・総会・懇親会を太閤園で盛大に開催した。

定時総会に先立ち、研修部主催による第10回認定研修会が2時間、約50人の参加者を得てオーキッドテラスで開催された。

今回の研修テーマは「源泉所得税をめぐる諸問題」であり、講師は本会副会長である中村成明先生に講演をお願いしての研修会となった。中村先生は、国税内部や企業サイド、また税理士の業務での豊富な経験があり、留意すべき事項について多数の事例を交えて、研修していただいた。

定時総会には、寺内校友会長はじめ8人の来賓、5人の参与もお迎えした。司会の田中幹事による開会挨拶の後に、物故者への黙祷、学歌斉唱、宮崎会長の挨拶があり、代田副会長を議長としての議事に移り、全議案が無事に承認された。



議事終了後、式次第にはなかったが、本会へ多大な貢献をされた中村良介前会長への感謝状の贈呈が行われた。ご自身にも知らされていなかったため中村前会長は戸惑いながらも、感慨無量で謝辞を述べられた。

その後、参加者全員で記念撮影、エメラルドホールに場所を移して懇親会を開催。宮崎会長の開宴の挨拶で懇親会は和やかにスタートした。

来賓を代表して上原理事長と廣瀬副学長から祝辞をいただいた後、畑下参与の発声による乾杯でムードは一層華やぎ、懇親の輪は広がっていった。

（副幹事長　長谷川孝夫）

（宮崎一也税理士事務所気付＝06―6945―3855）

50回記念総会に向け一致団結を 22年11月27日（土）に開催

11月13日、大阪キャッスルホテルで第49回**司法書士関大会**（塩田貴美代会長）総会及び懇親会が開催された。寺内校友会長、六士の若手勉強会・関士会から法曹会、公認会計士関大会、会計人会、社会保険労務士関大会、さらに友好団体として応援団OB長柄会、女子秀麗



ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、
「作業品質＆マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの
信頼に応えます。

株式会社　大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁 目4-5　Tel 06(6941)3306　E-Mail info@obsf.co.jp

OBS facilities since1973

ISO-9001　ISO-14001　OHSAS-18001

Clean Cordial Creative Convenience



会、スポーツマンクラブからも参加いただき、総勢58人が参加した。

総会では、塩田会長が「この春に行方正行名誉会長が、秋には岩見壽子先輩が黄綬褒章を受章。5年の間に植田喜一相談役と上野義治副会長を含め4人の方が黄綬褒章を受章された。私たち後輩も諸先輩方を見習い精進していかなければならない。来年の記念すべき50回総会に向けて一致団結していきたい」と抱負を述べた。

来賓を代表して寺内校友会長と宮崎一也会計人会会長から祝辞をいただき、宮崎氏は、「スポーツに比べて資格試験の合格者が横ばいの状態なので、多くの合格者を輩出して関士会に多くの会員を参加させたい」と述べられた。

祝辞の後、提出議案の審議が行われ、全てが異議なく原案通り承認された。特に、去年8月1日に当会ホームページを開設し、研修会等の連絡事項については随時アップしていきたい。また、22年度の司法書士試験合格祝賀会を7月14日（水）、第50回記念総会を11月27日（土）に開催する旨の報告があった。

東郷事務局長の発声で乾杯し、和やかな懇親の場に移行。恒例の抽選会が開かれ、参加者が次々と福袋を手にし歓談のあと、磯崎泰博副会長の閉会の辞でお開きとなった。

（幹事長　辻井宏之）

（塩田司法書士事務所＝06―6943―1724・FAX06―6943―7367）

大阪冶金興業三木工場を見学
昼食・懇親会は三田屋本店で

経済人クラブ（西村太一会長）の第185回特別例会が11月18日に開催された。今回は、大阪冶金興業（寺内俊太郎社長）三木工場を見学させていただいた。出席者は畑下辰典名誉顧問を来賓に迎え、若手会も含めて総勢21人。

常務取締役の北垣壽、西田博両氏のあたたかい迎えを受け、2時間半にわたって、会社概況、経営理念、工場内の設備、製品の説明をいただいた。特に、経営理念では人間尊重の経営を創業以来貫いておられ、また社員一人一人の自己革新が徹底されており、寺内社長の人柄がよく表れていることに感心した。



昼食・懇親会は、三田屋本店・やすらぎの郷で開催され、稲田昌三副会長の挨拶、畑下名誉顧問の乾杯の音頭で始まり、若手会との交流も含めて和やかな懇親会を開催することができた。

なお、経済人クラブではホームページ（http://ku-keizajin-club.jp）を開設いたしましたので、校友会の皆さまの参加を心からお待ちいたしています。

（代表幹事　田合邦臣）

（校友会気付＝06―6368―0041）

研究費確保などの事業を予定
産学官連携の年輪関大会発足

大阪中小企業投資育成の会員組織である年輪会の会員企業の中で関西大学の卒業生が代表取締役を務める企業が集り会員相互の親睦、発展そして母校関西大学の発展に寄与することを目的として**年輪関大会**を発足した。

大阪年輪会の会員数は西日本で875社（内上場企業61社）、その内近畿圏の関大卒業生が経営している企業は現時点で判明しているのは32社である。

年商3億のベンチャーから800億と規模及び業種はバラバラであるが、それぞれの企業がその分野で特色を持った企業が多く、研究対象の実用化や特許取得に直結し、研究費の確保そして大学の魅力、競争力に繋げるために各種の事業を行う予定である。

第1回目の大学との打合せを平成22年2月5日（金）午後6時に予定している。

なお、役員は次の通り。

顧問・寺内俊太郎（46院工）、会長・朝倉満（36学商）、副会長・栗原照次郎（35学商）、オブザーバー・一軸浩幸（33学法）

（朝倉　満）

（アサクラ・朝倉満＝06―6354―8900）

母校の躍進に誇りと自覚
元気そのものの出席者

関大一九会（土橋修会長）は、11月5日にANAクラウンプラザ大阪・たん熊北店で21年度総会を開催した。

昭和19年9月に専門部一部商科を繰り上げ卒業してから今年は65年目、関大一九会が、昭和

お母さまへ
主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。
高槻の隣り町
島本町
TEL.075-961-7405
吉川　味与子
（関西大学卒業生の妻）

空腹時血糖値267が 3ヶ月で114に！ ヘモグロビンA1C値は 10.2が6.0に！
糖尿病!!
現在のお薬、食事・運動療法でヘモグロビンA1C値が下がらない方は、食後の血糖値が、通常より高くなり過ぎている可能性があります。
2つの特許自然成分（燕子掌エキス・桑葉末）のダブルパワーで
食後血糖の上昇を抑える
チカラを取り戻しましょう！
燕子掌エキス＋桑葉末
燕子掌
えんししょう
燕子掌／特許第2535674号
桑葉末／特許第3437542号
日本製 1瓶（180粒入）18,900円（税込・送料無料）
資料・データのご請求は ヘルスケア研究所
0120(090)358 糖尿110番 検索

52年に発足して33年目に当る。会員はすでに85歳前後という高齢で、出席者は昨年に続き5人とささやかな総会になった。

学歌斉唱、物故者への黙祷に次いで、遠藤渉当番幹事から会員の近況と収支について報告があり、同幹事の発声で乾杯、懇親会に移った。



なお、関大一九会の会員は、現在26人だが、これからも遠藤当番幹事を煩わして、毎年会員名簿を作成、全員に送付し相互の絆を強めることを申し合わせた。（中川三郎）

（遠藤渉＝0595―65―0630）

卒業60周年記念総会へ始動 拡大世話人役員会開く

第一新生会（篠原昭三会長）では、昭和25年3月に新制大学の第一期生として卒業し、平成12年には卒業50周年記念総会を開催して、爾後の各年度卒業生への先駆的役割を果たしている。

この観点から、22年に迎える卒業60周年への取り組みに関して、7月31日に学部別世話人会を開きて基本構想を固めたが、11月18日には第1回拡大世話人会を校友・父母会館で開催。12人が参集し、討議を重ねた。

その結果、記念総会を22年5月17日（月）に大阪梅田・新阪急ホテルを会場に進めることを承認した。



また、2月23日に第2拡大世話人会を開き、開催通知状の発送に向けて、協議すること、世話人代表に篠原昭三、副代表に藤井昭三・辻佐一郎の各君のほか、世話人17人のスタッフで推進することとなった。（村岡葉子）

（篠原昭三＝0748―83―1221）

今年も恩師横田先生を囲む 歴史の真只中に育った会

学部二六年会（河合達朗会長）の21年度総会は、11月28日に肥後橋の「徐園」で開催。13人が出席して一年ぶりに旧交を温めた。

総会には、本部から田中義昭副会長ほか、恩師の横田健一先生が今年もご夫人と一緒に参席いただき、感謝の総会となった。

開会の辞で東浦副会長は「終戦の翌年に関大の門を叩き、講和条約締結の年卒業と戦後処理の真只中に在学という歴史の中に育った」と、実感を込めて語った。続いて河合会長は「本年は卒業58年を迎えるが、在学中は4学部で、現在は11学部と隔世の感がある」と、歴史の重みを語り感慨深い挨拶を述べた。



本部の田中副会長からは、「母校も来年には13学部となり、スポーツ・学術の両面で躍進の一途をたどっている」との近況が伝えられた。総会に上程の事業と決算の報告書を承認。一部総会の閉会を山本副会長が告げた。

記念撮影のあとは、懇親会に移り、学歌を詩吟により吟じる野崎副幹事長の名演技に暫し聞き惚れ、横田先生に乾杯の労をとっていただき、懇親の場が展開された。（東浦栄一）

（河合達朗＝06―6781―1717）

廣瀬副学長が講演 新会長に畑下辰典氏

学部二七年会（上林良一会長）の21年度総会は、11月6日に肥後橋の「徐園」で26人が出席して開催された。

総会には、寺内会長のほか、恩師の横田健一先生が、ご夫人と一緒に参加いただきいた。

総会は、岩見副会長の司会で開会。物故同期生への黙祷では9柱の御霊を追悼した。代表挨拶では、上林会長に代わり畑下副会長が「今年は卒業58年を迎えるが、お互い80歳の域を峠とせず、2年後の卒業60年をともに元気で祝いたい」と、激励のことばを述べた。

本部代表の寺内校友会長は、「この会に初出席し歴史の重みを感じる」と前置きして、校友会の近況を報告して、祝辞とされた。

総会に上程の事業と決算の報告書を承認。そのあと「任期満了による役員の改選」が上程され、上林会長



毎日 スタート&ダッシュ
あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。
お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ!
私たちは東洋紙業です。
印刷で人と時代をコミュニケートする
東洋紙業株式会社
大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111
www.toyo-s.co.jp

の辞意を受け新役員の人選が諮られた結果、顧問＝上林良一・羽間平安、会長＝畑下辰典、副会長＝岩見寿子・中野英満・宮道伊佐美、会計＝大前叡、会計幹事＝谷村一男、幹事＝19人の27人体制で臨むことに決した。

恒例の記念講演は、母校の教学の新陣容が整った時期を迎えて、廣瀬幹好副学長から「教学の新体制と今後の方針」と題して、副学長4部門機構の新設を始め、競争化時代の先頭にたつ熱意をご披露いただき、総会が意義深いものとなった。

懇親会に移り、全員からの「ひとことスピーチ」で、懇親を深めた。（宮道伊佐美）

（畑下公認会計士事務所＝06―6773―3871）

寺内会長、東郷局長迎える 次期2年の役員など決定

10月23日、十三のホテルプラザおおさかにて**二九千里会**（福崎剛会長）総会を、寺内校友会長、東郷事務局長を来賓に迎え、出席者31人で開催した。



事業報告・会計報告の後、2年の任期で役員改選があり、次の如く決定した。

会長＝福崎剛（商）、総務幹事＝水野富蔵（商）、会計幹事＝小沢勝之（商2）、ゴルフ幹事＝日高由雄（商）、旅行幹事＝坂田峰朗（商）、監事＝北本喜一（商）、寺裏長太郎（商）。

次期事業計画、会計予算案の発表、幹事会の組織は、臨時総会で承認する事に決めて終了した。

懇親会は、乙咩淑子（文）仕舞、平川勝士（法）安木節で賑やかに開催し、逍遙歌で締めくくった。（河合義雄）

（水野富蔵＝072―922―0864）

50年ぶりに母校を見学 上原氏の理事長就任を祝賀

11月14日、**三二会**（北村公宏会長）総会が、ホームカミングデーの趣向を取り入れキャンパス内施設見学会、総会、懇親会の3部構成で、加えて同期の上原洋允理事長就任祝いを兼ねて開催された。

先ず、三二会初のキャンパス内施設見学会では参加者が多く、名実共に世界に誇る総合大学に成熟発展した今日の姿に驚嘆し、50年振りの見学会に満足しているようだった。

校友・父母会館の校友会会議室で開催された総会には、来賓として上原理事長、寺内校友会長らのご出席を仰ぎ、格調高い挨拶をいただいた。上原理事長からは大学経営の厳しさが増す中、ここは踏ん張って質的向上を目指し、学歌に唱われている「学の実化」を履修した優秀な人材を世に送り出すべく引続き頑張る旨を熱く語っていただいた。また、寺内校友会長からは、母校愛の啓発活動の実例をあげ、母校発展に側面から粘り強く協力しようと提唱され、心のこもった話に出席者一同熱く胸を打たれた。

懇親会は、レストラン紫紺に場所を移して、短時間ながら久し振りに旧交を温める事ができた。今回、特にうれしかった事は、当時の女子卒業生6人の内、赤嶺、合田、寺下、萩原、山崎の5人に出席していただいたことである。互いに後期高齢者に突入している年代に拘らず揃った元気な姿に接し、私も元気をいただいた気がした。東京、千葉、中部、四国等遠方からの出席者もあり、地方における母校の評価も伺うことができ、有意義な一時を過す事ができた。（廣芝國夫）



（宇野稔＝06―6356―0109）

「小学校からやり直したい」ミュージアムキャンパス見学で

2年に1度の**一高同窓会**（田中義昭会長）事業見学会が、11月7日に行われた。今回は恩師の坂本悠貴雄名誉教授や2組のご夫婦で来られた先輩もおられ、36人の参加者であった。

朝9時半にJR高槻駅を出発し、まずは建設中の関西大学ミュージアムキャンパスに向い、竹中工務店の方の案内で構内の見学を行った。最新の建設技術が駆使されているキャンパスは、災害時には高槻市の避難場所にもなるそうで、非常用発電設備や浄水設備など、従来の大学にはありえないような、様々な最新設備が整っていた。参加者からは「もう一度小学校からやりなおしたいな」という声が上がっていた。



人生のパートナー
ご一緒に探しませんか。

関西大学女子秀麗会
結婚相談所 URARA

（関西大学女子秀麗会は、学部や年代を超えた女子校友だけの親睦の会です）

☆相談日と相談時間　毎月第1・第3土曜日　午後1時～4時
（但し、受付は午後3時30分まで。1月第1、8月第1・第3土曜日は休み）
☆場所　関西大学天六キャンパス
地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋6丁目」駅下車、⑤号出口徒歩約5分
☆申込資格と費用
●申込金　・女子秀麗会会員およびその子弟……20,000円
・校友会会員およびその子弟……30,000円
・校友会会員の責任ある紹介を受けた人……30,000円
●お見合いの際　1回につき5,000円（双方から、お茶代を含みます）
●婚約成立の際　30,000円（双方から）　●継続更新の際　5,000円（3年毎）

■お問い合わせ　〒534-0021　大阪市都島区都島本通1-2-22　仁井ひろみ方　TEL（06）6925-1821　FAX（06）6925-1823



その後、高槻キャンパス・アイスアリーナの見学を行った。リンクでは、地元のフィギュアスケートチームが練習中であった。中には将来が有望な女子が多く見受けられ、見事なジャンプに温かい拍手を贈ると笑顔で応えてくれていた。

昼食後は、先輩方期待のサントリー山崎工場見学。工場内はウイスキーの香りが漂い、貯蔵庫には何万というウイスキーが詰まった樽が並び積み上げられている。

半日で3個所を見学するという欲張ったスケジュールだったが、坂本先生始め参加者全員から「素晴らしい内容だった。また次回も参加したい」との言葉を伺いながら散会した。

（52期生・和田直亮）

（長　しづお＝06―6877―0480）

大谷啓二会長を再任
大抽選会で熱気最高に

10月17日、新阪急ホテルで第66回**応援団OB長柄会**（大谷啓二会長）総会・懇親会が、現役学生・OB・来賓など120人参加のもと開催された。

1部の総会では、事業報告・会計報告、現役の解団に伴う会則の改正、任期終了による役員改選等が行われ、大谷会長の再任、その他新役員が決定され、新体制のもと新たなスタートを切ることになった。

会場を移し、新OBとなった第64代横内俊裕君・原田姫美子さんの司会にて、懇親会が来賓の皆様とともに始まった。冒頭、新幹事長に就任した第28代馬渕純一先輩のリーダーによる学歌斉唱に続き、再任された大谷啓二会長の挨拶があり、その後、来賓の上原洋允理事長から今後の母校関西大学の進む方向についてお話いただいた。

次に、応援団の大先輩でもある森本靖一郎理事・相談役より、今の強い関西大学は、強い卒業生の結集であると力強く語っていただき、寺内俊太郎校友会長からは今後の校友会の構などを熱く語っていただいた。



なつかしの面々と思い出話にふけながら盛り上がりつつある中、チアリーディングサークル「クレアーズ」の元気いっぱいの演舞が始まった。毎年恒例となった朴木幸男副会長によるサックス・ソロ・ステージ。そして本格始動を始めたOBバンド（20人余り、メンバー募集中）による演奏と続き、大谷会長賞をはじめとする豪華商品を取り揃えた大抽選会へと会場の熱気は最高潮になった。

フィナーレは我らが関西大学逍遥歌、大江正則副会長の鮮やかなリーダーのもと名残を惜しみつつ、大熱唱のなか、幕を閉じた。（**事業部副部長　古川大介**）

（中村司法書士事務所・中村博＝06―6705―5678）

応援団OB千成会役員
楠見新学長を表敬訪問

11月30日、**応援団OB千成会**（田中義昭会長）の田中会長以下、中川經夫副会長、田中正

株式会社 エムロード Marriage Road®



結婚相談の（株）エムロード
大阪・神戸・京都、豊富な会員数と「成婚率の高さがキメテ!!」が大評判!!

「成婚率の高さがキメテ!!」が評判の（株）エムロード大阪・神戸・京都が大好評!!
お見合いパーティーはレギュラー開催をし、ご好評を得ています。〔ザ・リッツ・カールトン大阪/食事・飲物付き〕
「会社と家の往復で、出会いがない」。
「知人に頼むのもなんとなく気兼ねする…」。
そんな方に素敵な出逢いをサポート!!
一般・ドクター・再婚中高年など各コース充実。関西中心に自社会員のみで構成、専任アドバイザーによる親身なお世話が評判です。
★エムロードはここが違う!! ①質の高い会員制②専任アドバイザーによるマンツーマン制③コンピューターは一切使わず、お一人お一人丁寧にお世話させていただいております。④一流ホテルでのパーティーでの出逢い⑤期限なくまとまるまでお世話。⑥お見合い料・月会費無のリーズナブルな定額コース有。



エムロードは関西大学ご卒業の皆様のご結婚を応援致します。

結婚相談

大阪（JR大阪駅徒歩5分）毎日新聞ビル5F
神戸（神戸三宮そごう南隣）神戸国際会館19F
京都（京都産業会館西）オフィスワン四条烏丸6F

お問い合わせセンター　大阪・神戸・京都
よいふうふ　よろしく
0120-4122-46

本社：大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都市下京区室町通綾小路上る鶏鉾町480番地 オフィス-ワン四条烏丸6F

●営業時間／10:00～18:30●定休水曜

エムロード　検索
www.m-road.info
m-road.info

喜幹事長、近藤茂憲事務局長の役員が、楠見晴重新学長を表敬訪問した。

田中会長から『関西大学応援団史』（田中義昭著）や校友の刀匠・河内國平氏の著書4冊が楠見学長に贈呈された。

楠見学長は、就任以来、今回のアメリカンフットボール部をはじめとする各スポーツクラブの活躍が目立ってきており、喜ばしい事であり、時間の許す限り応援に行きたいと熱く話されていた。

また楠見学長が小・中・高校と西宮市出身で中川副会長が西宮支部の支部長ということもあり、出身母校の話や阪神大震災後の調査の話などが出て会話が大いに盛り上がった。

（事務局長　近藤茂憲）（田中正喜＝06―6499―1948）



奈良・法隆寺に34人参加 藤ノ木古墳なども見学

天六同友会（石井國男会長）の秋季親睦会、第12回目は10月25日、橿原考古学研究所副所長の泉森皎氏（昭39学文）の案内で奈良・斑鳩の里、藤ノ木古墳や世界遺産の法隆寺を訪ねた。

JR法隆寺駅に集合し、石井会長の挨拶の後、講師の泉森先生の案内でまず近くの吉田寺（きちでんじ）へと歩く。この寺は「ぽっくり往生」の寺としても有名。境内で本堂や多宝塔の詳しい説明を聴く。次に龍田神社（新宮）に立ち寄り、藤ノ木古墳へ。今から21年前、古墳の発掘調査時、泉森先生は研究所の担当課長で、発掘調査時苦労されたとのこと、発見された石室内の家形石棺の内部を調査する際、オリンパス社からファイバースコープを借用して、石棺の内部を確認し金銅製品や装身具を確認された結果が、当時マスコミに大々的に報道された。

昼食後は世界遺産の法隆寺境内に入場し、泉森先生の説明を聴きながら、五重塔、金堂、大講堂、百済観音堂を順次見学、記念撮影の後、休憩を兼ねた寺務所内では古谷執事長による講話、特に聖徳太子に関わる話には興味津々、最後は夢殿を見学した。



その後、懇親会場の「萬佳」へ、淡路島から出席の佐藤先輩による乾杯の音頭で懇親会開始、ビールや酒を酌み交わし、新入会員3人の自己紹介や近況報告など、同伴を含め参加者34人が家族ぐるみの親交を深めた。

（横畠正秀）（石井公認会計士事務所＝06―6364―6816）

改組50周年事業で宇治へ 平安王朝の栄華を偲ぶ

関大大阪倶楽部（畑下辰典理事長）の21年度秋の総会は、10月31日の休日を利用して開催。総勢39人が参加した。

当倶楽部は、大正2年「大阪支部」として発足し、昭和34年に、多年の歴史と伝統を継承して、現在の呼称のもとに、活動を展開して50周年に及ぶ。

今回は、改組50周年記念総会として、多くの平安期の建造物を現代に伝える「宇治」を訪ねた。

幸い、源氏物語研究の学者で当倶楽部メンバーの北村英子さん（大阪樟蔭女子大特任教授）のご配慮を得て、往路の車中では宇治十帖の解説と見学のポイントの予備知識いをただきながら現地に到着した。



「源氏物語ミュージーアム」「宇治上神社」の見学で午前の行事を終え、昼食は「白雲庵」を会場に総会と懇親会を開催した。

懇親の席では、「ゆく秋の」の吟詠で興を盛り上げる即興もあり、また北村先生の講和で一層意義深い行事となった。

午後は、世界遺産・平等院を見学し、華麗に輝く鳳凰堂や国宝級を展示する鳳翔館の数々の仏教美術のもたらす芸術性に、感動のひとときを過ごした。

なお、源氏物語「大沢本」の特別展示に出くわす好機に恵まれた。

（藤本道人）（校友会気付＝06―6368―0041）

関関同立で学生スポーツ牽引 4私大スポーツ関係者懇談会

11月12日、新阪急ホテルで**体育OB会**（小坂道一会長）主催の第23回関関同立スポーツ関係者懇談会が開催され、95人が出席、来賓として上原理事長、楠見学長、池内専務理事、黒田副学長をお迎えした。

小笹副会長の開会の辞で始まり、小坂会長の挨拶、来賓の上

謹賀新年
尼崎信用金庫
理事長　橋本博之
AMASHIN
本店　〒660-0862　尼崎市開明町3丁目30番地
TEL06（6412）5411（代表）

おかげさまで　創業40周年をむかえました。
ビル清掃・管理
株式会社 関西サービス社
エコアクション21 認証・登録番号 0001262
代表取締役 片岡富和（昭31法卒）
事業所
吹田市山手町3丁目3-35　関大内
電話　（06）6368-1121　（内）4711
直通電話　（06）6338-4654
FAX　（06）6338-4479
本社
〒533-0033
大阪市東淀川区東中島4丁目7-16
電話　（06）6322-9236（代）

原理事長、楠見学長から挨拶をいただいた。また、黒田副学長から「スポーツとアイデンティティー」と題して講演をいただいた。つい最近まで中村俊輔が活躍をしていたスコットランド・グラスゴーにあるサッカーチーム、セルチックの話で、アイルランドから移民をしてきた人々の心の拠り所のセルチックの物語を一同熱心に聞き入った。

そして、同志社、立命館、関学、関大の順番で最近の体育活動状況を報告しあい、この4校で切磋琢磨し関西学生スポーツ界を引っぱっていくことを確認した。池内専務理事の乾杯の音頭で懇談が始まり、不祥事を防ぐ対策を各テーブルで議論をした。



最後に各大学の校歌披露、エールの交換をして次回の幹事校である立命館の挨拶があり、黒津副会長の閉会の辞でおひらきとなった。

（北川俊治＝072―201―1678）

200余人が創部60周年祝う 4年に1度の合唱パーティも

9月27日、天満橋ドーンセンターでグリークラブ創部60周年記念式典&第4回ミュージックパーティを来賓・OB・現役など200余人が参集し開催した。

記念式典では開会の辞に続き、学歌合唱、OB会理事長挨拶があり、来賓挨拶として、寺内校友会長、横田グリークラブ名誉指導者、伊藤法政大学アリオンコールOB会長、森島同志社グリークラブOB会理事長、武内コールテクニカOB会長より、心のこもったお言葉を頂戴した。最後に現役、奥野主将が閉会の挨拶をした。



続いて同会場で4年に一度のミュージックパーティを開催した。出席者一人一人が参加し全員参加型の感動と興奮の合唱パーティだった。改めてグリークラブと出会えた喜びを分ち合い再確認できた瞬間であった。現役の更なる成長を祈願し、再会を誓い合ってお開きとなった。

（OB会理事長　塔筋浩司）

50周年記念大会に110人 東京から明大、近大・関学も

11月1日、文化会吟詩部OB会の創立50周年記念大会は、100周年記念会館に寺内校友会長らを来賓に迎え、仲間である二部吟詠部吟鴎会、遠くは東京より明治大学、近隣より近畿大学、関西学院大学、そして寺内会長の紹介により葦文会中瀬会長等々に出席いただいて開催された。



OB90人弱、現役ほかで110余人が会場を盛り上げる中、第1部、記念式典、学歌斉唱、和部詩、「一吟一詠気虹の如く」、いやが上にも気分は高まってゆく。

齊藤OB会会長挨拶で最高潮に、第2部吟詠のひとときで、気分を変えようとするが学生時分の血が騒ぐのか、高見信幸先輩の構成吟に入ると参加吟者が、練習以上の最高の吟を披露してくれるので会場はシーンとして全員が聞き入っていた様子に感動した。

OB会員全員参加のグループ吟、現役の応援吟詠でまた盛り上がり、第3部、懇親の宴で寺内校友会長の挨拶をいただき、OB会西森相談役の乾杯で懇親会スタート。暫し歓談の後、歌

平成20年度 1級建築士 設計製図試験
合格者占有率 No.1
近畿2府3県
近畿2府3県の合格者の半数以上は、当学院の受講生でした。
近畿2府3県＝大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県
近畿2府3県合格者672名中 当学院合格者373名
55.5%
平成20年度も多くの関西大学OBが当学院から建築士になっています!!
平成20年度 1級建築士 関西大学卒業合格者
合格者58名中
当学院合格者36名
当学院占有率62.1%
独学＋他講習会利用 当学院占有率 62.1%
※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者は一切含まれておりません。


建築士・宅建
1級・2級建築施工管理技士・インテリアコーディネーター
厚生労働大臣指定教育訓練給付制度対象講座あり
無料 受験生・法人向け 各種ガイダンス開催中!!
当学院では皆さんの資格取得をバックアップする無料ガイダンスを随時開催しております。資格取得をめざす方、資格取得で就職活動を有利に進めたい方、社内の有資格者育成をお考えの方、まずはお気軽にお問合せください。建築関連資格指導校として蓄積したノウハウで皆さんの資格取得を強力にサポートします!
資料請求や講座に関するお問い合せは下記まで。
梅田校／TEL.06-6374-1411
新大阪校／TEL.06-6101-1911
京橋校／TEL.06-6882-8211
なんば校／TEL.06-6648-5511
堺校／TEL.072-222-9311
尼崎校／TEL.06-6430-6811
神戸校／TEL.078-241-1711
姫路校／TEL.079-224-1411
京都校／TEL.075-352-3011
草津校／TEL.077-566-6911
奈良校／TEL.0742-30-1511
今すぐウェブ検索 総合資格 検索
http://www.shikaku.co.jp
ケータイサイトも充実 http://gakuin.jp
※QRコードはバーコーダーリーダー対応機種に限ります。
株式会社 総合資格
(社)日本建築学会会員
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員
監理技術者講習実施機関 登録番号7
宅建登録講習機関 登録番号(2)第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(1)第5号
株式会社 総合資格学院法定講習センター
国土交通大臣登録講習機関
一級建築士定期講習 登録番号 第5号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号
総合資格学院
学院長 岸 隆司（法48卒）

謡吟詠に入り、年代別合唱に寺内会長も参加し大いに盛り上がっておられた。

何かをやり終えた満足感、晴れ晴れとした顔々。閉会の辞を最後に解散。有難うございました。

（OB会副会長　吉澤恒）

文化の相互理解を通じて平和を来賓に中馬大阪協会会長など

ユネスコ研究部OB会総会が、11月28日、関大心斎橋オフィスにおいて中馬弘毅大阪ユネスコ協会会長、武田暢樹同会事務局長、向山毅ハンガリー交流協会会長（関西外大教授）を迎え、華やかに開催された。毎年開く総会は現役とOBとの交流会で、今回は14人のOBが参加した。

私は7人のグループで11月16日から1週間、ハンガリーのブダペストで開かれた「日本・ハンガリー国交樹立140周年記念式典」、エリザベート校点灯式に出席し、



パリのユネスコ本部のボコバ新局長を表敬訪問した。総会では、ビデオプロジェクターを使ってこれらの様子を報告した。現役からは、今夏、能勢で行われた合宿で小学生と交流し、多くの参加者に国際理解、平和運動などを解りやすく説明した旨の報告があった。

中馬、向山両会長の挨拶をはじめ、校友、現役のスピーチは限りなく続いたが、懇親会の食事も満足できるもので、大変盛り上がった。

（東浦栄一　昭26学商）

常にbestを追求 高木教授の姿勢に身引き締まる

社会学部心理学専攻の**高木修ゼミのOB会・千修会**の第32回会合が、11月21日に梅田のChinese Diningまりんていで開催され、卒業生や現役学生ら約80人が参集した。

大学院OBの小椋雅章さんの乾杯の発声で始まった会では、同、阿部晋吾さん、田中泉さん、学部OBの11期生、広岡範之さんらが在学時のユニークなエピソードを交えたスピーチで千修会の開催を祝った。

楽しい会食・歓談の中で始まったアトラクションタイムでは、「高木ゼミクイズ」と題した、高木教授や卒業生・現役生にまつわるクイズが出題され、賞品獲得を目指して大盛り上がりであった。最終問題では高木教授の信念であるgoodよりもbetter、betterよりも（　）という問題が出題された。正解はもちろんbestであるが、高木教授の決して妥協することなく常に自分自身のbestを追求する姿勢について改めて拝聴することができ、学生、社会人共々身が引き締まる思いであった。



会の恒例でもある路子夫人の締めのスピーチでは、ご家庭でも教育・研究に対する熱意溢れる高木教授のご様子が披露され、出席者らは自らの学生時代のことを思い出して感謝の気持ちをあらたにした。

来年度で、高木教授は退職される。したがって、来年の会は、昭和43年の着任以来、10人の博士、39人の修士、約600人の学士を社会に送り出してきた高木教授の功績を称える記念の会となるので、より多くの方々の参加を期待している。

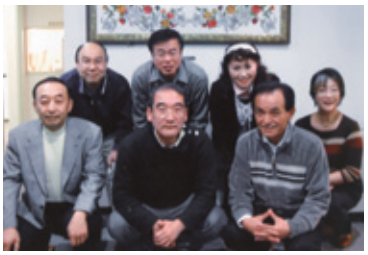
（第32回千修会幹事代表　山中淑子）

参加いつでも大歓迎 松原・鯰江ゼミ51年会

一昨年春、久方ぶりに全国から集合したゼミ仲間です。また同窓会を開いてほしいとのお言葉が多く寄せられている中、発起人会では、2か月に1度の割合で会合を持ち、下見を兼ねて春には六甲山荘に一泊旅行（写真）。夏には京都に小旅行。12月には忘年会を行った。

今後も、新年会やお花見を兼ねて大学スプリングフェスティバルへの参加を予定している。ゼミ生の皆さん又、51年同期の皆さん。参加いつでも大歓迎です！　どうぞ、お声をかけてください。連絡先は、

久保　智
＝s-kubo@mb1.taisho.co.jp
藤井喜代子
＝qqkm3r59k@ever.ocn.ne.jp



ゴルフだより

阪神間11支部52人参加 団体戦優勝は箕面支部

関大阪神ゴルフ会は近隣支部の交流と親睦を目的とし、各支部が持ち回りで、幹事支部となり、開催するゴルフ会です。

第23回目に当たる今回は箕面支部・川西支部が幹事支部となり、晩秋の11月19日、箕面ゴルフ倶楽部で開催した。

阪神間の11支部から52人の参加を得て、天気にも恵まれ紅葉のなか、和気あいあいの楽しい一日を過ごした。

団体戦は各支部上位3人のネット合計で、優勝は箕面支部、準優勝は宝塚支部、3位は池田支部で、藤元尚宏阪神会会長か



ら優勝カップならびに賞品等を授与、表彰された。

なお、個人戦は優勝・坂本尚文（箕面支部）、準優勝・鷲見彰治（宝塚支部）、3位・櫻井俊夫（川西支部）の各氏であった。

（箕面支部）

快晴の泉佐野で親睦コンペ 22年度は泉南支部が主催

泉南、熊取、泉佐野3支部の親睦ゴルフコンペが11月21日、泉佐野カントリークラブ大阪湾、犬鳴コースにて20人の参加で開催された。快晴のコンディションと校友の元気いっぱいのプレーで、支部の交流を深めた。



優勝・加納靖夫、準優勝・西田郁夫、3位・阪上克也だった。夕食と親睦会をインディアンサマーりんくう店にて表彰式と併せて挙行し、和やかなひと時を楽しんだ。

なお、22年度は泉南支部の主催で実施することになった。また、新年の祝賀会を1月16日（土）午後6時から開催することが決定した。

（泉佐野支部長　山本定夫）

（山本定夫＝072―490―0711）

和気藹々とプレー 大倉副支部長が優勝

吹田支部（奥谷英夫支部長）の第36回親睦ゴルフ大会は、11月8日に愛宕原ゴルフ倶楽部で、初参加者2人を含む13人が参加して開催された。



春秋の年2回、支部校友の親睦を第一に開催してきたこの大会も満18周年を迎え、今回、参加者は少なかったが、天候にも恵まれ、好プレー珍プレーを繰り広げながら晩秋の一日を楽しんだ。

成績は、優勝・大倉幾三郎、2位・山本雄二、3位・瀧川紀征の各氏。

なお、次回は22年4月18日（日）に高槻カントリークラブで開催の予定。一度参加してみたいと思われる方は、大倉副支部長（電話・FAX06―6388―2294）または支部事務所までご連絡ください。

（副幹事長　渡邊善孝）

（日隆産業・谷康司＝06―6329―4424）

校友トピックス

名門コースで果敢にプレー 田中忠明氏が優勝飾る

会計人会（宮崎一也会長）の第8回ゴルフ大会は、10月22日に伏尾ゴルフ倶楽部で開催された。秋たけなわの申し分ない好天のもと、参加者10人が名コースに挑み、和気藹々としたなかにも果敢にプレーした結果、ネット74・20のスコアで田中忠明氏が見事優勝を飾った。

交通安全のためノンアルコールのコンペ会食であったにもかかわらず、成績発表は大いに盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

なお、2位は小黒敬三、3位石井國男の各氏。（幹事　福田）

（宮崎一也税理士事務所＝06―6945―3855）

仲間に思いを寄せて 落大OB頑張る！ 心斎橋オッフィスで 第3回砂九感謝祭

11月21日、関西大学心斎橋オフィスに、100人をこえるお客様をお迎えし、第3回砂九感謝祭が開かれました。

4年前に不慮の事故で亡くなった浪漫亭砂九（すなっく、纐纈彰良＝昭55学工）を偲び、落語大学の仲間たちが始めた落語会。落語が好きでたまらないと卒業後も地元で活動をしていた彼の活動は、名古屋に素人落語の根をつくり、今も連綿と受け継がれています。

そんな彼の思いを継ぎ、先輩後輩が落語を始め、お囃子を練習し、寄席を開催してきました。「偲ぶ会」でも「追悼」でもなく、今一度落語大学の連中を寄せて、また寄席をする力をくれた、そんな砂九に感謝の思いを込めて、「感謝祭」と銘打ち今回で3回目です。



今年は、同期の夢つぼみ（堀登志子）を司会に、爪田家らいむ（矢野宗宏）をトリとした落語五題。その思いは多くの方の心をうち、読売・産経・毎日新聞と各紙でも紹介して戴きました。

来年もまたこの思いは連綿と受け継がれていくことと思います。（堀登志子＝昭55学社）

吟詩部OBの新子文雄さん 第42回全国吟詠大会で優勝

11月1日に創立50周年記念式典を盛大に開催した吟詩部OB会。第2部の吟詠では参加吟者がそれぞれ最高の吟を披露し、聴衆をうならせた。OB会で講師をつとめる新子文雄さん（吟号・紅秋＝昭45学法）もその一人で優秀吟者となったが、実はその2週間前の10月12日には尼崎・アルカイックホールで行われた日本吟詠総連盟の「第42回全国吟詠コンクール決勝大会」で

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷（上用）謹製
厚生大臣賞 日本食品衛生協会長賞 受賞
和洋御菓子司
株式会社 君乃栄
〒556-0011　大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代)　(06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
取締役会長　山本俊雄（千寿会会員）
代表取締役　山本雅己（S53学1法卒）



見事優勝を果たしていた。

新子さんは、関大入学の年に関西吟詩文化協会に入会。平成2年には師範、ポリドール吟詠大会一般の部で全国優勝した16年には高師範となり、その後も数々の大会で優勝・準優勝を飾り、21年には総師範を取得した。

信田和洋氏がACIアジア・太平洋地域主催の懸賞論文制度に入賞

ACI（Airport Council International:国際空港評議会）アジア・太平洋地域が、本年度初めて実施した懸賞論文制度（Young Executive of the Year Award 2009）で、関西国際空港（株）に勤める信田和洋氏（昭57学工）の論文が同社の代表論文としてACIへ送られ、審査の結果、最優秀賞に次ぐ佳作（Honorable Mention）に選ばれた。

論文の題目は、「環境問題と調和する空港管理」で、11月3日、クアラルンプールで開催されたACI世界及び地域総会において表彰を受けた（同社の村山相談役・前社長が代理受賞）。

なお、最優秀賞受賞者はオーストラリアの空港の人で、佳作は信田氏とマレーシア空港公団の人の2人。

なお、論文はACIホームページ（http://www.aci-asiapac.aero/cda/aci common/display/main/aci_content07_c.jsp?zn=aci&cp=3532-3539-7892_666_2）に掲載されている。



桜井　誠一（昭47学法）著「新型インフルエンザ国内初！神戸市担当局長の体験的危機管理」

時事通信社　刊
定価　840円



この著書は、昨年5月に国内初の患者が神戸市で発生、しかも渡航暦の無い高校生だったという事態を迎えた神戸市長を始めとする関係部局が、様々な不確かな情報のなか、どのように動き、判断して事態を収拾していったか。混乱するなか、マスコミ対応をどのように乗りきったかなど臨場感あふれる体験をつづったものである。

マスコミ、研究者、他の自治体など防災・危機管理担当者などのコメンテーターも参考になる。自治体など新型インフルエンザ関連部署での危機管理に止まらず、企業の危機管理担当者の必読書と言っても過言ではない。

筆者は、阪神淡路大震災時の広報課長で、その当時にマスコミ対応や市民への情報発信を一手に引き受けた経験から『大震災神戸初！元広報課長の体験的危機管理』も出している。

新設の社会安全学部などで学ぶ学生にも是非読んでいただきたい一冊である。

（神戸支部幹事長　谷口欣久）

大饗　丈（昭45学商）著「焦土に聞こえたアンサンブル」

萌友出版　刊
定価　1575円



著者・大饗（おおあい）丈は、本名・原憲一さん。昭和45年商学部卒業の校友で、山陽放送常務である。

第二次大戦下でも軍歌を嫌い、西洋音楽を奏でた岡山の一音楽教師とその家族を描いた物語で、モデルは国際的ピアニスト・岩崎淑さん、チェロ奏者・岩崎洸さん姉弟の父、故岩崎千蔵さん（1905～69年）である。

千蔵は岡山市に生まれ、岡山県師範学校卒後、総社高等女学校（現県立総社高）の音楽教師として赴任したが、時は欧米の列強に対抗しアジア地域での勢力拡大を目指して日本が軍国化していたころである。

西洋音楽をこよなく愛していた千蔵は軍国教育一辺倒の教頭と対立。新天地を求めて家族とともに台湾に渡り（1939年）、現地の女学校で情熱を持って音楽を教える。当時の台湾は日清戦争後の日本割譲から45年、日本の町として整備され、現地人との抗争もあまりなかったため、千蔵はコーラス部を指導したりして満ち足りた教師生活を送っていたが、やがて戦況は悪化（第二次大戦）。再び岡山に帰る（1944年）。しかしこの岡山でも空襲に遭い千蔵一家は過酷な運命に晒されるが、バイオリンは片時も放さず西洋音楽を奏でる。

これが物語のあらすじだが、千蔵の真っ直ぐな生き方を描いたこの小説は、まさに題名の焦土に聞こえたアンサンブルであり、かつてJNN（毎日放送系）中東特派員として、戦争の惨さを目の当たりにした著者の「戦争は自由な精神を奪う」と訴えることが良く理解できる。

戦没画学生の遺作を展示した無言館（長野県）からも戦争の悲惨さが伝わるが、音楽もまたそうであることを感じる。戦争は学芸までも奪い取るのである。

（岡山支部長　行本章允＝昭42学経）

関西大学文化会 OB・OGのみなさんへ
「葦文会」にご参加を、まずはご連絡を。

「葦文会」は平成19年6月に再発足してから、総会・スプリングフェスティバル参加、新年会、忘年会などの行事を実施して、OB会員相互の親睦を図るとともに、校友会の活動に協力し、機会あるごとに現役学生との親交を図って、関西大学文化会本部を支援してきました。

120年を超える歴史と伝統を誇るわが母校の発展に寄与し、さらなる活動を展開するために、文化情報の発信基地として新しいメッセージを発信したいと思います。

文化会各クラブ出身のOB・OGのみなさん、奮ってのご参加をお待ちします。まずは事務局へご連絡を…。

文化会OB会「葦文会」会長　中瀬　和夫（昭和42年経済学卒）

●囲碁部　●映画研究部　●観光事業研究部　●グリークラブ
●文芸部　●茶道部　●混声合唱団葦　●混声合唱団ひびき
●児童文化研究部　●写真部　●珠算部　●将棋部　●書道部
●速記部　●探検部　●邦楽部　●マンドリンクラブ
●ユースホステルクラブ　●美術部　●ユネスコ研究部
●レコード音楽部　●アートデザイングループ　●落語大学
●ギタークラブ　●奇術研究部　●吟詩部　●能楽部
●軽音楽部　●演劇研究会「学園座」　●交響楽団
●マンドリン倶楽部　●ポピュラーミュージック創作研究部

一部、二部、学部、大学院は問いません。上記各部のほか、文化会所属の各クラブ出身の方は、下記「葦文会」事務局へ住所・氏名・卒年・所属などご連絡ねがいます。次回行事のご案内を差し上げます。

「葦文会」事務局：幹事長　三坂友章（昭和62年商学部卒）
〒665-0866　兵庫県宝塚市星の荘3−21　三坂登記測量事務所内
Tel. 090−5158−7259　Fax.0797−85−6051
E-mail office-misaka@msc.biglobe.ne.jp

「葦文会」のＨＰ（葦文会で検索）　http://www2.kandai-koyukai.com/al/ibunkai/

会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【地域支部】

▽住吉支部総会　22年1月11日（祝）午前10時半　住吉大社（野村建治＝06—6697—9655）
▽岡山支部新年会　1月12日（火）午後6時　三井アーバンホテル（田淵自動車鈑金塗装所＝086—222—7076）
▽泉佐野支部新年互礼会　1月16日（土）午後6時　インディアンサマーりんくう店（5千円。山本定夫＝0724—66—0380）
▽静岡支部総会　1月24日（日）午後1時　静岡駅北口・ホテルアソシア静岡（山口健一＝054—245—2854）
▽神戸支部新年互礼会　1月21日（木）午後6時半　神戸東急イン（8千円、平成卒6千円、現役学生無料招待。東光商会＝078—453—2211、ﾌｧｯｸｽ078—453—2171）
▽三田支部総会　1月29日（金）午後6時半　神戸三田新阪急ホテル（1万円。岡田秀雄＝079—564—2246）
▽東京支部新年総会　1月30日（土）午後1時　関西大学東京センター（東京センター＝03—3211—1670）
▽愛媛支部総会　1月30日（土）午後6時　いよてつ会館（稲荷和重＝089—956—1869）
▽芦屋支部総会　1月31日（日）午後5時半　JR芦屋駅北・ホテル竹園（依藤健史＝0797—23—7004）
▽千葉支部新春総会　2月6日（土）午後4時半　JR市川駅北口・山崎製パン企業年金基金会館4階（5千円。アイズ・オブ・マインド、青山誠＝03—3662—7710）
▽埼玉支部総会　2月13日（土）午後1時　さいたま市民会館・うらわ（高木良二＝048—882—7753）
▽神奈川支部新春総会　2月20日（土）午後2時　横浜山下公園前産業貿易センタービル10階、中国料理「東天紅」横浜店（6千円・女性4千円。大山恵孝＝090—8007—8241）
▽大阪市内支部連合会総会　2月26日（金）午後6時　場所未定（辻佐一郎＝090—1670—9463）
▽南勢支部総会　2月28日（日）午前11時半　伊勢シティホテル（1万円、新卒者及び女性は5千円。時田耕路＝0598—26—0725）

【職域会ほか団体】

▽自動車工学研究会OB会総会　1月16日（土）午前11時　校友・父母会館
▽社会学部同窓会2010新年懇親会　1月23日（土）午後1時　阪急「南方駅」徒歩5分・新大阪ホテル（5千円。中村仁＝090—3972—2608）
▽嗚呼なつかしの大学寄席　1月23日（土）午後2時　関西大学心斎橋オフィス（無料。グループいっせき・加藤利美＝090—3971—8968）
▽社会保険労務士関大会新年会　1月23日（土）午後6時　道頓堀ホテル（7千円。事務局・永盛労務事務所＝06—6170—4864）
▽公認会計士関大会研修会・総会　2月6日（土）午後3時（懇親会午後6時）ホテルグランヴィア大阪（1万円。玉置公認会計士事務所＝06—6221—3478）
▽経済人クラブ第186回例会　3月1日（月）午後6時　新阪急ホテル（校友会事務局＝06—6368—0041）
▽体育OB会総会　3月13日（土）午後2時　千里山キャンパス・BIGホール100（北川俊治＝072—201—1678）

校友短信

◇兵庫県新温泉町町長に岡本英樹氏が初当選　任期満了による新温泉町の町長選挙は11月8日に投開票され、前町会議員の岡本英樹氏（おかもと・ひでき＝昭48学法）が初当選を果たした。

新温泉町は平成17年10月に旧浜坂町と旧温泉町が合併して発足。岡本氏は、旧浜坂町議会議員を3期、新温泉町議会議員を1期つとめていた。58歳。

◇ショーボンド建設社長に藤井宗司氏就任　平成22年1月1日付。藤井宗司氏（ふじい・そうし＝昭47学経）は、昭和47年同社入社。平成9年取締役、21年専務。61歳。

藤井氏は、同日付で持ち株会社のショーボンドホールディングスの副社長にも就任。

お悔み申し上げます

〈敬称略〉

小坂紀行（こさか・のりゆき＝平18学法、日本ＡＥパワーシステムズ勤務）平成20年11月13日死去。25歳。米子市。

長田正宏（ながた・まさひろ＝平1学経、イースタン勤務）平成21年1月8日死去。45歳。茅野市。

藤尾昌義（ふじお・まさよし＝昭37学経）2月18日死去。72歳。神戸市。

山本　豊（やまもと・ゆたか＝旧姓佐藤、昭30短大・32学経）4月9日死去。75歳。岐阜市。

浅尾悦照（あさお・よしてる＝昭28学2商）5月5日死去。78歳。和泉市。

嶋崎清治（しまざき・せいじ＝昭26一高・30学法、東大阪簡易裁判所民事調停委員、元東大阪市役所千陵会会長）7月21日死去。76歳。東大阪市。

谷口達男（たにぐち・たつお＝昭19専1商）7月24日死去。85歳。神戸市。

山田義康（やまだ・よしやす＝昭15専2法・17大法、弁護士・山田法律事務所、元大阪高裁判事）7月26日死去。92歳。芦屋市。

阿部藤吾（あべ・とうご＝昭15二商、元愛媛支部支部長）8月3日死去。86歳。松山市。

柳原治美（やなぎはら・はるみ＝昭19専1商、元大阪府環境衛生同業組合役員、大阪北野ビルオーナー）8月7日死去。86歳。西宮市。

河俣次男（かわまた・つぎお＝昭19専1商、元大阪府警警視）10月8日死去。87歳。枚方市。

今村千秋（いまむら・ちあき＝昭38学文）10月20日死去。71歳。喜多方市。

宇賀照夫（うが・てるお＝昭28学経、元大阪防水建設社代表取締役会長・社長）10月24日死去。77歳。東大阪市。

小山昭雄（こやま・あきお＝昭33学法、（有）壱昭商事顧問、但馬支部支部長、校友会代議員）11月1日死去。74歳。豊岡市。

金谷和彦（かなたに・かずひこ＝昭46学経、金谷木材）11月7日死去。63歳。和歌山市。

井口俊彦（いぐち・としひこ＝昭27学2文）11月11日死去。88歳。大阪市。

深尾信雄（ふかお・のぶお＝昭19専1商）11月16日死去。87歳。京都市

田中美春（たなか・よしはる＝昭44学2法、弁護士・たなか法律事務所）11月25日死去。64歳。吹田市。



弁護士 網本 浩幸（あみもと ひろゆき）
アイマン総合法律事務所 代表

新居労務管理事務所
社会保険労務士 新居 勝美
豊中市曽根南町一―二二―八 ソフィア九〇 二〇一
電話 〇六―六八六八―二二一〇

生田法律事務所
弁護士 生田 暉雄
高松市錦町二―四―二一 〒七六〇―〇〇二〇 生田ビル二階
電話 〇八七―八二二―〇五五〇
FAX 〇八七―八二二―〇五五二

石井公認会計士事務所
公認会計士 税理士 石井 國男
大阪市北区堂山町十八番三号 オオツジ堂山ビル六階
電話 〇六―六三六四―六八一六

梅新綜合会計事務所
公認会計士 税理士 石川 昌司
大阪市北区西天満四―四―十三 三共ビル梅新六階
電話 〇六―六三六二―三五〇一
http://www.i-tax.gr.jp/index.html

中山・石村法律事務所
弁護士 石村 太郎
（昭和42年一部法学部卒）
山口市春日町二〇六一一 〒七五三―〇〇七三 藩庁門ビル二階
電話 〇八三―九二三―五二四〇
FAX 〇八三―九二二―八七六八

和泉司法書士事務所
司法書士 和泉 克弥
枚方市宮之阪一―二二―八
電話 〇七二―八九〇―一五一五
FAX 〇七二―八四八―〇〇〇一
（スーパー・イズミヤの通り）

司法書士 一軸 浩幸
弁護士

司法書士 市田 利夫
〒530-0021 大阪市北区浪花町十三番三八号 千代田ビル北館九階
電話 （〇六）六三七五―三三六六
FAX （〇六）六三七五―三五四八
地下鉄天六駅⑬出口スグ
E-mail jsichida@gold.ocn.ne.jp
HP http://www.office-ichida.com

井上会計事務所
税理士 行政書士 井上 公雄
〒六六九―二二〇四 兵庫県篠山市杉一七〇―一（丹南篠山口インター前）
電話 〇七九―五九四―〇三二〇
FAX 〇七九―五九四―〇二〇一七

税理士 稲崎 清
〒五四〇―〇〇三二 大阪市中央区天満橋京町三―三 メロディーハイム天満橋一三〇一
電話 〇六―六九四五―五五一一

税理士 井上 高明
泉南市信達牧野四一五―三
電話 〇七二―四八五―二三八一
FAX 〇七二―四八〇―二一八二

日本司法書士会連合会 副会長
司法書士 井上 利博
（簡裁代理認定 一一三〇〇一号）
京都府福知山市字天田小字犬丸一三五番地の一 三石衛門ビル二階
電話 〇七七三―二二―一三二〇
FAX 〇七七三―二二―八二八八
井上・吉田司法書士事務所

JRI株式会社かに道楽
代表取締役社長 今津 文雄
〒五四二―〇〇八六 大阪市中央区西心斎橋二―九―一六 網元別館五階
電話 〇六―六二一三―〇五一一
FAX 〇六―六二一一―四五一一

株式会社阪神住建
代表取締役 岩崎 圭祐
本社 〒五五三―〇〇〇六 大阪市福島区吉野一―二一―一四
電話 〇六―六四四七―〇〇〇一（代）
FAX 〇六―六四四五―一九四六

公認会計士 税理士 不動産鑑定士 上田 高嶺
大阪市北区堂山町一八―三 オオツジ堂山ビル
電話 〇六―六三一二―九六七一

司法書士 植田 喜一
大阪市中央区淡路町二―九―三〇一
電話 〇六―六二二二―二〇八五（代）
FAX 〇六―六二二二―二〇八五四

大阪司法書士会相談役

税理士 上田 吉彦
〒五四二―〇〇六五 大阪市中央区中寺二―一―三二 アービング谷町高津公園五〇一号
電話 〇六―六七六三―三七〇二
FAX 〇六―六七六三―三七〇三

上田吉彦税理士事務所

弁護士 村辻 義信
弁護士 仲谷（昭五四学一法）仁志
大阪市北区堂島一―一―五 梅田新道ビル十二階
電話 〇六―六三四三―三三一三
FAX 〇六―六三四四―三三一四

ウェルブライト法律事務所

弁護士 奥村 雅美
大阪市北区西天満四―六―三 ヴェール中之島北九〇一号（大阪地方裁判所北門前）
電話 〇六―六三六五―五五一一（代）
FAX 〇六―六三六五―八一二四

薄木総合法律事務所
弁護士 薄木 昌信（昭三五学一法卒）
弁護士 薄木英二郎（平七学一法卒）
弁護士 薄木 史
大阪市北区西天満四―六―三 ヴェール中之島北九〇一号（大阪地方裁判所北門前）
電話 〇六―六三六五―五五一一（代）
FAX 〇六―六三五八―〇九一三

代表取締役会長 内田 弘男
〒五三〇―〇〇四一 大阪市北区天神橋二―一―五八
電話 〇六―六三五一―五五六一（代）
FAX 〇六―六三五八―〇九一三

内田写真株式会社

弁理士 大島 泰甫
弁理士 稗苗 秀三
弁理士 後藤 誠司
弁理士 小原 順子
大阪市中央区南船場四―十一―十六 心斎橋コラムナービル
電話 〇六―六二四三―一八三一（代）
FAX 〇六―六二四三―一八三四（代）

大島特許事務所

弁護士 上原 洋允
大阪市北区西天満六―七―四 大阪弁護士ビル四〇五号室
電話 〇六―六三六四―〇三三一（代）
FAX 〇六―六三六四―〇三三六

上原綜合法律事務所

税理士 上野 義雄
税理士 上野 和雄
〒五四二―〇〇二一 大阪市中央区谷町六―六―一五―六〇一
電話 〇六―六七六二―六二三一

上野会計事務所

弁護士 大東 恭治
大阪市北区西天満二―九―一四 北ビル三号館六〇四号室
電話 〇六―六三一―六一八八
FAX 〇六―六三一―六一八八三〇

岡﨑熹骰税理士事務所
税理士 岡﨑 熹骰
京都市右京区西院南高田町一六番地 インテル二階
〒六一五―〇〇四一
電話 〇七五―三一二―五一二五
FAX 〇七五―三一二―五一二八

特許業務法人 岡田国際特許事務所
代表社員 弁理士 岡田 英彦（昭四工専第一回卒）
弁理士 伊藤 寿浩（平成二二年工学部卒）
名古屋市中区栄二―一―一〇 名古屋商工会議所ビル内
電話 〇五二―二二一―六二四一（代）

三好内外国特許事務所
大阪事務所
弁理士 奥村 文雄
大阪市北区西天満五―一四―七 三旺ビル六階
電話 〇六―六三六五―八八六六
FAX 〇六―六三六五―八八八七

株式会社サン・エキスプレス
代表取締役 海蔵寺 浩
大阪府吹田市清水十四―一
電話 〇六―六八七七―五四六九
FAX 〇六―六八七七―五四六九

弁護士 片山 久江
〒五四〇―〇〇三九 大阪市中央区東高麗橋二―二四 メロディーハイム高麗橋一〇五号
電話 〇六―六九六六―二二三八
FAX 〇六―六九四七―五二〇五

明けましておめでとうございます

かとう法律事務所
弁護士 **加藤 安宏**
〒五三〇―〇〇四七 大阪市北区西天満六―七―四 大阪弁護士ビル九階
電話 〇六―六三一―二二三五
FAX 〇六―六三一―二二三六

河合経営労務事務所
河合税理士事務所
社会保険労務士 税理士 **河合 正信 河合 琢也**
〒五三〇―〇〇四七 大阪市北区西天満六―七―四 大阪弁護士ビル九階
電話 〇六―六三一―二二三五
FAX 〇六―六三一―二二三六

相続・遺言・成年後見申立
売買・贈与・会社設立・債務整理
司法書士法人JLO
司法書士 **川村 常雄**
大東本部 〇七二―八七四―三三〇八
大阪事務所 〇六―四七〇九―六五一
東京事務所 〇三―六九三三―八五一五

弁護士法人
関西法律特許事務所
弁護士 **村林 隆一 今中 利昭**
〒530-0047 大阪市北区西天満四―六―一九 小寺プラザ十二階
電話 〇六―六三三一―三二一〇(代)

木地法律事務所
弁護士 **木地 晴子**
〒530-0047 大阪市北区西天満四―六―一九 小寺プラザ十二階
電話 〇六―六三三一―三二一〇(代)

大阪府社会保険労務士会
東部支部
北本社労士事務所(SRP認証)
特定社会保険労務士 **北本 浩三**
〒五三四―〇〇二一 大阪市都島区都島北通二丁目二〇番七号
TEL・FAX 〇六―六九二一―五〇二四
E-mail:kouhi81@occn.zaq.ne.jp

関西大学評議員会議長
弁護士 **児玉 憲夫**
大阪市北区西天満六―一一―二 千代田ビル別館九階 新世綜合法律事務所
電話 〇六―六三一―五六八一(代)
FAX 〇六―六三六四―四三六九

小西法律事務所
弁護士 博士(法学) **小西 清茂**
京都市中京区烏丸通丸太町下ル 大倉町二〇六番地 オクムラビル四階
〒六〇四―〇八六一
電話 〇七五―二五四―七八五五
FAX 〇七五―二一二―四八八八

ちゃんこ・焼肉
朝潮
鳴野店 徳庵店
六九六五・〇〇一五
六七四六・三九三九
総合スーパーマーケット・お酒・百円均一
コノミヤ
代表取締役 社長 芋縄 隆史
放出店(本社)六九八八・〇五八六
新しい、旨い、安い、28店舗

柴田法律特許事務所
弁護士 弁理士 **柴田 肇**
豊橋市前田町一―二―十一
電話 〇五三二―五三―七〇八七
FAX 〇五三二―五四―二一〇六

志水会計事務所
税理士 **志水 正芳**
〒四六六―〇〇一四 名古屋市昭和区東畑町一―二五
電話 〇五二―七三三―九一六四
FAX 〇五二―七三三―九二三一
E-mail cpta.shimizu@nifty.ne.jp

上代・神野特許事務所
弁理士 **上代 哲司**
(七三年工学部卒)
大阪市中央区東高麗橋三番三二号
〒五四〇―〇〇二九 ニューライフ高麗橋六〇一号
電話 〇六―六九六六―一一一二
FAX 〇六―六九六六―一一一二

甚田総合会計事務所
税理士 **甚田 隆康**
大阪市中央区南船場二―五―八
〒五四二―〇〇八一 長堀コミュニティービル四階
電話 〇六―六二六七―一三〇一(代)
FAX 〇六―六二六七―一三〇二
E-mail:taka@jinda.co.jp
URL http://www.jinda.co.jp/

杉本会計・経営総合事務所
公認会計士 税理士 **杉本 光伸**
税理士 **杉本あすか**
税理士 行政書士 **杉本 太平**
和泉市伯太町二―三―二七
電話 〇七二五―四四―〇五〇〇

特許業務法人 有古特許事務所
会長 弁理士 **角田 嘉宏**
神戸市中央区東町一二三―一
貿易ビル三階
電話 〇七八―三二一―八八二二(代)
FAX 〇七八―三九一―五七九一

背戸清三会計事務所
税理士 **背戸 清三**
大阪市北区中津二丁目四番二七号
サンハイム中津一〇八号
電話 〇六―六三七一―四〇七〇

社会保険労務士関大会
会長 社労士 **大門 博**
事務局 大阪市中央区島町二―四―三
自宅 奈良市六条町一―四―三〇―九〇一
電話 〇七四二―三六―八一四五

太陽法律事務所
弁護士 **辻口 信良 森谷 昌久 外五名**
太陽の温かい心で
相談をお受けします
〒530-0047 大阪市北区西天満四―八―二 北ビル本館四階
電話 〇六―六三六一―八八八八
FAX 〇六―六三六一―八八八九
E-mail office@taiyo-law.jp
http://www.taiyo-law.jp

高橋くれ司法書士事務所
司法書士 **高橋 一夫**
大阪市中央区谷町二―一―一六
電話 〇六―六九四一―四六七〇

日本医業経営コンサルタント(JKC会員)
税理士法人 東京中央会計
代表社員 税理士 **髙橋 龍雄**
本社 東京都豊島区池袋二丁目二三番二号
支社 東京都港区新橋二丁目一六番一号
〒一〇五―〇〇四一 新橋ビル四二四号
電話 〇三―五五〇一―三八二三
FAX 〇三―三九八三―五三三〇(全国ビル七階)

玉置公認会計士事務所
公認会計士 税理士 **玉置 栄一**
大阪市中央区北浜一―三―一四 西川三井ビルディング
電話 〇六―六二二一―三四七八
FAX 〇六―六二二一―〇五九一

日隆産業株式会社
日隆運輸株式会社
代表取締役 社長 **谷 康司**
〒五三三―〇〇〇四 大阪市東淀川区小松二―七―一四
電話 〇六―六三二九―四四二四
FAX 〇六―六三二九―七七七四

田中労務管理事務所
社会保険労務士 **田中 義久**
泉佐野市羽倉崎上町三―八―二
電話 〇七二―四六五―〇六六八
FAX 〇七二―四六五―二三四〇

司法書士 **武島 博**
土地家屋調査士 **武島 巖**
司法書士 **山元 秀明**
司法書士 **山下 誠二**
大阪市中央区内淡路町一―三―十三
電話 〇六―六九四四―一三三九

中村成明税理士事務所
税理士 **中村 成明**
〒五三〇―〇〇一二 大阪市北区芝田二―三―一九 東洋ビル本館四階
電話 〇六―六二九二―〇七三五
FAX 〇六―六二九二―〇七三六

中村司法書士事務所
司法書士 **中村 博**
〒五四六―〇〇一一 大阪市東住吉区針中野三丁目八番十八号
電話 〇六―六七〇五―五六七八
FAX 〇六―六七〇五―五六七九

中村良介税理士事務所
(有)エヌエスコンサルト
所長 税理士 **中村 良介**
大阪市北区曽根崎新地一―四―二〇
〒五三〇―〇〇〇二 桜橋IMビル15F
電話 〇六―六四二―七五一一
FAX 〇六―六四四二―七五一三

税理士 **塚本 壽一**
(昭和四二年二法)
宝塚市売布東の町十一―十六
電話 〇七九七―八五―一四九一
FAX 〇七九七―八五―一四九二

司法書士 **塚本 哲**
豊中市宝山町二三番一号
電話 〇六―六八五二―一七一九

辻本法律特許事務所
弁理士 **辻本 一義**
(関西大学客員教授)
弁護士 弁理士 **辻本希世士**
(ニューヨーク州弁護士)
弁護士 **辻本 良知**
(法務博士)
大阪市中央区上汐二―六―二〇
電話 〇六―六七六六―六二一二(代)

中野地所鑑定(株)
代表取締役 不動産鑑定士 **中野 英満**
〒五四二―〇〇八一 大阪市中央区南船場一―一六―二三
電話 〇六―六二六二―五八〇一

公認会計士 税理士 **中野 豊**
〒五四五―〇〇五二 大阪市阿倍野区阿倍野筋二―二三―一〇五
電話 〇六―六六六一―五一三二



明けましておめでとうございます

ながやま法律事務所

弁護士 長山 亨
弁護士 長山 淳一

大阪市北区西天満四―六―八 OLCビル四階四〇一号室
電話 〇六―六三六二―八一四一代
FAX 〇六―六三六三―一九〇九

司法書士法人 なにわ合同

司法書士 上野 義治
司法書士 彌島 義尚
司法書士 吉田 篤史
司法書士 下川 英昭

大阪市北区西天満四―一〇―三 〒五三〇―〇〇四七 植田ビル
電話 〇六―六三六五―五六〇一代

羽賀順一会計事務所

税理士 羽賀 順一

大阪市天王寺区上本町六―六―二六―二〇一 〒五四三―〇〇〇一（上六光陽ビル）
電話 〇六―六七七〇―七二一〇

萩原・萩原貞榮法律事務所

司法書士 萩原 弘
司法書士 萩原 貞榮

伊丹市昆陽二丁目一六番地
電話 〇七二―七七九―〇三〇五
FAX 〇七二―七七三―〇四〇六

畑下公認会計士事務所

公認会計士 税理士 畑下 辰典

大阪市天王寺区上本町六―三―一〇〇一号
電話 〇六―六七七三―三八七一
FAX 〇六―六七七三―三八七二

パトリオ特許事務所

弁理士 鳥居 和久
弁理士 神保 泰三
弁理士 中塚 雅也

大阪市中央区久太郎町三―一―二九 本町武田ビル八階
電話 〇六―六二五一―三七一七
FAX 〇六―六二五一―三七一五

花田公認会計士事務所

公認会計士 税理士 花田 昌己

岸和田市別所町三―十―四
電話 〇七二―四三三―三〇〇〇
FAX 〇七二―四三七―二一〇〇

林川法律事務所

弁護士 林川 毅

大阪市中央区道修町三―二―五 〒五四一―〇〇四五 高原ビル二階
電話 〇六―六二二七―五五一一

疋田法律事務所

弁護士 疋田 淳

大阪市中央区北浜二―一―十九―八〇二 〒六六二―〇九二九―三二四〇代
電話 〇六―六二二九―三二四一
FAX 〇六―六二二九―三二四四

福田社会保険労務士事務所

社会保険労務士 福田 稔

東大阪市新池島町二―十二―十五
電話 〇七二―九八一―一九八八
FAX 〇七二―九八二―七〇五七

社会保険労務士関大会顧問

社会保険労務士 藤井 昭三

寝屋川市成田西町十六―二
電話 〇七二―八三三―八五八五
FAX 〇七二―八三三―八五八六

大阪船場法律事務所

弁護士 藤原 誠

大阪市中央区備後町三―二―八 長谷ビル七階七〇三号室
電話 〇六―六二六一―三二四四代
FAX 〇六―六二六一―二一一五

サン・グループ（知的財産専門集団）

弁理士 代表 藤本 昇
弁理士 野村 慎一
マネージャー 藤本 周一

大阪市中央区南船場一―一五―四 堺筋稲畑ビル二階
電話 〇六―六二七一―七九〇八
FAX 〇六―六二七一―七九一〇

FAO FURUBUCHI Accounting Office

学校法人 関西大学 評議員
関西大学教育後援会 相談役
税理士 古渕 孝仁
（昭和五十五年法学部卒）

堺市堺区市之町東三丁一番二十二号
電話 〇七二―二二二―六七六七
FAX 〇七二―二二二―三四九九
E-mail furubuchi.ao@iris.ocn.ne.jp

牧江社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士
行政書士
所長 牧江 重徳

西宮市和上町五―九 〒六六二―〇九七一
電話 〇七九八―三六―四三一三
FAX 〇七九八―三六―四三〇四

三原公認会計士事務所

公認会計士 税理士 社会保険労務士 三原 秀章

大阪市西区阿波座一―五―二 〒五五〇―〇〇一一 第四富士ビル九階
電話 〇六―六五三五―二二五〇
URL http://www.mi-cpa.com

宮口会計事務所

税理士 所長 宮口 明
公認会計士 税理士 宮口 太
公認会計士 宮口 亜希

〒五六九―一一七 高槻市天神町一―十二―二五
電話 〇七二―六八二―五七八〇代
FAX 〇七二―六八二―五九九八

村角税理士事務所

税理士 村角 末義

大阪市北区西天満四―四―十八 〒五三〇―〇〇四七 梅ヶ枝中央ビル八階
電話 〇六―六三五―六三六六
FAX 〇六―六三五五―七八三三

森本特許事務所

弁理士 森本 義弘
弁理士 原田 洋平

大阪市西区西本町一―十―十 オーエックス西本町ビル四階
電話 〇六―六五三二―四〇五代
FAX 〇六―六五四三―二二〇五

税理士法人 大阪中央会計

代表社員 山口 明文

大阪市中央区内本町一―二―十一 〒五四〇―〇〇二六 ウタカビル
電話 〇六―六九四三―八五〇一代
（昭44年商学部卒 拳法部OB）

山口税理士事務所

税理士 山口良之助
税理士 山口 竜義

芦屋市茶屋之町九番十八号
電話 〇七九七―二二―八〇〇五
FAX 〇七九七―二二―八〇三三

山田特許事務所

弁理士 山田 義人

大阪市中央区伏見町二―六―六 タナベビル三階
電話 〇六―六二二九―〇五三一
FAX 〇六―六二二九―九六七五

杉本会計事務所

税理士 杉本 秋男

名古屋市中区上前津一―十三―七
電話 〇五二―三二二―〇二一一
FAX 〇五二―三二二―五六〇九

校友会阿倍野支部

支部長 松田 充弘
役員 一同

事務局 松原市天美西五―一一四―一
（株）阪和流通センター内
電話 〇七二―三三〇―二二八〇

校友会生野支部

支部長 山本 景造
外役員 一同

事務所 大阪市生野区新今里七―六―十一 〒544-0001
電話 〇六―六七五二―六三六九
FAX 〇六―六七五三―五四〇〇

校友会大阪中央支部

支部長 伊藤 晃充
役員 一同

事務所 大阪市北区天満一―七―二二 〒五三〇―〇〇四三 （有）ベル内
電話・FAX 〇六―六八八一―一七〇三

校友会城東支部

支部長 貞利 政和
役員 一同

支部事務局
大阪市城東区中浜二丁目一番一〇号 後藤憲之方
TEL 〇六―六九六三―三九八〇

校友会鶴見支部

支部長 徳野 豊
外役員 一同

事務所 〒五三八―〇〇三四 大阪市鶴見区徳庵二―一一―五
電話 〇六―六九一二―九三七七

校友会西支部

支部長 中野 英満
外役員 一同

事務局 大阪市西区江戸堀三―六―二―二〇四 中野英満方
電話 〇六―六二六二―五八〇一

校友会東成支部

支部長 米谷 晴生

〒五三七―〇〇二二 大阪市東成区大今里四―十六―四十
電話・FAX 〇六―六九八一―三八五八

校友会福島支部

支部長 宮腰 健次

事務局 谷口晴彦方
大阪市福島区鷺洲四―二一―一
電話 〇六―六四五八―〇二七四

校友会淀川支部

支部長 塚田 邦彦
外役員 一同

大阪市淀川区新北野二―三―十五 〒五三二―〇〇二五
電話・FAX 〇六―六三〇九―二七五一

校友会河内長野支部

支部長 上奥 雅勇
外役員 一同

事務局 河内長野市小塩町五四〇
TEL 〇七二―六三―三四五七
FAX 〇七二―六三―三四八〇



明けましておめでとうございます

校友会堺支部
支部長 天井 一夫
外役員一同
事務局 鍋島均方
堺市堺区戎之町東四―一―十六

校友会吹田支部
支部長 奥谷 英夫
外役員一同
事務所 日隆産業株式会社
大阪市東淀川区小松二―七―一四
電話 〇六―六三二九―四四二四

校友会高槻島本支部
特別相談役 小山 洋三
支部長 清水 利男
役員一同
〒五六九―〇八〇三 高槻市高槻町一九―七
㈱コヤマカンパニー内
電話 〇七二―六八八二―八八八七
FAX 〇七二―六八三―〇〇八七

校友会豊中支部
支部長 神保 雅明
外役員一同
事務局 横畠正秀方
豊中市北条町三―一―三九
電話・FAX 〇六―六三三一―二二七五

校友会豊能支部
支部長 石山 博康
外役員一同
事務局
豊能郡豊能町東ときわ台二―三―九
電話 〇七二―七三八―〇一九二

校友会富田林支部
支部長 杉多 弘至
外役員一同
事務局 大阪府富田林市梅の里三―二四―一
TEL 〇七二―三三―三一九〇
FAX 〇七二―三三―三一九一

校友会枚方支部
支部長 阿部 進
外役員一同
事務局
枚方市渚栄町六―十―十八
電話 〇七二―八四七―一一一一

神戸支部校友一同
支部長 西村 太一
事務局
神戸市東灘区岡本四―四―六
〒六五八―〇〇七二 ㈱東光商会内
電話 〇七八―四五三―二二一一
FAX 〇七八―四五三―二一七一

校友会芦屋支部
支部長 直林 法廣
外役員一同
事務局依藤健史方
芦屋市呉川町十三―三―二〇八
電話・FAX 〇七九七―二三―七〇〇四

校友会尼崎支部
支部長 大角 教雄
役員一同

謹賀新年
校友会伊丹支部
支部長 加藤 拓
外役員一同
事務局
伊丹市中央二―二―一六
電話 〇七二―七八五―五五〇七
㈱ヒラク

校友会川西支部
支部長 浅野 洋一
外役員一同
事務局 あさの文具方
川西市小花一―九―十三
電話 〇七二―七五九―三七八五

校友会宝塚支部（葦水会）
支部長 小倉 実
事務局 塚本寿一税理士事務所
宝塚市売布東の町十一―十六
電話 〇七九七―八五一―一四九一

校友会西宮支部
支部長 中川 經夫
事務局 西宮市池田町十―三
エステートビル四階㈱ルトー内
電話 〇七九八―三九―〇八一一
FAX 〇七九八―三九―〇八一二

校友会京都支部
支部長 牧村 史朗
事務所 井口俊博方
京都市下京区下る突抜二―三六〇
TEL 〇七五―三五一―二二一二

校友会和歌山支部
支部長 田中 昭彦
外役員一同
事務局 株式会社長谷川冷機
和歌山市小雑賀七三八番地
電話 〇七三四三六一―二一五一

校友会愛知支部
支部長 森田敏二三
〒四五八―〇〇一三
名古屋市緑区ほら貝二―一八一
電話 〇五二―八七六―三四四〇

首都圏支部連合会会長
東京支部支部長
南部 靖之
事務局
東京都千代田区丸の内一―七―一二
サピアタワー九階
関西大学東京センター内

校友会千葉支部
支部長 杉原 賦彦
外役員一同
事務局 株式会社アイズ・オブ・マインド
東京都中央区日本橋小舟町十二―七
日本橋MMビル二階
電話 〇三―三六六二―七七〇（青山誠）

校友会備後支部
支部長 濱田 宏志
外役員一同
事務局 福山包装㈱ 畦崎雅則方
福山市東手城町四―四―二七
電話 〇八四―九四三―一七四一

校友会香川支部
支部長 川北 文雄
〒七六〇―〇〇三三
高松市丸の内七―一〇 原事務所内
電話 〇八七―八二二―〇二二二

校友会徳島支部
支部長 山田 仁
外役員一同
事務局
徳島県吉野川市鴨島町飯尾五五〇―三五四
貝出宏文
電話 〇八八三―二四―〇三九六

校友会愛媛支部
支部長 小泉勇治郎
役員一同
事務局 幹事長宅
伊予郡砥部町拾町二五九 稲荷 和重宅
電話 〇八九―九五六―一八六九

校友会東予千里会
会長 山岡 陸男
事務局 〒七九二―〇八一二
愛媛県新居浜市庄内町四丁目二―十六
（定岡土地家屋調査士事務所内）
TEL・FAX 〇八九七―三二―九七七七
メールアドレス sadatech@yahoo.co.jp

兵庫県庁秀麗会
会長 北林 泰

関西大学東京経済人倶楽部
会長 南部 靖之
事務局 〒一〇〇―〇〇〇五
東京都千代田区丸の内一―七―一二
サピアタワー九階
関西大学東京センター内

自動車関大会
会長 森下 功
事務局
大阪市福島区福島五―十七―二
大阪トヨタ自動車㈱内
電話 〇六―六四五一―六八五三

関大不動産鑑定士クラブ
会長 榎本 正人
事務局
岸和田市野田町三―三二・ミナミビル二階
株式会社榎本不動産鑑定事務所内
電話 〇七二―四三六―三七五五
FAX 〇七二―四三六―三七九七

司法書士関大会
会長 塩田 貴美代
副会長 武島 上野 義治博
〃 山田 佐竹 治作
〃 磯崎 泰博
幹事長 中村 辻井 博之

関西大学応援団ＯＢ長柄会
会長 大谷 啓二 副会長 松本 安雄
副会長 児島 弘治 〃 石原 美之
〃 大江 正則 〃 安川 數一
〃 朴木 幸男 〃 高 一弘
〃 上符 文雄 幹事長 馬渕 純一

関西大学スポーツマンクラブ
会長 中井 邦夫 幹事長 宮崎 文雄
副会長 藤原 利男 事業部長 山本 公三
〃 陸田 弘行 広報部長 松永 明
〃 梅野 賢治 事務局長 小路 晋一
〃 上杉 孝夫 会計部長 水間 幸徳

関西大学応援団ＯＢ千成会
会長 田中 義昭 幹事長 田中 正喜
副会長 深澤 和夫 会計幹事 高松 弘幸
〃 中川 經夫 事務局長 近藤 茂憲
〃 別處 了一 監事 上村 高雄
〃 山本 清孝 〃 石山 康弘
〃 池松 知永子 〃 福田 裕是

関西大学体育ＯＢ会
会長 小坂 道一
役員一同
事務局 吹田市山手町三―三―三五
関西大学新凱風館内

関西大学第一高等学校同窓会
会長 田中 義昭
副会長 木川 高志
〃 坂本 全宏
〃 松下 利則
〃 小坂 圭一
役員一同

関西大学女子秀麗会
事務局 〒五三四―〇〇二一
大阪市都島区都島本通一―二―二二
電話 〇六―六九二五―一八二二
FAX 〇六―六九二五―一八二三
㈱協和建築測量事務所内

結婚相談所URARA
関西大学天六キャンパス
エクステンションリードセンター内
（第一・第三土曜日午後一時～四時）

關大
第五五五号
平成二十二年一月一日発行（奇数月十五日発行）
昭和三十年八月六日第三種郵便物認可
発行人　校友会長　寺内俊太郎
発行所　関西大学校友会
〒五六四・八六八〇　吹田市山手町三丁目三番三十五号
電話〇六（六三六八）一一二一（代）
振替口座　〇〇九三〇・二五五五九四
定価一〇〇円（送料別）

TAKENAKA
CORPORATION

で、どうなるの。地球は・・・



© Lisa Vogt／MC Planning, Inc.

想いをかたちに
竹中工務店

お問い合わせは ―― 広報部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

www.takenaka.co.jp

Printed in Japan 2010　印刷/東洋紙業高速印刷株式会社
PRINTED WITH SOY INK 植物性大豆油インキ使用